

令和4年度
(2022年度)

沖縄県立博物館・美術館

博物館教育普及活動



あなたの沖縄に出会う



沖縄県立博物館・美術館
Okinawa Prefectural Museum and Art Museum

ごあいさつ

未だコロナ感染症の収束には至りませんが、with コロナの生活も定着し、社会活動も徐々に活気を取り戻してまいります。昨年は「復帰 50 年」という沖縄にとって大きな節目の年でした。国、県主催の「沖縄復帰 50 周年記念式典」の開催があり、関連する展覧会も多く催されました。県内外の多くの方々に改めて「沖縄の復帰」について、振り返り、考えてもらう機会になったのではないかと思います。

さて、博物館は様々な資料を分かりやすく展示し、多くの人々に見ていただくことを大きな使命としていますが、同時に地域や様々な団体との「対話と連携の博物館づくり」が求められています。そのような中、当館の教育普及活動は、二つの事業を柱として推進してきました。

一つ目は、平成 29 年（2017 年）度から継続して実施している「学校連携事業」です。新型コロナウイルス感染症の影響が続く中で、各学校のニーズに対応した団体支援体制を推進し、学校団体受入の充実を図りました。また「出前授業等」においても、学芸員と教師が連携した授業を小学校、中学校、高等学校、盲学校、特別支援学校において実施することができ、『博物館における新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドライン』に基づく感染症対策を徹底して行いながら、充実した学習プログラムを提供することができました。

二つ目は、3 年ぶりに実施した博物館が企画運営するボランティアの募集・養成事業です。現在は、総勢 54 名のボランティアが登録されています。

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、柔軟な方法で博物館ボランティア活動を継続し、学校団体の支援等を行うことができました。

また文化講座及び展覧会関連講座は、「復帰 50 年 失われた資料の発掘のあゆみ」を皮切りに全 12 回実施しました。その他にも、学芸員講座や常設展展示解説会とバックヤードツアーをそれぞれ実施し、どの講座も大変ご好評いただきました。さらに、「楽しく学べる 4 日間！ 夏休み！こどもフェスタ 2022 親子バスツアー」も開催し、沖縄の本土復帰から 50 年を迎えた今、親子やご家族で、沖縄県の近現代史や自然、生活に関わる各所をめぐり、復帰について学びました。

令和 4 年度の博物館教育普及事業の実施にあたり、ご講演、ご指導いただきました講師の方々をはじめ、ご協力いただきました博物館ボランティアの皆様、ならびに関係者各位に厚くお礼を申し上げます。

令和 5 年 3 月

沖縄県立博物館・美術館
館長 田名 真之

博物館教育普及活動

目次

ごあいさつ

I 博物館活動について……………1

- 1 はじめに
- 2 博物館活動（四つの車輪）
資料収集/保存管理・調査活動・展示活動・教育普及活動
- 3 博物館の機能
- 4 博物館の施設
- 5 令和4年度博物館教育普及活動について

II 学校連携……………8

- 1 学校団体受入要項
- 2 「民具体験学習」の概要
- 3 「民具体験学習」の実施状況
- 4 「来館学習プログラム」の概要
- 5 「来館学習プログラム」の実施状況
- 6 「出前授業等」の実施要項
- 7 「出前授業等」の実施状況

III 博物館体験学習教室……………25

- 1 体験学習教室の実施要項
- 2 体験学習教室の実施状況

IV 博物館文化講座……………27

- 1 文化講座の実施要項
- 2 文化講座の実施状況

V 博物館学芸員講座……………32

- 1 学芸員講座の実施要項
- 2 学芸員講座の実施状況

VI 博物館常設展示解説会……………37

- 1 展示解説会の実施要項
- 2 展示解説会の実施状況

VII バックヤードツアー……………38

- 1 バックヤードツアーの実施要項
- 2 バックヤードツアーの実施状況

VIII 夏休み！こどもフェスタ 2022

親子バスツアー……………39

- 1 親子バスツアーの実施要項
- 2 親子バスツアーの実施状況

IX ふれあい体験室……………43

- 1 ふれあい体験室の概要
- 2 体験キットの種類
- 3 ふれあい体験室の運営状況
- 4 ふれあい体験室の取組み

X ボランティア養成事業……………49

- 1 目的
- 2 ボランティアの活動内容
- 3 ボランティア養成事業の実施状況
<別紙資料> ボランティア養成事業
<別紙資料> 令和4年度（2022）
ボランティア通信

XI その他……………75

- 1 移動展
- 2 職場体験
- 3 教育普及資料の活用
- 4 ボランティアによる展示ガイド
- 5 特別展・企画展関連事業
- 6 民話上映会
- 7 常設展に関する取組み
- 8 新聞・雑誌等掲載一覧
- 9 印刷物一覧

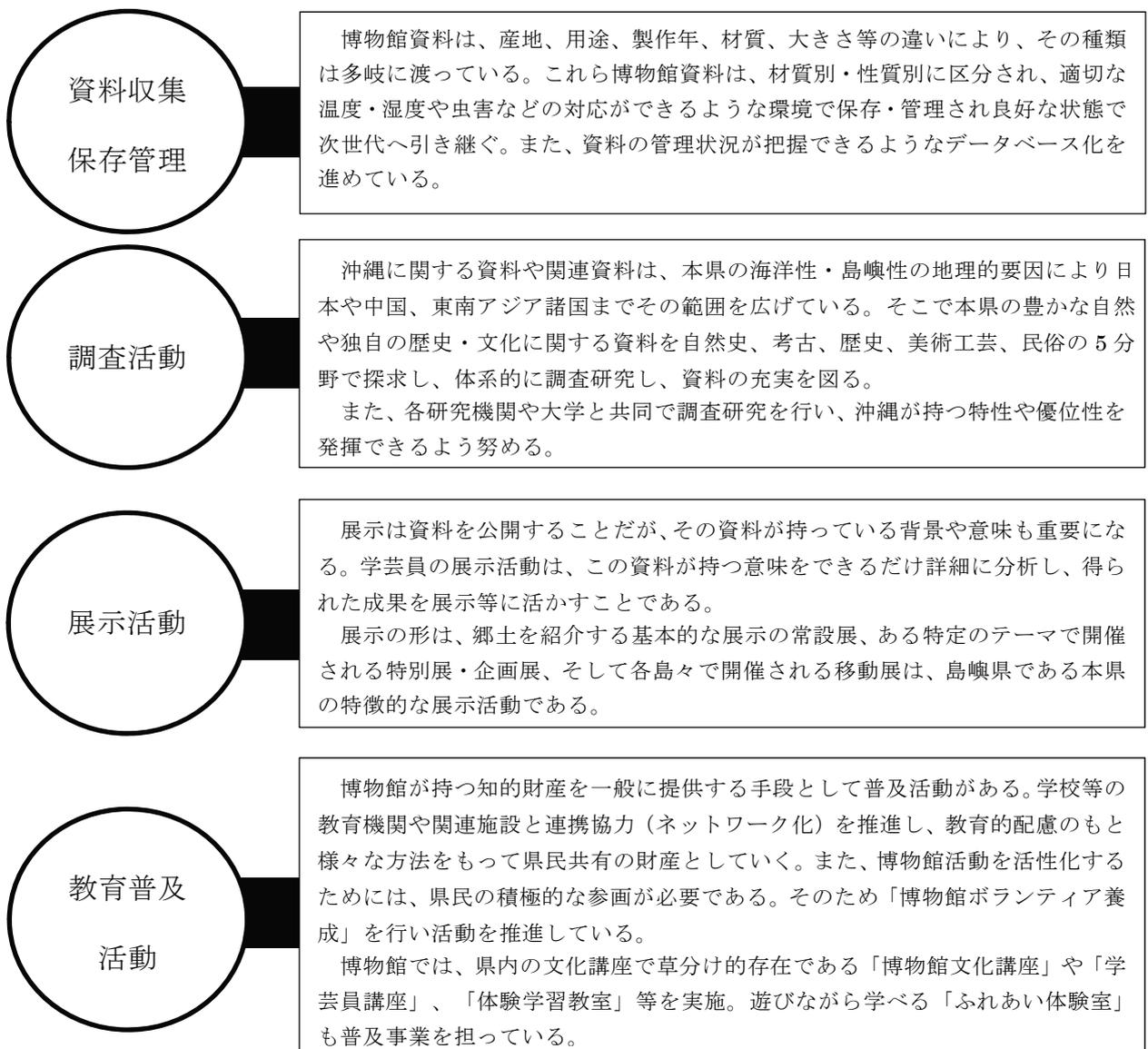
I 博物館活動について

1 はじめに

博物館は、資料収集・保存管理、調査、展示、教育普及の四つを活動の車輪としている。それら車輪を機能させるために下記（１）～（４）に基づいて活動を構築している。

- （１）琉球王国時代の文化(王朝文化)を体系化し、現在につなげる視点からの活動。
- （２）人類学をはじめ、沖縄の特性を生かし、沖縄の優位性を発信する調査研究活動。
- （３）沖縄の自然、歴史、文化の独自性を発信する活動。
- （４）博物館が動き、観覧者が動く博物館活動の展開。

2 博物館活動（四つの車輪）



3 博物館の機能

博物館は、様々な資料を収蔵している施設である。資料は収蔵されるだけでなく、できるだけ長くきれいな状態を維持するために整理・保存していかなければならない。また、調査研究により、いつ・誰が・どこで・何のために作ったかを解明し、来館者へ紹介する。資料は展示や講座、論文、インターネットなど、いろいろな媒体を通して県民の知的財産として蓄積されていく。

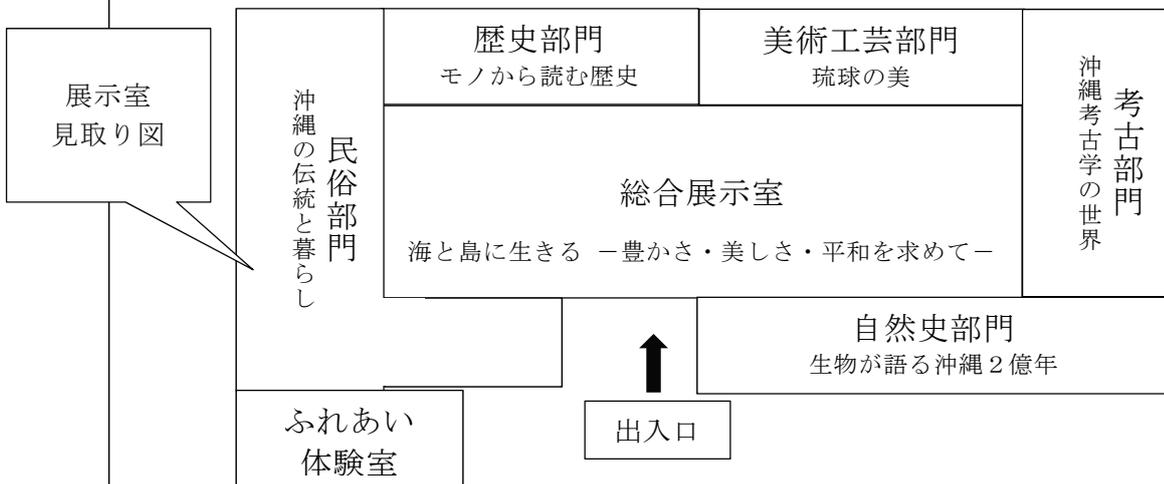
いつでも誰でもが利用できるようにするために、博物館にはいろいろな機能がある。

資料を保存する収蔵庫

博物館には、自然史・化石・特別（歴史・美工・民俗）・考古陶磁器・民俗・大型収蔵庫が設置され、それぞれの収蔵庫で、温度や湿度そして害虫などから資料を保護する。

資料を公開する展示室

博物館には、総合展示室・部門展示室・屋外展示・ふれあい体験室が配され、常設の展示を行っており、特別・企画展示室では、期間を限定して沖縄をはじめ、国内外の自然・歴史・文化に関する展覧会を開催する。



学習する場としての展示室・講座室

博物館は、「沖縄」について知り、そして将来の沖縄像を考える場所である。郷土学習に利用できる資料が分かりやすく展示されている。また講演や体験を通して学習を行う講座室等がある。

資料を研究する学芸員研究室

博物館資料に関するあらゆる調査・研究は、学芸員研究室を中心に行われる。8分野の学芸員が各々または共同で、様々なテーマに取り組む。ここで蓄積された研究成果は、研究資料室や情報センターに保管され、展覧会や講演会などで公開される。また、博物館紀要論文はホームページで公開される。

博物館施設を管理する諸室

博物館の電気、空調施設などを管理するための機械室や、館を運営している職員が事務を行うための部屋がある。

4 博物館の施設

(1) 常設展示

「常設展示」のメインテーマは、「海と島に生きる ー豊かさ、美しさ、平和を求めてー」である。

沖縄は、立地・環境的に「海洋性」と「島嶼性」という特性を持ち、そこに住む人々は絶えず「豊かさ」と「平和」を求め続けてきた歴史がある。その風土、自然のなかで育んできた歴史、文化を人類史・自然史の流れの中に位置づけ、普遍的に海と島に生きていくことをメインテーマとしている。

その展示構成は、沖縄の歴史を時間で追いながら自由動線で観覧することのできる「総合展示」と、自然史・考古・美術工芸・歴史・民俗の5つの「部門展示」に分かれている。

＜総合展示＞

展示テーマ

- ・「ニライカナイの彼方から」
- ・「シマの自然と暮らし」
- ・「海で結ばれた人々」
- ・「貝塚のムラから琉球王国へ」
- ・「王国の繁栄」
- ・「薩摩の琉球支配と王国」
- ・「王国の衰亡」
- ・「沖縄の近代」
- ・「戦後の沖縄」
- ・「沖縄の今、そして未来へ」

「総合展示」は、上記の10のテーマで、琉球列島の成り立ちから現代までの約2億年にわたる沖縄の歴史をたどる。中国や日本の文化を取り入れながら、独特の文化を創造してきた琉球王国の時代、王国解体後の近代化する沖縄、現在の沖縄までを紹介する。

中央に配した「シマの自然と暮らし」のエリアでは、沖縄の「海洋性」・「島嶼性」を大型地形模型によって実感することができる。また、情報端末機で島ごとに異なる表情を持った自然や暮らしなどを調べることができる。

＜部門展示＞

「部門展示」は、総合展示を取り巻く展示である。自然史・考古・美術工芸・歴史・民俗の5つの部門展示室では、収蔵資料を活用しながら、各分野のテーマをより深め、展示替えの頻度を高める展示を目指す。

自然史部門展示

「生物が語る沖縄2億年」をテーマに島の成り立ちや、島々で独特の進化をとげた生き物の世界を展示する。自然観察コーナーでは、顕微鏡で化石や昆虫、岩石の破片、植物標本などを見ることができる。

考古部門展示

「沖縄考古学の世界」と題し、沖縄考古学のこれまでの成果と課題を示しながら、「沖縄考古学」を体系的に学び、古代の人々の生活を追体験することができる。

美術工芸部門展示

「琉球の美」をテーマに、1年に3回展示替えを行い、琉球王国時代の美術工芸品を紹介する。染織品、やきもの、漆芸品、絵画、彫刻、書跡などの資料をじっくり鑑賞することができる。

歴史部門展示

「モノから読む歴史」とし、歴史の中で産出された様々な「モノ」資料を通して、その資料のもつ時代的な意味を解き明かしていく。年数回展示替えをし、「那覇港」をテーマにした展示では、近世に制作された屏風絵を軸に、そこで暮らした人々の息づかい、ひいては歴史的、文化的意味を紐解く。

民俗部門展示

民俗部門展示のテーマは「沖縄の伝統と暮らし」である。民俗の宝庫といわれる沖縄の様々な生活シーンの中で創造されてきた民具や信仰などを通して、戦前から伝わる沖縄の民俗世界を追体験することができる。また、現代に息づく民俗の変容を紹介する。

(2) 屋外展示

| | |
|-----|--|
| 高倉 | 高倉は、穀物を貯蔵する倉庫である。床を上げて風通しを良くし、湿気やネズミの害を防ぐ工夫がなされている。構造の違いにより、「沖縄式」と「奄美式」に分かれる。この高倉は、昭和初期に建てられたものを、昭和 51 年（1976）に奄美から移築した。 |
| 民家 | 沖縄の伝統的な民家は、高温多湿の気候風土に適した構造をしている。門扉が無く、母屋も雨戸を全開にして風を通す。また、母屋の正面にあるヒンプン（屏風）は、外部への目隠しとなる。この建物は、資料としてのみならず、講座や多種イベントの際にも会場の一部として活用されており、開館中は靴を脱いでの内覧も可能となっている。 |
| 湧田窯 | 湧田窯は 17 世紀頃の窯跡で、平窯の構造が特徴である。主に、屋根瓦を焼いた窯である。琉球・沖縄の焼き物の歴史を考える上で貴重な資料である。 |

(3) ふれあい体験室

博物館常設展示室の手前にある「ふれあい体験室」には、37 種類の体験キットが準備されている。これらは展示と関連しており、展示資料を深く理解できるように工夫されている。キットは、パズルのように組み立てるものなど、操作することによって、より理解が深まる仕組みとなっており、体験することで五感を通して沖縄の「自然のしくみ」や「先人の知恵」にふれることができる。

（詳細については「IX ふれあい体験室」を参照）

(4) 情報センター

情報センターは博物館・美術館の共用施設として、閲覧・検索用の座席を 38 席設けた情報提供のための部屋である。博物館の収蔵資料の検索や、DVD やビデオの視聴ができる。また、沖縄の自然、歴史、文化、美術等に関する専門図書、地方出版図書も配架され、来館者の調べ学習に対応できる。

(5) 講堂・講座室等

| | |
|-----|--|
| 講 堂 | 講演会、シンポジウム、映画上演などを行うことができる。 212 名(車いす 2 名含む)の収容が可能。 |
| 講座室 | 100 名規模の講演会や会議などを開催できる。 机と椅子を撤去すると、小学生 150 名程度の収容が可能。 |
| 実習室 | 体験学習や実技講習会などを開催できる。 40 名程度の収容が可能。 |

(6) 救護室

来館中における、軽度の気分不良の際には、休憩をとることが可能である。（ベッド数 1 台）

(7) 駐車場

一般車両 158 台（身障者用 4 台含む）、バス 10 台が駐車可能である。特別支援学校などの大型車両を横付けできるように、庇付きの玄関を用意している。また、盲導犬のトイレを駐車場側と公園側に整備している。

(8) コインロッカー

使用後に 100 円が返金される、無料のコインロッカーを 204 個準備している。大きな荷物を持参する際は、他の観覧者に迷惑にならないよう、手荷物を預けてからの入館となる。

(9) バリアフリー

博物館・美術館は、不特定多数の人々が利用するため、誰でも安全に利用しやすい施設にする必要があることから、以下のような整備を行っている。

- 観覧者が利用するトイレには、車イス使用者や乳児連れ、オストメイトに対応した機能を設けている。
- 講堂や講座室に磁気誘導ループを設置して難聴者をサポートしている。
- 館入口に音声誘導装置を設置して視覚障害者をサポートしている。
- 車イスや使用者駐車スペースには、雨天時の乗降に考慮して雨よけを設置している。
- 道路や公園からの主な敷地通路に誘導ブロックを設け、総合案内まで連続して敷設している。
- 高齢者や体の弱い人がゆっくり観賞できるように、展示室内に休憩室や椅子を準備している。
- 案内表示は日本語と英語の2ヶ国語表示としている。

(10) 環境への配慮

■太陽光発電システムの導入

環境負担の低減と電気量の節約を図るため、10kw 程度の太陽光発電装置を設置している。

■雨水及び再生水の有効利用

地下に雨水タンクを設けて、トイレ洗浄水や灌水に利用している。

■夜間電力を利用した氷蓄熱方式空調設備の導入

夜間の安価な電力で作った氷を館内の冷房に利用することにより割高な昼間電力の増加を抑えている。

■総合的有害生物管理 (IPM : Integrated Pest Management) 施設

博物館・美術館では、有害生物 (虫・菌等) から文化財を保護するために IPM を行っている。IPM は、施設を取り巻く環境状況や有害生物の繁殖などの動きを考慮して、生物的防除、科学的・物理的防除を組み合わせることで、虫菌害を抑える管理方法である。

博物館の利用に際して、館内への飲み物、食べ物の持ち込みを禁止している。遠足等の行事の際にも、荷物を車で管理する等の配慮、ご協力をお願いしている。

—補足—

1 目的

沖縄県立博物館・美術館を利用するにあたり、国の「基本的対処方針に基づくイベントの開催制限、施設の使用制限等に係る留意事項等について」及び、沖縄県の「沖縄県新型コロナウイルス感染症対策の対処方針」に基づき感染リスクを最小限にするとともに、すべての施設利用者に安心・安全に利用頂くことを目的とする。

2 各施設における収容人数の制限

各施設における参加可能人数は下表の通りとする。

※感染状況の悪化等により、現時点より異なる内容になる場合がある。

| 施設名 | 通常 | 令和4年度 |
|-------------|------|-------------|
| 講堂 | 210名 | 210名 |
| 博物館講座室 | 100名 | 100名 |
| 博物館実習室 | 30名 | 30名 |
| ふれあい体験室 | 制限なし | 15名 |
| 常設展示室 | 制限なし | 400名 |
| 博物館企画・特別展示室 | | 企画60名／特別40名 |

※令和4年11月9日から当面の間

5 令和4年度博物館教育普及活動について

博物館の教育普及活動は、大きく2つの事業に分けることができる。1つ目は、学校の計画する授業・行事等で博物館を活用する際に支援する「学校連携事業」である。2つ目は、博物館が企画運営する「文化講座」等の各種講座、「常設展展示解説」等の各種解説会、「体験学習教室」、「ボランティア養成」等の事業である。しかし、コロナ禍が続く現状において、昨年度に引き続き『博物館における新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドライン』に基づく感染症対策を徹底して行いながら、感染防止と教育普及活動を両立させた。

(1) 学校連携事業

学校連携事業では、各学校の計画による団体観覧の支援で、教育課程の一環として博物館を利用する際に、館として支援することのできる学習内容の調整を行った。学校の規模や授業の進度、生徒の実態等含めた学校からの要望と博物館の施設・職員・ボランティアの支援体制を考慮して、学校と博物館が連携していく学習プログラムを作成した。また、新型コロナウイルス感染症拡大が続く現状において、引き続き、最大限の感染症対策を講じ、学校連携事業に取り組んだ。
(今年度の取り組み)

令和3年度(2021)から実施している「学校連携事業」において、民具体験、出前授業、来館学習などの館内学習プログラムの充実を図るほか、離島地域における出前授業を推進した。またリーフレットを作成した。※事業は令和6年度(2024)まで

(2) 文化講座

文化講座では、博物館の展示内容と関連する各分野(自然史・考古・歴史・美術工芸・民俗)の講演、シンポジウムを行った。県民各層が楽しく有意義に学べる講座を実施した。一部の文化講座はリモートで実施した。

(3) 学芸員講座

学芸員講座では、博物館の学芸員が、研究成果や収蔵品の紹介等の講演・展示解説・フィールドツアーなどを通して、県民各層が楽しく有意義に学べる講座を実施した。各分野の学芸員の充実した講話は、博物館をより身近に捉え、観覧者の層を拡大する大切な役割を担った。

(4) 展示解説会

展示解説会では、学芸員が博物館の展示資料などについて、学芸員の広い視点からわかり易く解説した。当館における展示資料がどのようなねらいのもと、それぞれの展示室に設置されているかを理解し、参加者が総合博物館ならではの資料のつながりを知る機会とした。人数制限を行い実施した。

(5) 体験学習教室

体験学習教室は沖縄の自然や歴史、文化に関わる体験的な活動を通して、郷土について関心を持ち、先人の知恵などを学ぶ機会である。博物館の各分野（自然史・考古・歴史・美術工芸・民俗）の展示や企画展等に関連した内容を実施し、総合博物館としての豊かな学びの場を提供した。募集人数を少なく設定し実施した。

(6) バックヤードツアー

博物館に備えられている、調査・研究・保存の各機能を担う諸室の見学を実施した。普段は、入ることのできない収蔵庫やトラックヤードなどの機能を理解し、博物館についてより知ってもらう機会とした。人数制限を行い実施した。

(7) 夏休み！こどもフェスタ 2022 親子バスツアー

復帰後 50 年を迎えた今、「親子で知ろう！むかしのおきなわとこれからのおきなわ 親子バスツアー」として、沖縄県の近現代史や自然、生活に関わる各所をめぐり、学芸員が、親子を対象に沖縄の自然・歴史・文化と復帰について考え、郷土への興味・関心を高める場を提供した。

(8) ボランティア養成講座

博物館では、県民の自己啓発や学習発表の場の提供を行うと共に、博物館支援活動を目的とした「博物館ボランティア」を導入しており、主に館内催事・学校連携事業全般における来館者サービスをサポートする人員として、また当施設のふれあい体験室での来館者サービスをサポートする人員として活動している。現在総勢 54 名（休止を除く継続活動申請者）の博物館ボランティアが登録している。また、資料整理ボランティアは 27 名が登録している。

令和 4 年度、新型コロナウイルス感染拡大のために募集を中止していた第 9 期の新規ボランティアを 3 年ぶりに募集し、養成講座を行い 5 名の博物館ボランティアが登録した。

(9) その他

①移動展

普段、当館に足を運ぶことができない離島や遠隔地の方々に、収蔵品を持ち運び展示することによって、沖縄県の自然、歴史、文化の広域普及を図り、博物館資料や美術作品を觀賞する機会と各種ワークショップを提供した。今年度は、渡嘉敷島で開催した。一部の催事においてはリモート配信を行い実施した。

②教育普及資料貸出

今年度は、教育機関 8 件に貸し出した。

Ⅱ 学校連携

1 学校団体受入要項

(博物館施設の学校団体見学・体験学習・校内研修等の利用について)

(1) ねらい

- ①博物館への学校団体をはじめとする入館者の増加を図る。
- ②博物館における団体受入を計画的に準備し、運営を行う。
- ③博物館を利用する学校団体に、博物館来館を年間計画の中に位置づけてもらうことにより、計画的な学習支援を行う。

(2) 博物館施設利用の申請から実施までの流れ【県内(小・中・高・特支)学校向け】

【児童・生徒向け】申請から実施までの流れなど

- ①館内の自由見学(見学サポート有り): 申請(様式2) → 相談・打合せ等 → 実施
※博物館は少人数グループ(20名以下)対象
- ②館内の自由見学(見学サポート無し): 申請(様式2) → 来館
- ③民具体験(ボランティアサポート有り): 申請(様式4-①) → 下見・打合せ → 実施
※15校程度受入予定(申請期限6月15日、申請多数の場合、抽選後に結果連絡)
受入可能期日については別添資料をご参照ください。
- ④民具体験(ボランティアサポート無し): 申請(様式4-②) → 下見・打合せ → 実施
- ⑤夏季課題学習(主に高校)
- ⑥キャリア教育プログラム(職場見学、職場体験、インターンシップなど)
- ⑦出前授業、教育普及資料(民具、体験キット、アートカード等)の貸出 など

【学校職員向け】

- ⑧校内研修、自主研修、中堅研等教職員研修
- ⑨教員向け講座(8月第1週に開催予定、内容調整中、後日案内文書発送。)
- ⑩ボランティアによる展示室解説ガイド

◎申込み及び詳細については、以下の連絡先にお問い合わせください。

◎その他のご要望についてもご相談に応じます。

- | |
|---|
| ①～④: 情報センター TEL: 098-941-1187 FAX: 098-941-3530 ※申請書様式は当館HPよりダウンロード URL: https://okimu.jp |
| ⑤、⑥: (一財)沖縄美ら島財団 教育普及担当 TEL: 098-941-8200 FAX: 098-941-2392 |
| ⑦～⑩: 沖縄県立博物館・美術館 博物館班 TEL: 098-851-5401 FAX: 098-941-3650 美術館班 TEL: 098-851-5402 FAX: 098-941-3730 |

2 「民具体験学習」の概要

令和4年度の民具体験学習プログラムの詳細

【民具体験学習プログラム1】 ボランティアサポートあり

小学3年生社会科、及び総合的な学習の時間等で、博物館ボランティアのサポートを受けて「民具体験学習（昔の生活とくらし）」を行い、民具の着衣体験や展示室解説などを行う。しかし、新型コロナウイルス感染拡大が続く現状において、民具体験学習等で不特定多数の児童が民具に触れることができなくなったため、学習活動の一部変更を行い、通常は博物館ボランティアサポートのもと行う民具体験学習を、博物館の職員及び指定管理者で民具解説・実演を実施した。また、教職員の下見は複数校まとめて実施を予定していたが、感染症対応として学校ごとに来館してもらい、時間を短縮して打合せを行った。

【民具体験学習プログラム2】 教師主導による授業活用

展示解説マニュアルを活用して、博物館常設展示室における展示資料、民具体験学習における授業の指導作成・進行についての指導等を事前に行い、教職員の授業における活用を支援する取り組みを推進した。しかし、新型コロナウイルス感染症防止対策として民具体験学習等で不特定多数の児童が民具に触れることができなくなったため、学習活動の一部変更を行い、教職員による民具解説・実演を行った。また、通常は博物館ボランティアサポートのもと、複数校まとめて行う事前打ち合わせについても、博物館職員による講習会を学校ごとに実施した。

| | 通常 | 今年度 | 備考 |
|-----------|--------------------------------|--------------------------------|-------------------------|
| 募集期間 | 4月～5月 書類発送：4月上旬 | 4月～6月 書類発送：3月中旬 | |
| 実施日決定 | 5月下旬 | 6月中旬～7月下旬 | |
| 教職員下見 | 夏休み期間 (7月～8月) 学校ごとに教員が来館 | 夏休み期間 (7月～8月) 学校ごとに教員が来館 | 小学校夏季休暇に合わせ、各校個別に下見を実施。 |
| 学習プログラム調整 | 8月 下見で来館時・対面 | 8月～1月 下見で来館時・対面 ●FAX 対応 | |
| 実施時期 | 11月～2月 | 9月～2月 | |
| 実施内容 | ●児童による民具体験 ●ボランティアによる解説・ガイド | ●当館職員による民具実演・解説 ●教員によるガイド | ●11月～2月ボランティアサポート休止 |

※新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、学校側と調整を図りながら柔軟に対応した。

■ 3クラスの組み合わせ例

令和4年度 民具体験 学習プログラム 000立 00小学校 3学年

実施日程： 〇月〇〇日(〇) 〇:〇〇～〇:〇〇
 博物館到着時間： 〇〇:〇〇 博物館出発時間： 〇〇:〇〇 移動手段：バス/台
 児童数：〇〇〇人 引率教師：〇名 ヘルパー：〇名(〇組) 保護者：〇名(有料・団体1人あたり420円)
 担任 1組：〇〇 〇〇 2組：〇〇 〇〇 3組：〇〇 〇〇

《社会科学》 かわる道具とくらし
《ねらい》・使われる道具の変化や、人々の生活との関連を考える力を養う。
《ポイント》①昔の道具に着目し、当時の暮らしの様子を捉える。

確認事項・・・①ウケシート：有り
 ②持ち物：水筒 ③名札の準備：(クラスごとのカラーテープを学校で配布)
 ※名札について、民具体験学習ローテーションのチームを記載
 ※船舶以外の使用不可
 ※水筒は持ち込み不可、博物館が保管カードを3つ用意。入館時は鉛筆と探検バッグのみ。

プログラム タイムスケジュール

| | 9時 | 15 | 30 | 40 | 10 | 15 | 45 | 50 | 1 | 15 | 20 | 30 | | | | | | | | |
|----|------------------------------|--------------|-------------------------|----|---------------|----|-------------------------|----|----------------|----|---------------|----|-------------------------|-------------------------|----|----------------|----|---------------|----|-------------------------|
| 1組 | (オリエントエントランス前) 博物館 美術館 到着 | トイレ休憩・チケット受取 | 民具 (屋外実演) ※雨天時・雨降 | 移動 | 常設1 民俗展示部門 | 移動 | 民具 (屋外実演) ※雨天時・雨降 | 移動 | 常設2 自然史展示部門 | 移動 | 常設1 民俗展示部門 | 移動 | 民具 (屋外実演) ※雨天時・雨降 | | | | | | | |
| 2組 | | | | | | | | | | | | | | 民具 (屋外実演) ※雨天時・雨降 | 移動 | 常設2 自然史展示部門 | 移動 | 常設1 民俗展示部門 | 移動 | 民具 (屋外実演) ※雨天時・雨降 |
| 3組 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

※民具……民具体験(屋外実演)
 ※常設1……自然史部門(沖繩の生態大型ジオラマとはく製)
 ※常設2……自然史部門(王国の繁栄(進貢船・万国津梁の鐘・王国の衣裳))
 ※常設3……総合展示部門(王国の繁栄(進貢船・万国津梁の鐘・王国の衣裳))

民具1……………14分
クハカサ・クハナス・サバ 7分
運搬の道具(ハーキ・ティール) 7分

民具2……………14分
洗濯道具(洗濯板・桶) 7分
運搬の道具(ターグ・水運び・薪運び) 7分

民具体験は各組2チーム(13～14人ずつ)に分けて、ローテーションします。

| | |
|---------------|---------|
| 学習プログラム役割 | 担当者 |
| 民具体験解説 | 博物館職員 |
| 解説展示解説・各クラス誘導 | 各クラスの担任 |
| タイムキーパー | 博物館職員 |

※新型コロナウイルス感染拡大状況により、内容の変更及び、受入の再検討もあります。ご了承ください。

■ 4クラスの組み合わせ例

令和4年度 民具体験 学習プログラム 000立 00小学校 3学年

実施日程： 〇月〇〇日(〇) 〇:〇〇～〇:〇〇
 博物館到着時間： 〇〇:〇〇 博物館出発時間： 〇〇:〇〇 移動手段：バス/台
 児童数：〇〇〇人 引率教師：〇名 ヘルパー：〇名(〇組) 保護者：〇名(有料・団体1人あたり420円)
 担任 1組：〇〇 〇〇 2組：〇〇 〇〇 3組：〇〇 〇〇 4組：〇〇 〇〇

《社会科学》 かわる道具とくらし
《ねらい》・使われる道具の変化や、人々の生活との関連を考える力を養う。
《ポイント》①昔の道具に着目し、当時の暮らしの様子を捉える。

確認事項・・・①ウケシート：有り
 ②持ち物：水筒 ③名札の準備：(クラスごとのカラーテープを学校で配布)
 ※名札について、民具体験学習ローテーションのチームを記載
 ※船舶以外の使用不可
 ※水筒は持ち込み不可、博物館が保管カードを3つ用意。入館時は鉛筆と探検バッグのみ。

プログラム タイムスケジュール

| | 9時 | 15 | 25 | 30 | 50 | 55 | 1 | 15 | 20 | 30 | 55 | 1 | 15 | 20 | 30 | | | | | | | | | | | | |
|----|------------------------------|--------------|-------------------------|----|---------------|----|-------------------------|----|----------------|----|---------------|----|---------------|----|----------------|-------------------------|----|---------------|----|----------------|----|---------------|----------------|----|---------------|----|---------------|
| 1組 | (オリエントエントランス前) 博物館 美術館 到着 | トイレ休憩・チケット受取 | 民具 (屋外実演) ※雨天時・雨降 | 移動 | 常設1 民俗展示部門 | 移動 | 民具 (屋外実演) ※雨天時・雨降 | 移動 | 常設2 自然史展示部門 | 移動 | 常設3 総合展示部門 | 移動 | 常設1 民俗展示部門 | 移動 | 常設2 自然史展示部門 | | | | | | | | | | | | |
| 2組 | | | | | | | | | | | | | | | | 民具 (屋外実演) ※雨天時・雨降 | 移動 | 常設3 総合展示部門 | 移動 | 常設2 自然史展示部門 | 移動 | 常設1 民俗展示部門 | | | | | |
| 3組 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 常設2 自然史展示部門 | 移動 | 常設3 総合展示部門 | 移動 | 常設1 民俗展示部門 |
| 4組 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

※民具……民具体験(屋外実演)
 ※常設1……民俗部門(民家・むかしの道具)
 ※常設2……自然史部門(沖繩の生態大型ジオラマとはく製)
 ※常設3……総合展示部門(王国の繁栄(進貢船・万国津梁の鐘・王国の衣裳))

民具1……………12分
クハカサ・クハナス・サバ 6分
運搬の道具(ハーキ・ティール) 6分

民具2……………12分
洗濯道具(洗濯板・桶) 6分
担ぎ棒(ターグ・水運び・薪運び) 6分

民具体験は各組2チーム(15～16人ずつ)に分けて、ローテーションします。

| | |
|---------------|---------|
| 学習プログラム役割 | 担当者 |
| 民具体験解説 | 博物館職員 |
| 解説展示解説・各クラス誘導 | 各クラスの担任 |
| タイムキーパー | 博物館職員 |

※新型コロナウイルス感染拡大状況により、内容の変更及び、受入の再検討もあります。ご了承ください。

3 「民具体験学習」の実施状況

| 項目 | 期日 | 実施校 |
|---|-----------|-------------|
| 民具体験学習プログラム1 (職員・指定管理者による 実演・解説実施) 全7校 | 9月15日(木) | 豊見城市立ゆたか小学校 |
| | 11月16日(水) | 豊見城市立座安小学校 |
| | 12月2日(金) | 那覇市立天久小学校 |
| | 12月13日(火) | 那覇市立若狭小学校 |
| | 1月20日(金) | 那覇市立松島小学校 |
| | 1月25日(水) | 浦添市立港川小学校 |
| | 2月1日(水) | 那覇市立小祿南小学校 |
| 民具体験学習プログラム2 (教師主導による授業活用) 全17校 | 10月5日(水) | 糸満市立高嶺小学校 |
| | 10月28日(金) | 那覇市立古蔵小学校 |
| | 10月28日(金) | 南風原町立北丘小学校 |
| | 11月2日(水) | 糸満市立喜屋武小学校 |
| | 11月17日(木) | 糸満市立米須小学校 |
| | 11月22日(火) | 那覇市立天妃小学校 |
| | 11月29日(火) | 豊見城市立とよみ小学校 |
| | 12月15日(木) | 沖縄県立沖縄ろう学校 |
| | 12月16日(金) | 那覇市立大名小学校 |
| | 1月18日(水) | 那覇市立城岳小学校 |
| | 1月19日(木) | 那覇市立開南小学校 |
| | 1月24日(火) | 那覇市立宇栄原小学校 |
| | 1月26日(木) | 浦添市立仲西小学校 |
| | 1月31日(火) | 那覇市立那覇小学校 |
| | 2月2日(木) | 那覇市立安謝小学校 |
| 2月9日(木) | 那覇市立銘苺小学校 | |
| 3月7日(火) | 那覇市立垣花小学校 | |
| | 合計 | 24校 |

*2023年3月現在

【民具体験学習プログラム1】 職員・指定管理者による実演・解説の様子

学校ごとに
事前打合わせを
行っている様子



ゆたか小学校
洗濯の道具解説・
実演の様子



座安小学校
着衣の解説・実演
の様子



天久小学校
運搬の解説・実演
の様子



若狭小学校
洗濯の道具解説・実演の様子



松島小学校
民具の解説・実演の様子



【民具体験学習プログラム2】 教師主導による授業活用の様子

学校ごとに事前
打合わせを行っ
ている様子



高嶺小学校
教職員による自主
民具体験学習・運搬
の道具解説・実演の
様子



古蔵小学校
教職員による自主
民具体験学習・着
衣解説・実演の様
子



北丘小学校
教職員による自主
民具体験学習・常
設展示室解説の様
子



喜屋武小学校
教職員による自主
民具体験学習・解
説・実演の様子



米須小学校
教職員による自主
民具体験学習・解
説・実演の様子



天妃小学校
教職員による自主
民具体験学習・解
説・実演の様子



とよみ小学校
教職員による自主
民具体験学習・解
説・実演の様子



沖縄ろう学校
教職員による自主
民具体験学習・解
説・実演の様子



大名小学校
教職員による自主
民具体験学習・解
説・実演の様子



4 「来館学習プログラム」の概要

令和4年度の来館学習プログラムの詳細

本取組については教育課程の一環として、博物館を学校側が利用する際に、館として支援することのできる学習内容の調整を行った。コロナ禍が続く現状において、生徒の実態等を含めた学校からの要望と博物館の施設、職員、博物館学芸員の支援体制を考慮して館内で行う来館学習プログラム等を実施した。今年度は多様な来館学習の要望があったため、その他団体について※で表記し掲載した。

※来館学習プログラム（学校連携事業、令和6年度（2024）まで）

5 「来館学習プログラム」の実施状況

(1) オキナワインターナショナルスクール「学校団体見学」に係る「見学サポート」

①内容：学芸員による展示解説授業

目的：児童を対象に、博物館・美術館に展示された収蔵品の鑑賞を通して、文明と現代社会がどう繋がり、私たちの暮らしに影響しているのか見聞を深める。(総合学習・社会・理科)

②日時：令和4年4月26日（火）(対象学年：4学年 16名)



オキナワインターナショナルスクール
常設展示室で解説を受けている様子(人類分野)



オキナワインターナショナルスクール
常設展示室で解説を受けている様子(歴史分野)

(2) 学校法人カトリック学園海星小学校「学校団体見学」に係る「見学サポート」

①内容：学芸員による展示解説授業

目的：児童を対象に、沖縄県立博物館・美術館に展示された収蔵品の鑑賞を通して、児童の見聞を深める。(修学旅行)

②日時：令和4年6月3日（金）(対象学年：6学年 15名)



海星小学校
常設展示室で解説を受けている様子(地学分野)



海星小学校
常設展示室で解説を受けている様子(歴史分野)

(3) 沖縄国際大学「ミニフィールドワーク」に係る「見学サポート」

①内容：学芸員による展示解説授業

目的：学生を対象に、沖縄県立博物館・美術館に展示された収蔵品の鑑賞を通して、生徒の見聞を深める。

②日時：令和4年6月11日（土）（対象学年：1～4年次 計21名）

沖縄国際大学
三線について
学習している
様子（歴史分
野）



沖縄国際大学
三線について
学習している
様子（美術工芸
分野）



(4) 沖縄県立沖縄高等特別支援学校「学校団体見学」に係る「見学サポート」

①内容：学芸員による展示解説授業（生物）

目的：沖縄県立博物館・美術館に展示された作品を観覧し見識を深め今後の学校生活に寄与する事を目的とする。

②日時：令和4年7月14日（木）（対象学年：3年生38名 引率12名 計50名）



沖縄高等特別
支援学校
展示を観覧し
ながら学習し
ている様子（生
物分野）



沖縄高等特別
支援学校
展示を観覧し
ながら学習し
ている様子（民
俗分野）

(5) 那覇市立松島中学校校内研修「博物館・美術館巡り」に係る「博物館・美術館展示解説」

①内容：博物館・美術館の歴史・業務概要（博物館・常設展示室見学、美術館・企画展見学）

目的：教職員を対象に、沖縄県立博物館・美術館に展示された収蔵品の鑑賞や学芸員の講座等を通して、教員の知見を深め、教育現場における授業力向上を目的とする。

②日時：令和4年7月27日（水）（対象教諭：30名）



博物館教育普及・業務について学
ぶ様子



松島中学校 美術館の歴史・業
務について学ぶ様子



復帰 50 年特別展について学ぶ
様子

(6) 「ウチナージュニアスタディー事業」に係る「社会学習・歴史学習」

①内容：復帰 50 年について学芸員講話とディスカッション&展示解説

目的：世界の沖縄県系人子弟と沖縄県内の同世代の学生が生活を共にしながら沖縄の歴史や文化、自然等を学ぶことで、強い絆を構築するとともに、県系人子弟についてはルーツである沖縄への理解を深め、県内学生については国際的な視野を広げることで「ウチナーネットワーク」を担う次世代を育成することを目的とする。

②日時：令和 4 年 8 月 3 日（水）（対象学年：県内外中高校生 20 名）



歴史担当学芸員による講話の様子



学生たちのディスカッションの様子



復帰 50 年特別展を見学しながら解説を受けている様子

(7) 「おきなわ県民カレッジ広域学習サービス講座」に係る「見学サポート」※

①内容：学芸員によるバックヤードツアー（人類・美術工芸・美術館教育普及）

目的：県民に生涯にわたり心身ともに健康で充実した生きがいのある生活を送るための学びの場を提供し、そこで学んだ成果を生活に活用することを目的とする。

②日時：令和 4 年 8 月 9 日（火）（参加人数：親子 24 名）

③主催：教育庁那覇教育事務所



バックヤードツアー見学の様子
（人類）



バックヤードツアー見学の様子
（美術工芸）



参加者による記念撮影

(8) 札幌大学「ウレシパクラブ文化財から見る沖縄県の歴史と文化」に係る「見学サポート」

①内容：学芸員による常設展示解説講座（歴史）

目的：学生を対象に、沖縄県立博物館・美術館に展示された収蔵品の鑑賞を通して見聞を深める。

- 1 琉球王国時代
- 2 王国時代の遺産—戦前の文化財指定
- 3 沖縄戦と戦後復興
- 4 戦後琉球・沖縄文化の評価史

②日時：令和 4 年 9 月 9 日（金）（対象学年：大学生 11 名）



札幌大学 常設展示室を見学している様子（歴史）

(9) 沖縄三育中学校「総合的な学習の時間」に係る「博物館展示解説」

①内容：学芸員による常設展示解説（民俗・考古・生物）

目的：生徒を対象に、沖縄県立博物館・美術館に展示された作品を観覧し、民俗・考古・生物の常設展示解説を受講し見識を深め今後の学校生活に寄与することを目的とする。

②日時：令和4年9月11日（日）（対象学年：1～3年生 17名）



三育中学校
民俗分野の解説を受けながら
見学している様子



三育中学校
考古分野の解説を受けながら
見学している様子



三育中学校
生物分野の解説を受けながら
見学している様子

(10) 沖縄県教職員共済会退職互助部「研修」に係る「見学サポート」

①内容：学芸員による復帰50年特別展・展示解説（歴史）

目的：沖縄県立博物館・美術館に展示された収蔵品の鑑賞と「復帰50年特別展 沖縄、復帰後。展」の見学を通して見聞を深める。

②日時：令和4年9月16日（金）（対象：沖縄県教職員共済会退職互助部 15名）

(11) 「歴史・文化講座（県立博物館見学）」に係る「見学サポート」※

①内容：学芸員による歴史・文化講座と常設展示解説

- 1 琉球・沖縄の歴史と文化
- 2 博物館の歴史・業務概要
- 3 博物館の常設展示物について

目的：沖縄の歴史・文化に対する理解を深め、幅広い教養を培うとともに、深い郷土愛のある職員の育成に資する

②日時：令和4年11月4日（金）（対象：県職員 30名）



「琉球・沖縄の歴史と文化」
館長講座の様子



常設展示室を見学している様子
（歴史）



常設展示室を見学している
様子（美術工芸）



博物館の歴史・業務概要の学習



考古分野の常設展示室の見学



生物分野の常設展示室の見学



人類分野常設展示室の見学



歴史・文化講座まとめ

(12) シニア学級「ふくらしや大学」に係る「見学サポート」※

①内容：学芸員による復帰 50 年展の講座・展示解説

1 復帰 50 年展「琉球」について（企画展見学）

2 講話「文化財保護と戦災文化財」について

②日時：令和 4 年 11 月 8 日（火）（対象：那覇市在住・在勤の 60 歳以上の方 20 名）



博物館の歴史・業務概要について学習している様子



美術工芸分野の常設展示物について学習している様子



学芸員の解説を受けながら見学している様子

(13) 陽明高等学校 授業「郷土の自然学習」に係る「見学サポート」

①内容：学芸員による常設展示解説（地学・生物）

目的：博物館に収蔵された資料を観覧しながら自然史の学芸員解説を受講して見識を深め、今後の学校生活・生涯学習に寄与することを目的とする。

②日時：令和 4 年 11 月 11 日（金）（対象学年：3 年生 24 名）



バックヤードの見学（地学）



バックヤードの見学（生物）



バックヤードの見学（地学）

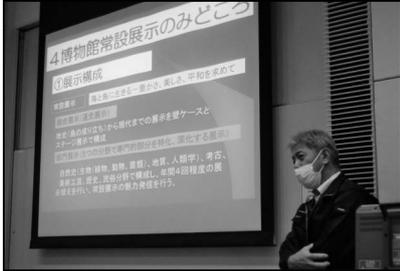
(14) 九州通訳・翻訳者・ガイド協会「沖縄研修」に係る「見学サポート」※

①内容：学芸員による講座（美術工芸）

- 1 博物館の歴史・業務概要について
- 2 博物館の常設展示物の概要について

目的：沖縄の歴史・文化に対する理解を深め、幅広い教養を培い通訳案内士の育成に資する。

②日時：令和4年11月22日（火）（対象：全国通訳案内士・添乗員研修生 14名）



博物館の歴史・業務概要について解説している様子



博物館の常設展示物の概要について学習している様子



博物館の常設展示物の概要についてまとめをしている様子

(15) 沖縄国際大学「ミュージアムワーク」に係る「見学サポート」

①内容：学芸員による展示解説（地学・生物）、担当教員による民俗分野の展示解説

目的：沖縄の民俗文化を理解するための土台として沖縄の地形や動植物などの環境理解を踏まえた民俗調査の実践のためにミュージアムワークを実施する。

②日時：令和4年12月9日（金）（対象学年：2年次27名 3年次2名 計29名）



沖縄国際大学
常設展示室を見学している
様子（生物）



沖縄国際大学
常設展示室を見学している
様子（地学）



沖縄国際大学
常設展示室を見学している
様子（民俗）

来館学習プログラム受入表 15 団体

2023 年 2 月現在

| | 期日 | 担当学芸員・職員 | 団体名 | 人数 |
|----|---------------|---|--------------------------------------|-------|
| 1 | 4 月 26 日 (火) | 崎原 恭子 (歴史) 澤浦 亮平 (人類) | オキナワインター ナショナルスクール | 16 名 |
| 2 | 6 月 3 日 (金) | 宇佐美 賢 (地学) 宮城 修 (歴史) | 学校法人カトリック学園 海星小学校 | 15 名 |
| 3 | 6 月 11 日 (土) | 園原 謙 (美術工芸) | 沖縄国際大学 | 21 名 |
| 4 | 7 月 14 日 (木) | 菊川 章 (生物) 照屋 杏奈 (教育普及補助) 大濱 萌子 (沖縄美ら島財団) 新垣 麻乃 (沖縄美ら島財団) | 沖縄県立 沖縄高等特別支援学校 | 41 名 |
| 5 | 7 月 27 日 (水) | 外間 一先 (博物館班 班長) 大湾 ゆかり (民俗) 玉城 早苗 (美術館教育普及) 豊見山 愛 (美術館) 博物館ボランティア | 那覇市立松島中学校 | 30 名 |
| 6 | 8 月 3 日 (水) | 宮城 修 (歴史) | 県内外中高等学校 | 23 名 |
| 7 | 8 月 9 日 (火) | 山崎 真治 (人類) 伊禮 拓郎 (美術工芸) 玉城 早苗 (美術館教育普及) | ※おきなわ県民カレッジ 広域学習サービス講座 那覇教育事務所 | 24 名 |
| 8 | 9 月 9 日 (金) | 園原 謙 (歴史/美術工芸) | 札幌大学 | 11 名 |
| 9 | 9 月 11 日 (日) | 大湾 ゆかり (民俗) 山本 正昭 (考古) 菊川 章 (生物) | 三育学院沖縄三育中学校 | 17 名 |
| 10 | 9 月 16 日 (金) | 宇佐美 賢 (地学) 宮城 修 (歴史) | ※沖縄県教職員共済会 退職互助部「研修」 | 15 名 |
| 11 | 11 月 4 日 (金) | 田名 真之 (館長) 外間 一先 (博物館班 班長) 園原 謙 (歴史/美術工芸) 篠原 あかね (美術工芸) 山本 正昭 (考古) 菊川 章 (生物) 澤浦 亮平 (人類) | ※自治研修所 | 29 名 |
| 12 | 11 月 8 日 (火) | 外間 一先 (博物館班 班長) | ※シニア学級「ふくらしや 大学」石嶺公民館 | 20 名 |
| 13 | 11 月 11 日 (金) | 菊川 章 (生物) 宇佐美 賢 (地学) | 沖縄県立陽明高等学校 | 24 名 |
| 14 | 11 月 22 日 (火) | 園原 謙 (歴史/美術工芸) | ※一般社団法人 九州通訳・ 翻訳者・ガイド協会 | 15 名 |
| 15 | 12 月 9 日 (金) | 菊川 章 (生物) 宇佐美 賢 (地学) | 沖縄国際大学 | 29 名 |
| | 総 計 | | | 330 名 |

今年度は多様な来館学習の要望があったため、その他団体について※で表記掲載した。

6 「出前授業等」の実施要項

＊令和4年度学校連携事業

(1) 趣旨

博物館の持つ資源（もの、情報、人）を、出前授業等を通じて学校教育の場で有効に活用する。

(2) 内容

①学校での授業や教員の研修会などに学芸員を講師として派遣する。

②授業では、ティーム・ティーチングの手法により、学芸員は教員と共同し、博物館資料を活用するなどして児童・生徒の学習を支援する。

(3) 対象

県内公立学校及び私立学校（小学校、中学校、高等学校、特別支援学校）

※クラス単位もしくは学年単位

(4) 実施時間

1～2時間程度（調整可）

(5) 実施場所

当該校

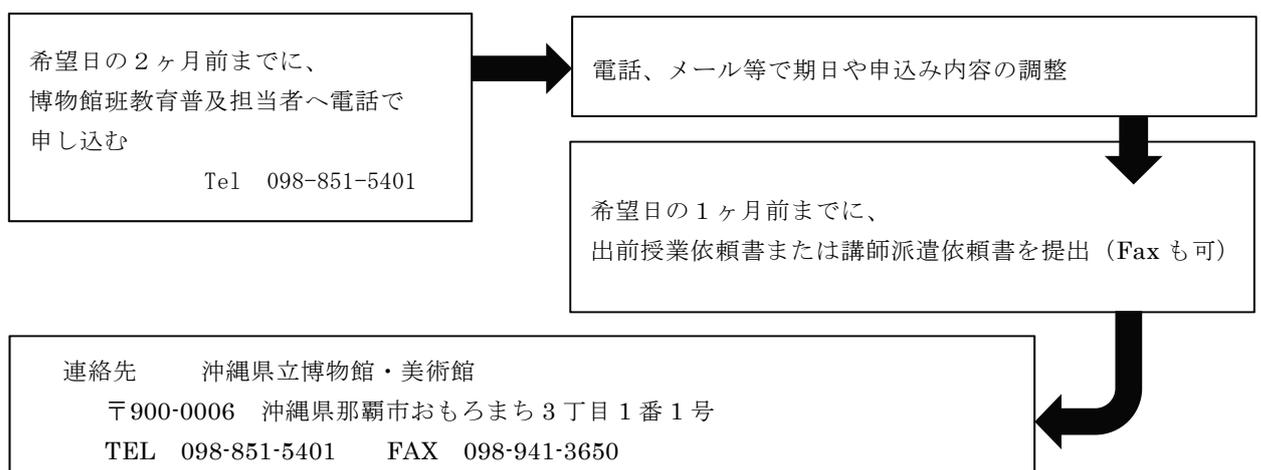
(6) 申し込み方法

※別紙参照

(7) その他

各学校から依頼の「出前授業等」に係る学芸員の派遣旅費（交通費）は、沖縄県立博物館・美術館で負担する。

(8) 出前授業等の申し込み方法と連絡先



出前授業等の申込み方法と連絡先

○申込み方法

希望日の2ヶ月前までに、
教育普及担当者へ電話で申し込む TEL 098-851-5401



電話、メール等で期日や申込み内容の調整



希望日の1ヶ月前までに、
出前授業依頼書または講師派遣依頼書を提出
(Fax、E-mailも可)

○連絡先

沖縄県立博物館・美術館
〒900-0006 沖縄県那覇市おもろまち3丁目1番1号
TEL 098-851-5401 FAX 098-941-3650

教育普及担当

※事業等の関係からご希望の日時に添えない場合があります。あらかじめご了承ください。

(9) 学芸員紹介

| | 担当分野 | | 氏 名 |
|------|------|-------------|----------------|
| 博物館班 | 自然史 | 生物 | 菊川 章 |
| | | 地学 | 宇佐美 賢 |
| | | 人類 | 山崎 真治 澤浦 亮平 |
| | 美術工芸 | 染織・陶器・三線 | 篠原 あかね |
| | | | 園原 謙 |
| | | 絵画・書跡・彫刻・漆器 | 伊禮 拓郎 |
| | 歴史 | 古琉球・近世 | 崎原 恭子 |
| | | 近現代 | 外間 一先 宮城 修 |
| | 考古 | | 山本 正昭 |
| | 民俗 | | 大湾 ゆかり |
| 教育普及 | | 大城 久表 | |

○沖縄県の自然、歴史、文化をはじめ、上記内容について、学芸員が博物館の持つ資源（もの、情報）を活用し、児童・生徒の学習を支援する。

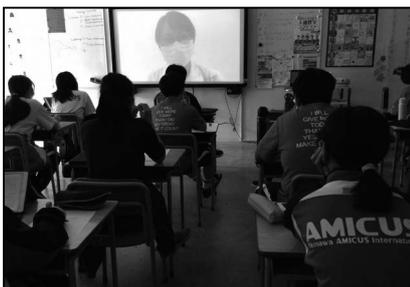
※校内研修等で博物館活用について、レクチャーする。

※「講師派遣依頼書」は、ホームページでダウンロードして使用可能。

7 「出前授業等」の実施状況

| | 期 日 | 担当学芸員 | 実施校及び施設 |
|---|------------------------|---------------|---------------------|
| 1 | 5月27日（金） | 澤浦 亮平（人類） | 沖縄アミークスインターナショナル中学校 |
| 2 | 6月9日（木） | 宮城 修（歴史） | 沖縄市立越来小学校 |
| 3 | 6月22日（水） | 園原 謙（歴史/美術工芸） | 国頭村立国頭中学校 |
| 4 | 7月13日（水） | 崎原 恭子（歴史） | 沖縄アミークスインターナショナル中学校 |
| 5 | 7月21日（木） | 崎原 恭子（歴史） | 嘉手納町立嘉手納外語塾 |
| 6 | 9月2日（金） | 宇佐美 賢（地学） | 沖縄アミークスインターナショナル中学校 |
| 7 | 9月26日（月） | 山本 正昭（考古） | 与那原町長寿学園「上の森学園」 |
| 8 | 9月27日（火） | 園原 謙（歴史/美術工芸） | 沖縄市立美里小学校 |
| 9 | 10月24日（月） 10月25日（火） | 園原 謙（歴史/美術工芸） | 宜野湾市立宜野湾小学校 |

| | | | |
|----|----------------------|---------------|---------------|
| 10 | 11月11日(金) | 澤浦 亮平(人類) | 沖縄県立向陽高等学校 |
| 11 | 11月25日(金) | 宇佐美 賢(地学) | 沖縄県立中部農林高等学校 |
| 12 | 11月29日(火) | 外間 一先(班長) | 宜野湾市立真志喜中学校 |
| 13 | 11月29日(火) | 菊川 章(生物) | 沖縄県立中部農林高等学校 |
| 14 | 12月1日(木) | 園原 謙(歴史/美術工芸) | 琉球大学教育学部附属中学校 |
| 15 | 12月2日(金) | 大湾 ゆかり(民俗) | 沖縄県立那覇みらい支援学校 |
| 16 | 12月21日(水) | 澤浦 亮平(人類) | 宮古島市立上野中学校 |
| 17 | 1月13日(金) | 山崎 真治(人類) | 渡嘉敷村立阿波連小学校 |
| 18 | 1月24日(火) | 山本 正昭(考古) | 石垣市立名蔵中学校 |
| 19 | 1月24日(火) 1月26日(木) | 大湾 ゆかり(民俗) | 西原町立坂田小学校 |
| 20 | 1月27日(金) | 山本 正昭(考古) | 石垣市立伊原間中学校 |
| 21 | 2月7日(火) | 山崎 真治(人類) | 竹富町立古見小学校 |
| 22 | 2月7日(火) | 宮城 修(歴史) | 恩納村立うんな中学校 |
| 23 | 2月17日(金) | 園原 謙(歴史/美術工芸) | 久米島町立久米島小学校 |
| 24 | 2月17日(金) | 園原 謙(歴史/美術工芸) | 久米島町立球美中学校 |
| 25 | 2月17日(金) | 宇佐美 賢(地学) | 沖縄県立首里高等学校 |



沖縄アミクスインターナショナル中学校



越來小学校



国頭中学校



沖縄アミクスインターナショナル中学校



嘉手納外語塾



沖縄アミクスインターナショナル中学校



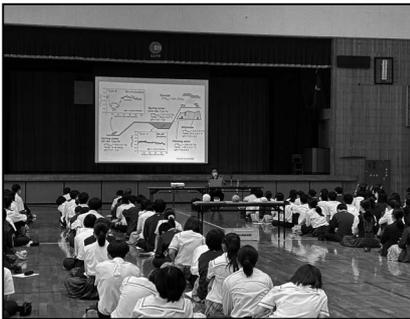
与那原町長寿学園「上の森学園」



美里小学校



宜野湾小学校



向陽高等学校



中部農林高等学校



中部農林高等学校



琉球大学教育学部附属中学校



那覇みらい支援学校



上野中学校



阿波連小学校



名蔵中学校



伊原間中学校



古見小学校



うんな中学校



首里高等学校

Ⅲ 博物館体験学習教室

1 体験学習教室の実施要項

(1) 趣旨・目的

沖縄の歴史や文化および自然と結びついた体験的な活動をすることによって、郷土の文化や伝統に関心を持たせ、先人の知恵などを学ぶ。

(2) 内容

博物館の各分野(自然史・考古・歴史・美術工芸・民俗)の展示内容と関連した体験的な活動を通して、県民が有意義に楽しく学ぶことが出来るよう企画する。

(3) 受講方法

1ヶ月前までに広報し、2週間前までに募集をかける。応募者多数の場合は抽選する。

※抽選の場合、当選者には、事前に当選の通知連絡を行う。

(4) 体験学習に係る役割

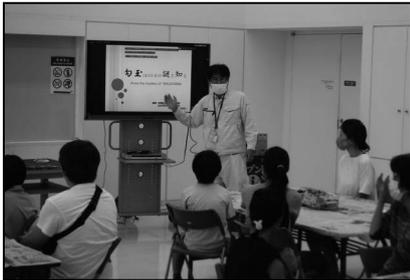
| 前日まで | | 当日運営 | |
|------------------------|----------------------|-------------|---------------------------------|
| ①事業起案及び講師依頼 | 博教育普及担当 | ①受付及び材料費徴収 | 指定管理者 |
| ②マスコミ各社への取材依頼 | 指定管理者 | ②開講式 司会 | 〃 |
| ③受講生受付 | 〃 | ③講師紹介 | 〃 |
| ④講師事前打ち合わせ | ○博物館教育普及担当 ○指定管理者 | ④講座の進行 | 〃 |
| ⑤説明資料作成 | | ⑤材料等の準備及び配布 | ○博物館教育普及担当 ○指定管理者 ○ボランティア |
| ⑥材料・道具等の諸準備 | | ⑥記念撮影 | |
| ⑦ボランティア事前学習 ・準備作業調整 | | ⑦報償費支払い事務 | |

2 体験学習教室の実施状況

| 講座日 | 題 | 講師名 | 内容 | 参加者 |
|--------------------|--------------|----------|------------------------|-----|
| 第1回講座 10月22日(土) | 勾玉づくりにチャレンジ | 山本 正昭 | 復帰50年展「琉球－美とその背景－」関連催事 | 20名 |
| 第2回講座 11月26日(土) | 琉球古刺繍をやってみよう | 琉球古刺繍保存会 | 復帰50年展「琉球－美とその背景－」関連催事 | 10名 |

第1回講座「勾玉づくりチャレンジ」(琉球展関連催事) 10月22日(土)

講師：山本 正昭(考古担当)



琉球

まが たま
**勾玉づくり
チャレンジ**

※24名7名





1. 四角い石をけずる
2. 道具で形を整えながらさらにけずる
3. 玉を通して完成!

琉球に由来し、沖縄の神女が身につけていた勾玉の歴史や美しさについて学び、実際につくってみよう。

2022 10.22 9:30~12:00
(受付 9:15) 参加費 無料

※新型コロナウイルス感染症予防対策として、本講座には事前予約が必要です。

講師 山本正昭(考古担当)
会場 沖縄県立博物館・美術館 博物館実習室
TEL 098-941-8200
受付時間 沖縄県那覇市おもろまち3-1-1

参加費 10組(20名程度)

対象 小学3年~小学6年生と保護者

申込期間 9/22(木)~10/2(日)

※申込受付は9/22(木)15:00までです。
 ※定員を超えた場合は抽選となります。
 ※抽選結果は9/22(木)16:00頃にメールでお知らせいたします。

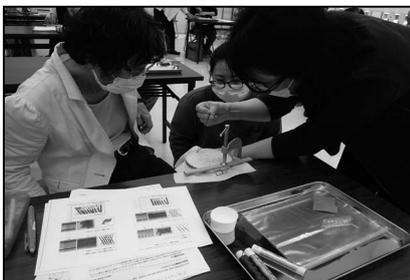
STAP
CONTAP

※新型コロナウイルス感染症予防対策としてご協力をお願いします！
 ・会場内での飲食はご遠慮ください。
 ・マスクの着用、手洗いや手指消毒、換気設備の稼働にご協力ください。
 ・ご来場の際は体温測定を行います。
 ・新型コロナウイルス感染症(COVID-19)を心配されている方はご来場を控えさせていただきます。

- 内容：復帰50年展「琉球—美とその背景—」関連催事①
- | | |
|-------------|------------------|
| 1 はじめに | 2 まがたま(勾玉)4つの謎 |
| 3 勾玉の作り方レシピ | 4 勾玉(まがたま)づくりを体験 |
| | 5 仕上げ |

第2回講座「琉球古刺繍をやってみよう(琉球展関連催事)」 11月26日(土)

講師：琉球古刺繍保存会



琉球古刺繍をやってみよう

琉球に伝わる刺繍資料をもとに復元された技法を学び、その技法で花びらや葉っぱなどの刺繍を体験します。

2022 11.26 14:00~17:00
(受付 13:45) 参加費 無料

※新型コロナウイルス感染症予防対策として、本講座には事前予約が必要です。

講師 琉球古刺繍保存会
会場 沖縄県立博物館・美術館 博物館実習室
TEL 098-941-8200
受付時間 沖縄県那覇市おもろまち3-1-1

対象 小5~大人まで(小学生は保護者同伴)

定員 15名

申込期間 10/14(金)~10/30(日)

※申込受付は10/30(日)15:00までです。
 ※定員を超えた場合は抽選となります。
 ※抽選結果は10/30(日)16:00頃にメールでお知らせいたします。

STAP
CONTAP

※新型コロナウイルス感染症予防対策にご協力をお願いします！
 ・会場内での飲食はご遠慮ください。
 ・マスクの着用、手洗いや手指消毒、換気設備の稼働にご協力ください。
 ・ご来場の際は体温測定を行います。
 ・新型コロナウイルス感染症(COVID-19)を心配されている方はご来場を控えさせていただきます。

- 内容：復帰50年展「琉球—美とその背景—」関連催事②
- | | |
|--------|-----------|
| 1 はじめに | 2 刺繍の説明 |
| 3 刺繍体験 | 4 まとめ 片付け |

IV 博物館文化講座

1 文化講座の実施要項

(1) 趣旨・目的

博物館の展示内容に関する沖縄の自然・歴史・文化等について、広い視点から分かりやすく楽しく、有意義な学習ができるよう、文化講座を開催する。これを開催することにより、沖縄の自然・歴史・文化に対する県民の意識の向上を図ることを目的とする。

(2) 内容

当博物館の展示内容と関連する自然史・人類・考古・歴史・美術工芸・民俗の各分野についての講演、展示品の解説、実技指導、現地研修などを通して、県民各層が分かりやすく有意義に学習できるよう企画されている。

(3) 実施日と場所

実施日：毎月1回、土曜日 午後2時～4時までの2時間

場 所：特に指定がない場合は、当館講堂（3階）

(4) 受講方法

事前申込 140名 ※第546回以降は当日先着。第548回の定員は200名に増員。

2 文化講座の実施状況

| 回数 | 期日 | 演題 | 講師名 | 定員 | 参加者 |
|-----|-----------|---|-------------------------|-----|--------------|
| 537 | 4月16日（土） | 復帰50年失われた資料発掘のあゆみ | 納富 香織 | 140 | リモート講演 60 |
| 538 | 5月21日（土） | 北海道有珠モシリ縄文人の生と死 | 青野 友哉 | 140 | 84 |
| 539 | 6月18日（土） | ナイチャーの見た民俗50年 | 古家 信平 | 140 | 88 |
| 540 | 7月31日（日） | 公開シンポジウム 遺跡から尚巴志の生きた時代を考える | 山里 昌次 山本 正昭 宮城 弘樹 | 140 | 123 |
| 541 | 8月21日（日） | 沖縄・ウクライナ・琉球王国 —35年におよぶ沖縄とのふれあいの中 で | 金平 茂紀 | 140 | 106 |
| 542 | 9月17日（土） | ぼくの沖縄（復帰後）50年史 | 新城 和博 | 140 | 75 |
| 543 | 10月15日（土） | 琉球美術史への招待 —グスクの城壁 から工芸品のデザインまで— | 上江洲 安亨 | 140 | 98 |
| 544 | 11月19日（土） | 『おもろさうし』の世界 | 波照間 永吉 | 140 | 121 |
| 545 | 12月17日（土） | 沖縄の人と自然 ～やんばる50年を 中心に～ | 当山 昌直 | 140 | 84 |
| 546 | 1月21日（土） | さわれる博物館はもっと面白い ～3Dプリントを活用した未来の博物 館の姿～ | 森 健人 | 140 | 27 |
| 547 | 2月18日（土） | サンゴ礁とハブ 意外な歴史関係 | 井龍 康文 | 140 | 83 |
| 548 | 3月11日（土） | 琉球の仏教彫刻 —木彫刻を中心に— | 長谷 洋一 | 200 | 70 |

第 537 回 文化講座 リモート講演

演題：「復帰 50 年失われた資料発掘のあゆみ」

講師：納富 香織（沖縄県教育庁文化財課史料編集班）

内容：1 はじめに

- 2 「失われた資料」とは？—近代沖縄における郷土資料—
- 3 廃墟からの資料収集
- 4 初の県史編纂事業「沖縄縣史」刊行（1965～1977 年）
- 5 おわりに／質疑応答



■ 沖縄県立博物館・美術館 第 537 回 博物館文化講座 ■

復帰 50 年 失われた資料発掘のあゆみ

2022. 4.16 (土) 14:00~16:00 (開場 13:30)

講師：納富 香織

会場：沖縄県立博物館・美術館 3F 講堂 (140 席)

入場料：3,160円 (税込)

予約：094-941-8200

予約受付期間：4/16(土) 10:00~15:00

※新型コロナウイルス感染症拡大防止にご協力！

※会場内マスクの着用を強く推奨いたします。

※会場内飲食・飲酒はご遠慮ください。

※会場内での会話も控えさせていただきます。

※会場内での移動もご遠慮ください。

※会場内での立ち見はご遠慮ください。

※会場内での撮影はご遠慮ください。

※会場内での録音・録画はご遠慮ください。

※会場内での録音・録画はご遠慮ください。

※会場内での録音・録画はご遠慮ください。

第 538 回 文化講座

演題：「北海道有珠モシリ縄文人の生と死」

講師：青野 友哉（東北芸術工科大学芸術学部歴史遺産学科 准教授）

内容：1 本稿の目的

2 調査要項

3 遺跡の概要

4 旧調査区の目的

5 18 号墓の調査

6 成果と課題



■ 沖縄県立博物館・美術館 第 538 回 博物館文化講座 ■

北海道 有珠モシリ縄文人の生と死

2022. 5.21 (土) 14:00~16:00 (開場 13:30)

講師：青野 友哉

会場：沖縄県立博物館・美術館 3F 講堂 (140 席)

入場料：4,211円 (税込)

予約：094-941-8200

予約受付期間：4/21(土) 10:00~15:00

※新型コロナウイルス感染症拡大防止にご協力！

※会場内マスクの着用を強く推奨いたします。

※会場内飲食・飲酒はご遠慮ください。

※会場内での会話も控えさせていただきます。

※会場内での移動もご遠慮ください。

※会場内での立ち見はご遠慮ください。

※会場内での撮影はご遠慮ください。

※会場内での録音・録画はご遠慮ください。

第 539 回 文化講座

演題：「ナイチャーの見た民俗 50 年」

講師：古家 信平（日本民俗学会、沖縄民俗学会会員、筑波大学名誉教授）

内容：1 辺野古の豊年祭の綱引き

2 久志の 6 月ウチマー

3 辺野古の 6 月ウチマー

4 辺野古の川拌み

5 辺野古の組み踊りの一場面



■ 沖縄県立博物館・美術館 第 539 回 博物館文化講座 ■

ナイチャーの見た民俗 50 年

2022. 6.18 (土) 14:00~16:00 (開場 13:30)

講師：古家 信平

会場：沖縄県立博物館・美術館 3F 講堂 (140 席)

入場料：5,180円 (税込)

予約：094-941-8200

予約受付期間：6/18(土) 10:00~15:00

※新型コロナウイルス感染症拡大防止にご協力！

※会場内マスクの着用を強く推奨いたします。

※会場内飲食・飲酒はご遠慮ください。

※会場内での会話も控えさせていただきます。

※会場内での移動もご遠慮ください。

※会場内での立ち見はご遠慮ください。

※会場内での撮影はご遠慮ください。

※会場内での録音・録画はご遠慮ください。

第 543 回 文化講座

演題：「琉球美術史への招待 ―グスクの城壁から工芸品のデザインまで―」（企画展関連催事）

講師：上江洲 安亨（一般財団法人 沖縄美ら島財団）

- 内容：1 歴史学はロマン？→为什么呢？
 2 歴史学という科学分野
 3 子どもの頃の教科書の解説や説明が変わっていく理由
 4 琉球王国の歴史・編纂物
 5 型式分類調査のイメージ



琉球美術史への招待
 エンペラの城壁から工芸品のデザインまで

2022.
10.15 (土)
 14:00~16:00 (開場 13:30)

会場 沖縄県立博物館・美術館 3F 講堂 (40席)
 講師 上江洲 安亨氏 (一般財団法人 沖縄美ら島財団)
 申込はコチラから

※申込はコチラから
 〒941-8200 沖縄県那覇市丸の内1-1-1
 沖縄県立博物館・美術館
 3F 講堂 (40席)
 入場料 無料 (※当日券あり)

【講師】
 上江洲 安亨 氏 (一般財団法人 沖縄美ら島財団)
 琉球美術史の第一人者として、琉球美術史の発展に大きく貢献されています。また、琉球美術史の普及のために、多くの書籍や展覧会を開催されています。今回の講演では、琉球美術史の現状と今後の展望について、お話しします。

【STOP COVID】
 新型コロナウイルス感染症拡大防止にご協力ください！
 ・来場者全員がマスクの着用をお願いします。
 ・来場者同士の距離を十分に確保してください。
 ・来場者全員が手洗いや手指消毒をお願いします。

第 544 回 文化講座

演題：「『おもろさうし』の世界」（企画展関連催事）

講師：波照間 永吉（名桜大学大学院博士課程特任教授）

- 内容：1 琉球文学の概観
 2 オモロと『おもろさうし』
 3 オモロに親しむ
 4 王府オモロを聞く



『おもろさうし』の世界

2022.
11.19 (土)
 14:00~16:00 (開場 13:30)

会場 沖縄県立博物館・美術館 3F 講堂 (40席)
 講師 波照間 永吉氏 (名桜大学大学院博士課程特任教授)
 申込はコチラから

※申込はコチラから
 〒941-8200 沖縄県那覇市丸の内1-1-1
 沖縄県立博物館・美術館
 3F 講堂 (40席)
 入場料 無料 (※当日券あり)

【講師】
 波照間 永吉 氏 (名桜大学大学院博士課程特任教授)
 『おもろさうし』の研究に専念されている。琉球文学史の発展に大きく貢献されています。また、『おもろさうし』の普及のために、多くの書籍や展覧会を開催されています。今回の講演では、『おもろさうし』の現状と今後の展望について、お話しします。

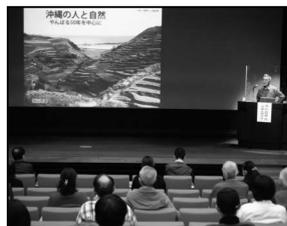
【STOP COVID】
 新型コロナウイルス感染症拡大防止にご協力ください！
 ・来場者全員がマスクの着用をお願いします。
 ・来場者同士の距離を十分に確保してください。
 ・来場者全員が手洗いや手指消毒をお願いします。

第 545 回 文化講座

演題：「沖縄の人と自然 ～やんばる 50 年を中心に～」

講師：当山 昌直（沖縄生物学会 副会長）

- 内容：1 1972 年～のやんばる 6 生物多様性条約
 2 1950 年頃のやんばる 7 生物文化
 3 戦前のやんばる 8 生物文化の多様性
 4 人と自然との関わり
 5 環境史



沖縄の人と自然
 ～やんばる 50 年を中心に～

2022.
12.17 (土)
 14:00~16:00 (開場 13:30)

会場 3F 講堂 (40席)
 講師 当山 昌直氏 (沖縄生物学会 副会長)
 申込はコチラから

※申込はコチラから
 〒941-8200 沖縄県那覇市丸の内1-1-1
 沖縄県立博物館・美術館
 3F 講堂 (40席)
 入場料 無料 (※当日券あり)

【講師】
 当山 昌直 氏 (沖縄生物学会 副会長)
 『やんばる』の研究に専念されている。琉球自然史の発展に大きく貢献されています。また、『やんばる』の普及のために、多くの書籍や展覧会を開催されています。今回の講演では、『やんばる』の現状と今後の展望について、お話しします。

【STOP COVID】
 新型コロナウイルス感染症拡大防止にご協力ください！
 ・来場者全員がマスクの着用をお願いします。
 ・来場者同士の距離を十分に確保してください。
 ・来場者全員が手洗いや手指消毒をお願いします。

V 博物館学芸員講座

1 学芸員講座の実施要項

(1) 趣旨・目的

博物館の展示内容に関する沖縄の自然・歴史・文化等について、学芸員が広い視点から分かりやすく講義・展示解説し、楽しく有意義な学習を通して、県民の意識の向上を図ることを目的とする。

(2) 内容

当博物館の自然史・人類・考古・歴史・美術工芸・民俗の各分野の担当学芸員が行う講義・展示解説、実技指導などを通して、県民各層が楽しく、より深く沖縄について学べるよう企画されている。

(3) 実施日と場所

実施日：毎月1回、土曜日 午後2時～4時までの2時間（講座により変更あり）

場 所：博物館講座室を基本とする

(4) 受講方法

事前申込 60名

※2月11日以降は定員を80名に増員

2 学芸員講座の実施状況

| 回数 | 期日 | 演題 | 講師名 | 定員 | 参加者 |
|----|-----------|--|----------------|-----------|-----|
| 1 | 4月9日（土） | 博物館バックヤードたんけん | 大城 久表 | 10 | 10 |
| 2 | 5月14日（土） | 復帰50年 沖縄の想い | 外間 一先 | 60 | 56 |
| 3 | 6月11日（土） | フィールドツアー 港川人をたずねて | 山崎 真治 | 20 | 18 |
| 4 | 7月9日（土） | 琉球王国の三線 ー知られざるべっ甲巻き三線についてー | 篠原 あかね | 60 | 37 |
| 5 | 8月13日（土） | 『沖縄、復帰後の展 ーいちまでいん かなさ おきなわー』見どころ紹介 | 宮城 修 | 60 | 48 |
| 6 | 9月10日（土） | 遺跡からかいま見る尚巴志の時代 ー尚巴志即位600年を記念してー | 山本 正昭 | 講堂 140 | 109 |
| 7 | 10月8日（土） | フィールドツアー 身近なカタツムリたち をさがしに行こう！ | 菊川 章 | 20 | 17 |
| 8 | 11月12日（土） | 『琉球 ー美とその背景ー』展 よもやま話 | 伊禮 拓郎 | 講堂 140 | 86 |
| 9 | 12月10日（土） | 新収蔵の『向姓家譜』～和宇慶家と内間 家～ | 崎原 恭子 | 60 | 45 |
| 10 | 1月14日（土） | フィールドツアー 石ころと地形、遺跡から 紐解く島の成り立ちと人間生活 | 宇佐美 賢 山本 正昭 | 15 | 18 |
| 11 | 2月11日（土） | 『宮内庁三の丸尚蔵館収蔵品展』にみる皇 室と沖縄 | 大湾 ゆかり | 80 | 48 |
| 12 | 3月18日（土） | 狩猟採集から農耕へ ー古人骨から人類史の画期を探るー | 澤浦 亮平 | 80 | |

※3月16日（木）現在の情報のため、3月18日（土）は空欄

第7回 学芸員講座

演題：「フィールドツアー 身近なカタツムリたちをさがしに行こう！」

講師：菊川 章（生物担当学芸員）

- 内容：1 はじめに 5 カタツムリのいろいろ
 2 カタツムリってどんな生きもの？ 6 沖縄カタツムリ事情
 3 陸貝への進化は少なくとも3回起こった？
 4 カタツムリの不思議な体



フィールドツアー
身近なカタツムリたちをさがしに行こう！

2022.10.8
9:00~12:00
(集合 8:45)

● 講師 菊川 章 (生物担当学芸員)
● 会場 大聖城址公園 (無料) 大聖城址公園 (無料) 大聖城址公園 (無料)
● 定員 20名 (小学生以上)
● 参加費 300円

● 申込期間 9/8(木)~9/21(水)
● 申込先 098-941-8200
● 申込先 大聖城址公園 (無料) 大聖城址公園 (無料) 大聖城址公園 (無料)

第8回 学芸員講座

演題：「『琉球 一美とその背景』展 よもやま話」

講師：伊禮 拓郎（美術工芸担当学芸員）

- 内容：1 過去の復帰展
 2 復帰 50 年の展示を行うにあたって
 3 企画展として何を行うか？
 4 展覧会に向けて
 5 展覧会の見どころ説明補足



琉球 一美とその背景
よもやま話

2022.11.12
14:00~16:00
(開場 13:30)

● 講師 伊禮 拓郎 (美術工芸担当学芸員)
● 会場 大聖城址公園 (無料) 大聖城址公園 (無料) 大聖城址公園 (無料)
● 定員 20名 (小学生以上)
● 参加費 300円

● 申込期間 10/12(日)~10/25(日)
● 申込先 098-941-8200
● 申込先 大聖城址公園 (無料) 大聖城址公園 (無料) 大聖城址公園 (無料)

第9回 学芸員講座

演題：「新収蔵の『向姓家譜』～和宇慶家と内間家～」

講師：崎原 恭子（歴史担当学芸員）

- 内容：1 はじめに 5 おわりに
 2 館保管の家譜資料
 3 新収蔵品の向姓家譜
 4 新収蔵品の向姓家譜の意義



新収蔵の『向姓家譜』
和宇慶家と内間家

2022.12.10
14:00~16:00
(開場 13:30)

● 講師 崎原 恭子 (歴史担当学芸員)
● 会場 大聖城址公園 (無料) 大聖城址公園 (無料) 大聖城址公園 (無料)
● 定員 20名 (小学生以上)
● 参加費 300円

● 申込期間 11/10(日)~11/23(日)
● 申込先 098-941-8200
● 申込先 大聖城址公園 (無料) 大聖城址公園 (無料) 大聖城址公園 (無料)

● 申込先 大聖城址公園 (無料) 大聖城址公園 (無料) 大聖城址公園 (無料)

● 申込先 大聖城址公園 (無料) 大聖城址公園 (無料) 大聖城址公園 (無料)

第10回 学芸員講座

演題：「フィールドツアー 石ころと地形、遺跡から紐解く島の成り立ちと人間生活」

講師：宇佐美 賢（地学担当学芸員）・山本 正昭（考古担当学芸員）

- 内容：1 はじめに
2 黒色千枚岩の観察
3 北展望台
4 阿波連港横
5 阿波連園地展望台
6 船越原遺跡周辺



第11回 学芸員講座

演題：『「宮内庁三の丸尚蔵館収蔵品展」にみる皇室と沖縄』

講師：大湾 ゆかり（民俗担当学芸員）

- 内容：1 宮内庁三の丸尚蔵館の紹介
2 今回の展覧会までの開催の経緯
3 展覧会の構成と出品作品
4 展覧会のみどころ 作品とその背景
5 特別ゲスト 鶴田 萌さんによる筆築（ひちりき）の演奏



第12回 学芸員講座

演題：「狩猟採集から農耕へ ― 古人骨から人類史の画期を探る―」

講師：澤浦 亮平（人類担当学芸員）

VI 博物館常設展展示解説会

1 展示解説会の実施要項

定員を設けていない催事であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため人数制限（定員 15 名）を設けて実施した。

(1) 趣旨・目的

博物館の展示内容に関する沖縄の自然・歴史・文化等について、学芸員が広い視点から分かりやすく講義・展示解説し、楽しく有意義な学習を通して、県民の意識の向上を図ることを目的とする。

(2) 内容

当博物館の自然史・人類・考古・歴史・美術工芸・民俗の各分野の担当学芸員が行う講義・展示解説を通して、県民が楽しく、より深く沖縄について学ぶことができる。

(3) 実施日と場所

実施日：毎月 1 回、第 2 木曜日 14:00～15:00 までの 1 時間

※ 8 月は 10 日（水）に実施

場 所：博物館常設展示室

(4) 受講方法

当日先着 15 名（13:30～ふれあい体験室前にて受付）

2 展示解説会の実施状況

常設展の展示解説会は、展示資料を前に解説パネルだけでは補いきれない「博物館ならではの最新の調査報告や情報」を踏まえた内容を紹介。新型コロナウイルス感染症の影響で、一部担当を変更して、実施した。（8 月と 3 月の当初予定を入れ替えて実施）

| 回数 | 期日 | 分野 | 講師名 | 定員 | 参加者 |
|----|--------------|------|--------|----|-----|
| 1 | 4 月 14 日（木） | 教育普及 | 大城 久表 | 15 | 16 |
| 2 | 5 月 12 日（木） | 人類 | 山崎 真治 | 15 | 13 |
| 3 | 6 月 9 日（木） | 民俗 | 大湾 ゆかり | 15 | 15 |
| 4 | 7 月 14 日（木） | 歴史 | 宮城 修 | 15 | 15 |
| 5 | 8 月 10 日（水） | 美術工芸 | 伊禮 拓郎 | 15 | 14 |
| 6 | 9 月 8 日（木） | 地学 | 宇佐美 賢 | 15 | 15 |
| 7 | 10 月 13 日（木） | 歴史 | 外間 一先 | 15 | 15 |
| 8 | 11 月 10 日（木） | 美術工芸 | 篠原 あかね | 15 | 12 |
| 9 | 12 月 8 日（木） | 歴史 | 崎原 恭子 | 15 | 12 |
| 10 | 1 月 19 日（木） | 人類 | 澤浦 亮平 | 15 | 13 |
| 11 | 2 月 9 日（木） | 考古 | 山本 正昭 | 15 | 15 |
| 12 | 3 月 9 日（木） | 生物 | 菊川 章 | 15 | 12 |

Ⅶ バックヤードツアー

1 バックヤードツアーの実施要項

(1) 趣旨・目的

博物館が持つ、調査・研究・保存の機能を担う収蔵庫や各部屋を学芸員が分かりやすく解説し、普段見る事のできない博物館の機能の見学を通して、文化財への県民の意識向上を図る事を目的とする。

(2) 内容

普段見ることができない博物館内の各部屋を見学する。

(3) 実施日と場所

実施日：毎月1回、今年度は基本第4土曜日 14:00～15:00までの1時間

場 所：博物館バックヤード

(4) 参加方法・定員

参加方法：開催1週間前より電話・総合案内で受付

定 員：事前申込10名

2 バックヤードツアーの実施状況

バックヤードツアーは学芸員が講師を務め、より専門性を生かした内容とリピーターづくりを目指している。安全性を考慮し、学芸員と指定管理者スタッフの2名体制で臨んだ。学芸員研究室、研究資料室（書庫）、自然史実験室、トラックヤード、写真撮影室、冷凍室、工作室を基本コースとし、収蔵庫は専門分野を中心に案内した。また、建物の構造やIPM（Integrated Pest Management：総合的有害生物管理）の取り組み、資料の修復等について解説するなど、博物館の役割や使命を理解しやすくする工夫をしながら実施した。

| 回数 | 期日 | 分野 | 講師名 | 定員 | 参加者 |
|----|-----------|------|--------|----|-----|
| 1 | 4月23日（土） | 美術工芸 | 伊禮 拓郎 | 10 | 8 |
| 2 | 5月28日（土） | 人類 | 山崎 真治 | 10 | 10 |
| 3 | 6月25日（土） | 民俗 | 大湾 ゆかり | 10 | 10 |
| 4 | 7月16日（土） | 歴史 | 崎原 恭子 | 10 | 13 |
| 5 | 8月27日（土） | 地学 | 宇佐美 賢 | 10 | 11 |
| 6 | 9月24日（土） | 考古 | 山本 正昭 | 10 | 10 |
| 7 | 10月22日（土） | 生物 | 菊川 章 | 10 | 10 |
| 8 | 11月26日（土） | 歴史 | 外間 一先 | 10 | 10 |
| 9 | 12月24日（土） | 歴史 | 宮城 修 | 10 | 13 |
| 10 | 1月28日（土） | 人類 | 澤浦 亮平 | 10 | 10 |
| 11 | 2月25日（土） | 美術工芸 | 篠原 あかね | 10 | 8 |
| 12 | 3月25日（土） | 教育普及 | 大城 久表 | 10 | |

※3月16日（木）現在の情報のため、3月25日（土）は空欄

VIII 夏休み！こどもフェスタ 2022 親子バスツアー

今年度は、毎年行っている「夏休み！こどもフェスタ」の内容を一部変更し、復帰 50 年特別展開連催事の一環として、「親子バスツアー」を 2 回実施した。

1 親子バスツアーの実施要項

(1) 趣旨・目的

学芸員が親子を対象に沖縄の自然・歴史・文化と復帰について考え、郷土への興味・関心を高める。

(2) 内容

復帰後 50 年を迎えた今、沖縄県の近現代史や自然、生活に関わる各所をめぐり、学芸員が親子を対象に沖縄の自然・歴史・文化と復帰について考え、郷土への興味・関心を高める場を提供するため「親子で知ろう！むかしのおきなわとこれからのおきなわバスツアー」を行う。

(3) その他

①実施方法

対 象：県内の小学生・中学生 と親子

定 員：20 名（親子 10 組）

実施日：令和 4 年 4 月 30 日（土） 9:00～13:20 那覇市小禄周辺コース

令和 4 年 7 月 23 日（土） 9:00～16:00 恩納村博物館周辺コース

参加料：無料

②受講方法

当日の日程表をチラシ等で告知し参加者を募る。

事前申込制 ※応募者多数の場合抽選。

バスツアーチラシ表

こどもフェスタチラシ表

こどもフェスタチラシ裏

2 親子バスツアーの実施状況

| 期日・教室内容・講師 | 参加者 |
|--|------|
| <p>【4月30日（土）】 復帰 50 年特別展関連催事 親子バスツアー① 「親子で知ろう！むかしのおきなわとこれからのおきなわバスツアー」 場所：那覇市小禄周辺コース</p> <p>① がじゃんびら公園 ② 山下第一洞穴遺跡 ③ 島田叡顕彰碑 ④ 落平 ⑤ 野球資料館 ⑥ 奥武山の地形 ⑦ 世持神社 ⑧ 奈良原繁銅像跡 ⑨ 国場川 ⑩ 若夏国体 ⑪ バスで浦添方面</p> <p>外間 一先（博物館班 班長） 宮城 修（歴史担当） 崎原 恭子（歴史担当） 菊川 章（生物担当） 宇佐美 賢（地学担当） 澤浦 亮平（人類担当） 大湾 ゆかり（民俗担当）</p> | 17 名 |
| <p>【7月23日（土）】 復帰 50 年特別展関連催事 親子バスツアー②（夏休み！こどもフェスタ 2022） 「米軍基地と復帰に伴う開発と沖縄の自然・歴史・文化」 復帰 50 年の沖縄について親子で学ぼう。 場所：恩納村博物館周辺コース</p> <p>①車窓各所解説 ②仲泊遺跡 ③比屋根坂石畳 ④恩納村文化情報センター ⑤嘉手納道の駅 ⑥車窓各所解説</p> <p>外間 一先（博物館班 班長） 宮城 修（歴史担当） 菊川 章（生物担当） 山崎 真治（人類担当） 山本 正昭（考古担当）</p> | 18 名 |

親子バスツアー① 那覇市小禄周辺コース

4月30日（土）

①外間 一先（博物館班 班長）



②宮城 修（歴史担当）



③ 崎原 恭子 (歴史担当)



④ 菊川 章 (生物担当)



⑤ 宇佐美 賢 (地学担当)



⑥ 澤浦 亮平 (人類担当)



⑦ 大湾 ゆかり (民俗担当)



①外間 一先 (博物館班 班長)



②宮城 修 (歴史担当)



③菊川 章 (生物担当)



④山崎 真治 (人類担当)



⑤山本 正昭 (考古担当)



IX ふれあい体験室

1 ふれあい体験室の概要

(1) ふれあい体験室の位置づけと目的

「ふれあい体験室」は、ハンズ・オン展示の資料を通して来館者同士、来館者とスタッフ、また、ここで展示されている“おきなわ”との「ふれあい空間」創りをめざしている部屋である。この部屋は、常設展示として、総合展示・部門展示と補完しあい、また、実習室や野外体験プログラムと連携し、効果的に運用できる機能を併せ持っている。

さらに、この部屋は館内における教育普及活動の拠点施設となり、来館者に発見や感動の喜びを提供する場として、教育のさらなる向上に寄与する展示・プログラムの開発を行う場ともなる。

(2) 体験キットの位置づけ

展示物（体験キット）は、沖縄の「自然のしくみ」と「先人の知恵」に触れる・見る・聞くなどの五感で体感できる操作や組立てなどの遊びを通じて、展示資料を深く学ぶことができる。

体験キットは、教育普及資料として位置づけられるもので、沖縄の自然、考古、歴史、美術工芸及び民俗などの内容に基づき、すべてが触れることのできるものとする。

体験キットは、来館者が資料に触れあうことで目的が達成するものとして準備されている。来館者が自主的に触れることができるようにするために、職員や親子、一般の方々といった様々な人が参加する雰囲気作りを心がけていく。ふれあい体験室では、能動的に“沖縄の「自然のしくみ」や「先人の知恵」”を発見・再発見することができる展示を行う。

(3) ふれあい体験室・体験キットの対象者

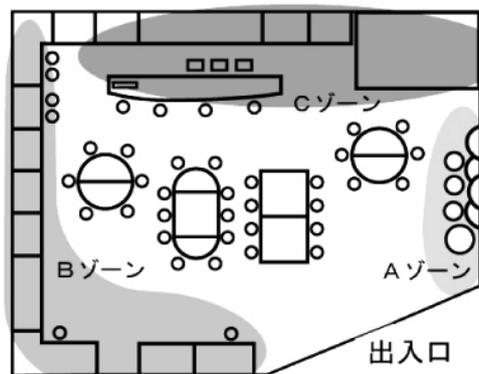
基本的に小学校中学年（3年生以上）を対象とする。しかし、テーマに沿った展示手法の工夫により、幼児から就学年齢の子ども、または大人にとっても楽しめる空間創りを目指す。

(4) 体験キットの分類

ふれあい体験室は、自由に体験キットを利用することを基本としている。しかし、体験キットによっては安全性や耐久性の面で使用時の注意や制限がかかるものもある。ふれあい体験室では、体験キットを分類し、配置されているゾーンによって、使用制限のランクを分けている。

| 体験キットグループ | キットの種類 | 来館者への使用制限 |
|-----------|---|---|
| グループ A | 【見る・触る】 ・直感的に（一見して）内容が分かる。 ・安全性、耐久性が高い。 | ・来館者は自由に出し入れできる。 ＊来館者によっては手助けが必要。 |
| グループ B | 【聞く・比べる・聞ける・押す】 ・簡単な操作で内容が分かる。 ・安全性がある程度確保されていて、耐久性が高い。 | ・来館者は自由に出し入れできるが、 ＊来館者によっては手助けが必要な場合もある。 |
| グループ C | 【組み立てる・作る・分類する】 ・作業を通して仕組みや内容が分かる。 ・細かい部品や安全面での指導、管理を要する。 ・破損、摩耗しやすい等、耐久性が低い。 | ・スタッフを介してキットを受け渡し、 介助を得ながら、もしくは目の届く範囲で利用する。 ＊来館者によっては手助けが必要ない場合もある。 |

見取り図（ゾーニング図）



2 体験キットの種類

| No. | タイトル | 分野 | 小テーマ | 中テーマ | 大テーマ | 備考 |
|-----|------------------|------|-----------------------------------|--------|---|--------------|
| 1 | サインを見のがすな！ | 自然史 | きみはだあれ？ | 生物界 | 自然のしくみ・先人の知恵 | 平成19年度 製作 |
| 2 | 小さな生き物の大きな仕事 | | | | | |
| 3 | 耳をすませば | | | | | |
| 4 | この骨だれの？ | | | | | |
| 5 | サンゴと生きる | | | | | |
| 6 | いろいろなタネ | | 自然のすがた | | | |
| 7 | いろいろな木と草 | | | | | |
| 8 | いろいろな石と砂 | | | | | |
| 9 | 見える星座・見えない星座 | | | | | |
| 10 | 化石 ～生きていたあかし～ | | | | | |
| 11 | 港川人研究所 | 考古 | 地下にねむる 歴史のなぞ | 地史 | | |
| 12 | 土層と遺物からわかること | | | | | |
| 13 | 石で築く | | | | | |
| 14 | ヌチグスイ | | | | | |
| 15 | イノー ～海の食料庫～ | 民俗 | 食の知恵 | 人々の暮らし | | |
| 16 | 御三味(ウサンミ) | | | | | |
| 17 | いろいろな道具 | | | | | |
| 18 | 島々のコトバ | | | | | |
| 19 | いろいろな玩具 | | | | | |
| 20 | いろいろな楽器 | 美術工芸 | 食の習わし 生活のくふう 沖縄のコトバ シマの心 | | | |
| 21 | 衣からわかること | | | | | |
| 22 | 焼物 ～かたちのわけ～ | | | | | |
| 23 | 漆 ～飾るたのしみ～ | | | | | |
| 24 | 印かんってなあに？ | 歴史 | 国のかたち | | | |
| 25 | 島のかたち | | | | | |
| 26 | 記録のくふう | | | | | |
| 27 | 国々とのおつきあい | | | | | |
| 28 | サンゴとカッチュウソウの深～い仲 | | | 自然史 | 沖縄県立博物館・美術館魅力アップ事業 「ふれあい体験室機能強化事業」実施に おける体験キットとして製作 | 平成27年度 製作 |
| 29 | コロコロ生態系 | | | | | |
| 30 | 岩石観察 | | | | | |
| 31 | 化石組み立て体験 | | | | | |
| 32 | 緋のしくみ | 美術工芸 | | | | |
| 33 | 三線のかたち①・② | | | | | |
| 34 | 仁王像 | 民俗 | | | | |
| 35 | ウチナーの昔話 | | | | | |
| 36 | チュンジー | 歴史 | | | | |
| 37 | 万国津梁の鐘 | | | | | |

※平成29年度に製作した開館10周年記念特別展「海の沖縄」関連体験キットは、ふれあい体験室の体験キット登録を解除し、貸出用教育普及資料として利用。



No. 8 「いろいろな石と砂」



No. 25 「島のかたち」

3 ふれあい体験室の運営状況

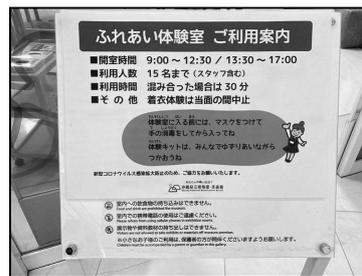
(1) ふれあい体験室の再開

ふれあい体験室は新型コロナウイルスの感染拡大を受けて2020年3月から休室し、6月には再開したものの1カ月半で再度休室となり、それから約2年4カ月運営停止が続いていた。しかし、今年度秋頃から新型コロナウイルス感染症も落ち着きを見せ、国によるコロナ対策も緩和されたため、2022年11月8日よりようやく再開となった。

再開にあたり、県と指定管理との協議の上「ふれあい体験室の運営に関する感染症予防ガイドライン」を制定。現在はガイドラインに則って運営を行っている。これまでの運営方法から、開室時間、利用人数、利用時間などを変更し、一部制限を設けて開室している。また、利用者には感染予防対策としてマスク着用・手指の消毒を促し、安全に利用してもらえるよう心掛けている。



開室したふれあい体験室の様子



利用案内掲示板

(2) スタッフの配置状況

ふれあい体験室は常駐の職員1名（沖縄美ら島財団）と博物館ボランティアスタッフで運営を行っている。現在、職員は常勤スタッフ1名とアルバイトスタッフ4名を配置している。博物館ボランティアにおいては、現在新型コロナウイルス感染症対策として体験サポートの活動は休止している。

4 ふれあい体験室の取組み

ふれあい体験室ワークショップにおいて、春期から冬期まで4プログラムを実施した。感染症対策として「ふれあい体験室ワークショップの運営に関するガイドライン」に則り、運営スタッフと参加者への検温、マスク着用、手指の消毒を徹底し、人と人との距離を保って実施した。各回終了時には、道具や机を消毒するなど細心の注意を払い感染症対策を行った。

(1) ふれあい体験室ワークショップ

今年度のふれあい体験室ワークショップは、体験キットおよび展覧会の充実・発展を目的に、各分野担当学芸員と協力して4つのプログラムを開催した。未就学児から大人まで広い世代に参加してもらえるよう、難易度が低く短時間で取り組める内容のものを選定して実施した。夏期には「スケスケ展」と連動して関連催事を開催し、企画展と本催事と相互に盛り上げた。また、今年度は新たに各プログラムに参加するごとにスタンプを集めることができる「スタンプラリーカード」を実施。コンプリート賞の景品も配布し、集める楽しさを提供することができた。

場 所：ふれあい体験室前エントランスホール

講 師：新垣 麻乃、保久村 智恵、大濱 萌子、藤井 雅弘（一般財団法人 沖縄美ら島財団）

対 象：5歳から大人まで（小学3年生以下は保護者同伴）

開催日数：43日

参加者数：644名（一日平均14.9名） ※3月11日（土）現在

主 催：一般財団法人 沖縄美ら島財団

① 4・5・6月「ふれたい博士のてづくりおもちゃ」

内 容：体験キット No.19「いろいろな玩具」に関連して、沖縄の昔ながらの草編み玩具を画用紙やソフトテープを使って制作する。

日 時：2022年4月～6月の毎週土曜日（全13回）

①10:00「星コロ」／②10:45「馬グラー」

③11:30「ハブグラー」

定 員：事前申込18名（各回6名）

参加費：300円

参加者数：171名（1日平均13.2名）

体験キットNo.19 いろいろな玩具
ふれたい博士のてづくりおもちゃ

開催日：4/2・9・16・23・30
5/7・14・21・28
6/4・11・18・25

期 間：①10:00～②10:45
③11:30（※休館日除く）

場 所：エントランスホール

定 員：18名（各回6名）
対 象：5歳～大人まで

参加費：各回300円



② 7・8・9月 スケスケ展連動企画（琉球銀行プレゼンツ）

「ふれたい博士のカラフル葉脈標本 ～スケスケ葉っぱに色をつけよう！」

内 容：企画展「スケスケ展」に関連して、葉脈標本を制作する。葉脈だけを取り出した葉を好きな色に染め上げ、ハーバリウムオイル入りの標本瓶に詰めて葉脈を観察する。

日 時：2022年7月16日～9月3日の毎週土曜日（全8回）

①10:00～11:00／②11:00～12:00

定 員：事前申込16名（各回8名）※事前申込制

参加費：無料 ※琉球銀行協賛事業のため無料開催

参加者数：139名（1日平均17.4名）

琉球銀行プレゼンツ
ふれたい博士のカラフル葉脈標本
～スケスケ葉っぱに色をつけよう！

開催日：7/16・23・30
8/6・13・20・27
9/3

期 間：①10:00～11:00
②11:00～12:00

場 所：エントランスホール

定 員：各回8名
対 象：事前申込7/16（1歳～）
5歳～大人まで

参加費：無料



③10・11・12月「ふれたい博士の星座万華鏡づくり」

内 容：体験キットNo.9「見える星座・見えない星座」に関連して、沖縄の夜空で見られる星座について学びながら、星座の万華鏡を制作する。

日 時：2022年10月～12月の毎週土曜日（全13回）

※10月22日（土）→11月20日（日）へ変更

①10:00／②10:45／③11:30

定 員：事前申込18名（各回6名）

参加費：300円

参加者数：224名（1日平均17.2名）



④1・2・3月「ふれたい博士の手織りコースターづくり」

内 容：体験キットNo.21「衣からわかること」に関連して、オリジナルのコースターを制作する。「手織り」の体験を通して、経糸と緯糸からできる織物の仕組みを学ぶ。

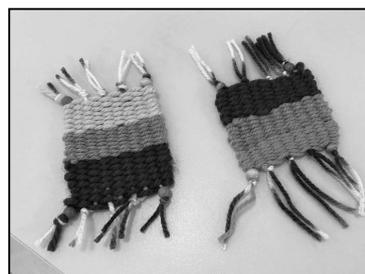
日 時：2023年1月～3月の毎週土曜日（全12回）

①10:00～11:00／②11:00～12:00

定 員：事前申込18名（各回9名）

参加費：400円

参加者数：110名（1日平均12.2名） ※3月11日（土）時点



⑤ふれたい博士の星座万華鏡づくり関連催事「おきみゆー de 冬の星空観察会」

内 容：「ふれたい博士の星座万華鏡づくり」に関連して、当館屋上スペースにて星空観察会を行う。天体望遠鏡の使い方や、惑星や星座の観察ポイントを伝える。
 ※雨天のため内容を変更し、博物館実習室にて星座や惑星について解説会を行った。

日 時：2022年12月16日（金）17:30～19:30
 ※雨天のため12月2日（金）から日程変更

場 所：博物館実習室

講 師：宇佐美 賢（地学担当）
 藤田 早苗（（一財）沖縄美ら島財団）

定 員：事前申込 25名

参加費：500円

参加者数：15名



（2）ふれあい体験室オンラインワークショップ

ふれあい体験室ワークショップのコンテンツを、オンライン体験サイト「aini（アイニー）」を利用して提供する。配信には Zoom を使用。

①「沖縄の伝統的な草編みおもちゃ『星っころ』を作ろう！」

日 時：2022年6月26日（日）14:00～15:00

講 師：新垣 麻乃（（一財）沖縄美ら島財団）

定 員：事前申込 5名（一般対象）

参加費：1,500円（材料費・郵送料込み）

参加者数：1名



②「カラフルなスケルトンリーの標本瓶づくり」

日 時：2022年9月24日（土）14:00～15:30

講 師：新垣 麻乃（（一財）沖縄美ら島財団）

定 員：事前申込 5名（一般対象）

参加費：1,500円（材料費・郵送料込み）

参加者数：2名



X ボランティア養成事業

1 目的

沖縄県立博物館・美術館は県民の自己啓発や学習の場の提供、また、博物館支援活動を目的として「ボランティア」を導入している。この活動は、多様化する来館者のニーズに対して、よりきめ細かく適切なサービスへの寄与を目的としている。

2 ボランティアの活動内容

(1) ボランティアの種類

博物館ボランティア

(2) 活動の種類・活動内容

| 博物館ボランティア | |
|---|--|
| □博物館ボランティア | |
| ①展示解説ガイド | ・学校向け常設展示解説補助（主に学習プログラム対応） |
| ②体験学習サポート | <ul style="list-style-type: none"> ・学校団体、教職員向け講座対応 ：誘導、民具体験学習の支援 ・ふれあい体験室支援：ふれあい体験室における活動支援※ ・体験学習教室支援：体験学習・各種講座 ・移動展等における補助 ・各種行事の際の補助 |
| ③資料整理活動 | ・新聞スクラップ等 |
| ④その他 | <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア間の連絡 ・各種刊行物の発送業務 ・沖縄美ら島財団（指定管理者）主催催事支援 ・ふれあい体験室 IPM 清掃 ※原則：毎月第4月曜日 13:20～ |
| ■総合展示部門ガイドボランティア | |
| <ul style="list-style-type: none"> ①案内型ガイド ②待機型ガイド (ジンプン BOX) | <ul style="list-style-type: none"> ※博物館ボランティアのうち、ガイドライセンス保持者 ・総合展示部門解説ガイド（学校団体/一般来館者） ・総合展示部門における展示解説 |

※ふれあい体験室専属ボランティアは、令和2年度より博物館ボランティアへ統合。

3 ボランティア養成事業の実施状況

(1) 第9期博物館ボランティア養成講座について

第9期博物館ボランティア養成講座については、5名が新規登録された。

図1-① 養成講座実施要項 ※令和4年度版

2022年度沖縄県立博物館・美術館 博物館班教育普及

募集要項 博物館ボランティア(第9期)

沖縄県立博物館・美術館では、地域の方々へ自己啓発の場を提供するとともに、博物館活動の活性化、来館者へのサービス向上、多様化するニーズへの対応を目指し博物館ボランティア(第9期)を募集します。

1 活動内容・募集人数
博物館ボランティア(主に平日活動) 15名
 ① 学校団体対応 主として
 ・学習プログラム(民具体験学習)において、民具体験サポート、展示物解説、誘導係などを行う。
 ② 体験学習サポート
 ・ふれあい体験室来館者へのサポート・夏休み学芸員教室のサポートなどを行う。
 ③ 資料整理活動
 ・新聞スクラップ整理・各種刊行物送付作業サポートなどを行う。

2 応募資格・条件など
 ・令和4年4月1日現在、満18歳以上の方(高校生を除く)で、博物館活動に興味・関心のある方。
 ・各種研修すべてを受講できる方。
 ・登録後、月に6時間程度、当館においてボランティア活動ができる方。

3 受講料 無料

4 登録と活動
 博物館ボランティア(主に開館日に活動)
 ・養成講座終了後 → 博物館ボランティアへ登録
 ・登録開始令和4年7月～令和5年3月31日(一年度毎の更新。継続更新可)

5 応募期間及び方法
 令和4年2月16日(水)～3月16日(水)
 申込用紙に必要事項を記入の上、FAX、郵送のいずれかで**3月16日(水)必着**

※印刷用紙ではありません。ご注意ください
 ※定員を超える場合は抽選と致します。
 問合せ先 TEL(098)941-8200 FAX(098)941-2392
 受付:9:00～18:00(月曜日を除く)
 沖縄県立博物館・美術館指定管理者(沖縄県ふるさと財団 担当:比嘉、植田)

6 ボランティア登録までの流れ
 ・募集期間 令和4年2月～3月
 ・開講式 令和4年5月6日(金) ※ほか養成講座別紙参照
 ・養成講座 令和4年5月～7月

7 養成講座の日時・場所
 ・博物館ボランティア養成講座:主に水曜日、金曜日に実施 14:00～16:00※開講式5月6日(金)

8 その他【お問い合わせ】
 申込書提出後も、新型コロナウイルスに関する状況次第では養成講座を延期、または中止とする場合がございます。申込書提出された方は実施の有無が次第、館から直接連絡いたします。また当館HPにも掲載いたしますのでよろしくお願いいたします。

図1-② 養成講座実施要項 ※令和4年度版

2022年度沖縄県立博物館・美術館 博物館班教育普及

9. 博物館ボランティア養成講座(日種表)

| 回数 | 日時・場所 | 内容 | 時間 | 担当(予定) |
|----|----------------------------|---------------------------|-----------------------------------|---|
| 1 | 5月6日(金) 開講式会場 博物館講座室 | 開講式 | 14:00～14:20 | 教育普及担当:大城 |
| | | 博物館活動について | 14:20～14:50 | 博物館班長:外間 |
| | | IPMについて | 15:00～15:30 | IPM担当:宇佐美 |
| 2 | 5月18日(水) 講座会場 博物館講座室 | 教育普及講座(講座室) | 14:00～14:30(休憩10分) | 教育普及担当:大城 |
| | | 人類:講座(講座室) | 15:00～15:30 | 人類担当:山崎・澤浦 |
| | | 展示解説(常設展示室) | 15:30～15:50 | 地学担当:宇佐美 |
| 3 | 5月27日(金) 講座会場 博物館講座室 | 地学:講座(講座室) | 14:00～14:30 | 地学担当:宇佐美 |
| | | 展示解説(常設展示室) | 14:30～14:50 | 歴史担当:崎原・宮城 |
| | | 歴史:講座(講座室) | 15:00～15:30 | 歴史担当:崎原・宮城 |
| 4 | 6月8日(水) 講座会場 博物館講座室 | 考古:講座(講座室) | 14:00～14:30 | 考古担当:山本 |
| | | 展示解説(常設展示室) | 14:30～14:50 | |
| | | 民俗:講座(講座室) | 15:00～15:30 | 民俗担当:大湾 |
| 5 | 6月17日(金) 講座会場 博物館講座室 | 生物:講座(講座室) | 14:00～14:30 | 生物担当:菊川 |
| | | 展示解説(常設展示室) | 14:30～14:50 | |
| | | 美術工芸:講座(講座室) | 15:00～15:30 | 美術工芸担当:藤原・伊禮 |
| 6 | 6月22日(水) 集合:ふれあい体験室前 | ボランティア実習 | 14:00～14:50(休憩10分) | 教育普及担当:大城 現在活動されている博物館ボランティアと共に |
| | | 民具体験実習 | 15:00～15:50 | ボランティアと共に |
| | | (任意参加)6月27日(月)集合:ふれあい体験室前 | 13:30～14:10(休憩10分) 14:20～15:00 | ボランティア実習(任意参加) 資料保存管理のための手伝い ふれあい体験室IPM清掃体験 |
| 7 | 7月8日(金) 博物館講座室 | 養成講座修了証交付式 | 14:00～14:50 | 教育普及担当:大城 館長:田名真之 |

*6月27日(月)のボランティア実習は任意での参加です。
 *新型コロナウイルスに関する状況次第では養成講座を延期、または中止とする場合がございます。申込書提出された方は実施の有無が次第、館から直接連絡いたします。また当館HPにも掲載いたしますのでよろしくお願いいたします。
 ※検温の結果、発熱が確認された場合、入館をご遠慮いただく場合がございます。
 ※新型コロナウイルス感染症予防の観点から、マスク着用やこまめな手指消毒をはじめ、検温や日々の健康チェックを行い、体調が悪い場合はお休み頂くようご協力下さい。
 ※なお、各講座における内容や担当者等は変更する場合があります。ご了承ください。

図2 博物館ボランティア養成講座日程 ※令和4年度版

第9期 博物館ボランティア養成講座 内容及び会場

※新型コロナウイルスに関する状況次第では養成講座を延期、または中止とする場合がございます。

講座① 5月6日(金).....博物館講座室
 (1) 14:00～14:20【開講式】大城
 (2) 14:20～14:50【博物館活動について】博物館班長
 (3) 15:00～15:30【IPMについて】宇佐美

講座② 5月18日(水).....博物館講座室
 (1) 14:00～14:50【教育普及ガイダンス】大城
 (2) 15:00～15:50【人類ガイダンス】山崎

講座③ 5月27日(金).....博物館講座室
 (1) 14:00～14:50【地学ガイダンス】宇佐美
 (2) 14:50～15:50【歴史ガイダンス】外間

講座④ 6月8日(水).....博物館講座室
 (1) 14:00～14:50【考古ガイダンス】山本
 (2) 15:00～15:50【民俗ガイダンス】大湾

講座⑤ 6月17日(金).....博物館講座室
 (1) 14:00～14:50【生物ガイダンス】山本
 (2) 15:00～15:50【美術工芸ガイダンス】藤原

講座⑥ 6月22日(水).....博物館実習室
 (1) 14:00～14:50【民具体験学習】教育普及・博物館ボランティア
 (2) 15:00～15:50【民具体験学習】博物館実習室と隣室にて
 □受講生は(民俗部門展示実習室周辺)おおよそ50分程度体験する。

講座⑦ 7月8日(金).....博物館講座室
 15:00～15:50 ボランティア証交付式等(館長)

図3 養成講座チェック表 ※令和4年度版

③その他博物館での催事お知らせ
 博物館の催事等をお知らせさせていただきます。特にチェックは行いません。

第9期博物館ボランティア養成講座

○ 5月12日(水) 常設展示解説会 14:00～15:00
 講師:山崎 真也(人類担当) 展示室前集合(開始5分前) 無料

○ 5月14日(土) 学習講座 14:00～16:00
 講師:外間 一兵(歴史担当) 講座室にて無料

○ 5月21日(土) 文化講座 14:00～16:00
 講師:外間 真也(人類担当) 講座室にて無料

○ 5月28日(土) バックワードツアー 14:00～15:00
 講師:山崎 真也(人類担当) 受付は13:00より組合室にて

○ 6月9日(土) 常設展示解説会 14:00～15:00
 講師:大湾ゆかり(民俗担当) 展示室前集合(開始5分前) 無料

○ 6月11日(土) 学習講座 14:00～16:00
 講師:山崎 真也(人類担当) 講座室にて無料

○ 6月18日(土) 文化講座 14:00～16:00
 講師:外間 真也(人類担当) 講座室にて無料

○ 6月25日(土) バックワードツアー 14:00～15:00
 講師:大湾ゆかり(民俗担当) 受付は13:00より組合室にて

○ 7月23日(土) 夏休みこどもフェスタ9階展示スペース

氏名

| 氏名 | 参加 | 参加時間 | 印 | 参加日 | 参加時間 | 印 |
|----|-------|------|------|-----|-------|---|
| ○ | 10:00 | ○ | 6/23 | ○ | 12:00 | ○ |
| ○ | 12:00 | ○ | 6/30 | ○ | 6/13 | ○ |
| ○ | 12:00 | ○ | 6/27 | ○ | 6/27 | ○ |

④養成講座 参加チェック

| 期日 | 担当 | 印 |
|-----------------------|----|---|
| ① 5月6日(金) 13:45集合 | | |
| ② 5月18日(水) 13:45集合 | | |
| ③ 5月27日(金) 13:45集合 | | |
| ④ 6月8日(水) 13:45集合 | | |
| ⑤ 6月17日(金) 13:45集合 | | |
| ⑥ 6月22日(水) 13:45集合 | | |
| ⑦ 6月22日(水) 13:45集合 | | |
| ⑧ 6月22日(水) 13:45集合 | | |
| ⑨ 6月22日(水) 13:45集合 | | |
| ⑩ 6月22日(水) 13:45集合 | | |

⑤ふれあい体験室サポート実習
 ①期間:曜日は、6/3～7/10までご自身で選択して活動。
 ②活動は1時間半～2時間程度まで行って下さい。
 ③教育普及担当指導のもとで行います。
 ④指定主曜日(1回以上)の参加。
 ⑤または各希望する曜日(3回～5回)に1回以上以上の参加を行ってください。

※令和4年度のみふれあい体験室サポート実習は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止します。

<別紙資料> ボランティア養成事業

沖縄県立博物館・美術館 博物館ボランティア活動実施要項

平成 20 年 2 月 13 日

館長決裁

(趣旨)

第 1 条 沖縄県立博物館・美術館は、博物館が行う教育普及活動または研究資料の収集・整理・充実を図るため、その活動の補助員としてボランティア（以下「博物館ボランティア」という。）を置くことができる。

(博物館ボランティアの活動)

第 2 条 博物館ボランティアは、次の各号に掲げる活動を行う。

- (1) 展示解説、文化講座、体験学習教室、ふれあい体験室、相談室における対応等の教育普及活動全般にわたる補助的活動。
- (2) 調査研究等を推進するために必要な資料の収集に関し、専門知識を生かした補助的な活動。

(登録等)

第 3 条 博物館ボランティアの登録は、博物館ボランティア講座の修了者、沖縄博物館友の会の会員、博物館ボランティア活動を希望する者で、登録票(第 1 号様式)により申請のあった者の中から、沖縄県立博物館・美術館館長(以下「館長」という。)が審査のうえ適当と認められる者について、登録簿(第 2 様式)へ登載を行う。

- 2 館長は登録を受けた博物館ボランティアに対し、博物館ボランティア登録証(第 3 号様式)を交付する。
- 3 登録期間は、登録した日の属する年度の末日までとする。但し、当該博物館ボランティアが希望する場合は審査のうえ登録を更新することができる。
- 4 館長は博物館ボランティア登録者に博物館の名誉を傷つける等の行為があった場合は、登録を取消することができる。

(研修)

第 4 条 館長は博物館ボランティアの活動が効果的にすすめられるよう、随時研修会を開催する。

(ボランティア室の設置)

第 5 条 館長は博物館ボランティア活動の連絡及び相互交流の場として、ボランティア室を設置する。

(庶務等)

第 6 条 博物館ボランティアの登録は、博物館教育普及担当において処理する。

- 2 博物館ボランティア活動の連絡調整は、博物館教育普及担当と沖縄博物館友の会において処理する。

(雑則)

第 7 条 この要項に定めるもののほか博物館ボランティア活動の実施に必要な事項は、館長が別に定める。

付則

この要項は、平成 5 年 7 月 1 日から実施する。

この要項は、平成 12 年 8 月 1 日から実施する。

この要項は、平成 20 年 2 月 13 日から実施する。

4月号①

ボランティア通信

沖縄県立博物館

4月1日発行 第173号 (R4年 4月)

お知らせ① 春のボランティア全体会の開催について

・日程：4月20日(水) 14:00～15:00 場所：講堂
 ・対象：博物館ボランティア
 ・持ち物：①令和3年度ボランティア証 ②駐車許可書

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、中止や一部変更をする場合があります。

お知らせ② 4月教育普及関連行事

| 日程 | 時間 | 内容 | 場所 |
|----------|-------------|---|---|
| 4/9 (土) | 14:00～16:00 | 学芸員講座 (教育普及) ※事前申込3/15(火)～ 「博物館バックヤードたんけん」(小3・小4) 定員 10名 担当学芸員：大城久美 | 集合場所：ふれあい体験室前 集合場所：ふれあい体験室前 (30分前受付) |
| 4/14 (木) | 14:00～15:00 | 常設展示解説会 (教育普及) ※当日受付 定員 15名 担当学芸員：大城久美 | 場所：講堂(3F) |
| 4/16 (土) | 14:00～16:00 | 文化講座 (歴史) ※事前申込3/16(水)～ 「復帰50年失われた資料発掘のあゆみ」 定員 140名 講師：納富香織(県教育庁文化財課) | 集合場所：ふれあい体験室前 集合場所：ふれあい体験室前 (5分前集合) |
| 4/23 (土) | 14:00～15:00 | バックヤードツアー (職工) ※事前申込4/16(土)～ 定員 10名 担当学芸員：藤原あかね | 場所：那覇市小樽周辺 |
| 4/30 (土) | 9:00～13:30 | 復帰50年 特別展関連行事 ※事前申込4/12(土)～ 「親子で知ろう！バスター」(小3～中3+保護者) 定員 20名 | 場所：那覇市小樽周辺 |

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、中止や一部変更をする場合があります。
 ※催事についての問合せ・申込：TEL 098-941-8200 (県立博物館・美術館 代表)

4月号②

ボランティア募集

沖縄県立博物館

お知らせ③ ボランティア募集

| 日程 | 時間 | 募集内容 | 対象 |
|---------|--------|--|-----------|
| 4/25(月) | 13:20～ | ふれあい体験室 IPW 清掃 5名程度募集 展示室のほこり落としなどの作業 | 博物館ボランティア |
| 4/25(月) | 13:20～ | 実習室 清掃・実習室 IPW 清掃 5名程度募集 拭き掃除などの作業 | 博物館ボランティア |

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況により一部変更する場合があります。

ご報告① お別れのごあいさつ

上原 毅 (博物館 副館長)

はいさいい ぐすーよーちゅーがなびら。
博物館副館長ぬ上原やいびーん。

この度の人事異動で博物館を離任することとなりました。2年間の短い在任期間ではありましたが、多くの学びや、経験をさせていただき心より感謝申し上げます。コロナ禍で各種ボランティア活動も休止や制限が続いておりますが、感染防止対策をとりながら徐々に活動を再開してきておりますので、これからも当館への愛わらぬご支援をお願いいたします。今後もファンの一人としておきみゆーのさらなる発展を祈念しております。

いつぺー にふえーでーびたん！

退職のご挨拶

阿利 よし乃 (学芸員：民俗)

急なお知らせになりますが、この度一身上の都合により3月末をもって退職することになりました。3年間という短い間でしたが、ボランティアの皆さまにはとてもお世話になりました。ありがとうございました。

とくに、夏休み学芸員教室や学芸員講座、民話上映会などさまざまな場面でサポートをいただき、感謝の気持ちでいっぱいです。館内でお目にかかった際には、皆さまより温かい言葉かけをいただきましたこと、毎日の励みとなりました。心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

一般財団法人
沖縄美ら島財団
Okinawa Churashima Foundation
2022年4月1日 第173号

沖縄県立博物館

ポランティア通信

ふれあい体験室ワークショップのポランティアサポート再開します！

コロナ禍のため中止となっていたふれあい体験室ワークショップサポートが、4月から再開することとなりました。参加可能な方は、当日ポランティア室に掲示している名簿にお名前をご記入ください。皆様、ご協力の程よろしくお願いたします。

再開日：2022年4月2日（土）～毎週土曜日
人数：各日3名程度
内容：ワークショップ時のサポート、材料の準備など
問合せ：Tel 098-941-8200（担当：財団・比嘉）

4・5・6月ワークショップ「ふれたい博士のてづくりおもちゃ」

体験キットNo.19「いろいろな玩具」に関連して、馬グーやハブグーなどの言ながらの草履みもちやクラフトテープで作ります。沖縄のおちちや作り挑戦してみよう！



【日程】2022年4月～6月の毎週土曜日
【時間】①10:00～②10:45～③11:30～(約45分)
【場所】エントランスホール
【定員】各回6名
【参加費】400円
【受付】事前申込（電話・来館）

その他イベントのお知らせ

おきみゆーのGW2022「知るを楽しむ」

今年のゴールデンウィークイベントは「知るを楽しむ」をテーマに展示室で楽しめるワークショップや、兜づくりやカメの編みカゴづくり、華やかなり芸能のステージなど、イベントが盛りだくさん！いろいろなイベントに参加して、家族みんなでエンジョイしよう！

【日程】4月29日（金）～5月8日（日）
※休館日を除く
【時間】開館時間に準ずる
【場所】おきみゆー館内

詳細はおきみゆーwebサイトにてお知らせします。

お問い合わせ先：沖縄県立博物館・美術館 指定管理者（一財）沖縄美ら島財団 TEL：098-941-8200（代表）

5月1日発行 第174号（R4年5月）

沖縄県立博物館

ポランティア通信

●令和4年度 博物館班メンバー紹介

| | | |
|-----|-------|--|
| 副館長 | 中里 智子 | 沖縄県立博物館・美術館 博物館班（直通） TEL 098-951-5401 FAX 098-941-3650 |
| 班長 | 外間 一先 | |

| | | | | | |
|------|--------|------|--------|------------|--------|
| 歴史 | 崎原 恭子 | 人類 | 山崎 真治 | 考古 | 山本 正昭 |
| 歴史 | 宮城 修 | 人類 | 瀧浦 亮平 | 民俗 | 大瀧 ゆかり |
| 美術工芸 | 篠原 あかね | 地学 | 宇佐美 賢 | 学芸業務 補佐 | 園原 謙 |
| 美術工芸 | 伊禮 拓郎 | 生物 | 菊川 章 | 学芸業務 補佐 | 與那嶺 一子 |
| 学芸補助 | 勝連 涼子 | 事務補助 | 松本 美多葉 | | |

●令和4年度 ポランティア登録者

| | |
|----------------------|-----|
| 博物館ポランティア | 50名 |
| 資料整理ポランティア (学芸専属) | 31名 |

●博物館班 着任のあいさつ

【学芸業務補佐】園原 謙（そのはら けん）

県ポランティアの皆様、お久しぶりです。
2カ年間、沖縄県庁（空手振興課）で沖縄空手会館学芸員を担当して、久しぶりに古巣に戻ってきました。建設当時から関わってきた県博には特別な愛着があります。また、コロナ禍でも県ポランティアさんの献身的な意欲と活動に励まされます。

本年は復帰50年間の展覧会が目白押しで、開館15年目も相変わらず超多忙な1年になりそうですが、この2年間は世界的に感染者が増加した新型コロナウイルス感染症に振り回された異常な年月でもありますが、今日、東欧におけるロシアの暴挙は第二次世界大戦後77年を経て、世界の平和を創造する様々な活動に深刻な影響を与えています。今こそ、ヌテドゥ室の平和を創造する沖縄のこころと行動原理が求められています。皆様の益々のご活躍とご健勝を祈っています。



5月の教育普及関連催事

| 日程 | 時間 | 内容 | 場所 |
|---------|-----------------|---|---------------------------|
| 5/8(日) | 14:00～ 16:00 | 沖縄博物館開運 ※事前申込4/26(火)～ 「オリン♪お笑いライブ in おきみゆー」 定員140名 出演者：こきざみインディアン他5組 | 場所：講堂(3F) |
| 5/12(木) | 14:00～ 15:00 | 常設展示解説会(人観) ※当日受付 定員15名 担当学芸員：山崎 真治 | 集合場所：ふれあい体験室前 (30分前受付) |
| 5/14(土) | 14:00～ 16:00 | 学芸員講座(歴史) ※事前申込4/14(木)～ 「復讐 50年沖繩の想い」 定員60名 担当学芸員：外間 一先 | 場所：博物館講座室(1F) |
| 5/21(土) | 14:00～ 16:00 | 文化講座(人観) ※事前申込4/21(木)～ 「北海道有珠モシリ網文人の生と死」 定員140名 講師：青野 友哉(東北芸術工科大学) | 場所：講堂(3F) |
| 5/28(土) | 14:00～ 15:00 | バックヤードツアー(人観) ※事前申込5/21(土)～ 定員10名 担当学芸員：山崎 真治 | 集合場所：ふれあい体験室前 (5分前集合) |

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、中止や一部変更をする場合があります。
※催事についての問合せ・申込：TEL 098-941-8200 (県立博物館・美術館 代表)



お知らせ① ボランティア連絡会の開催について

・5月17日(火)15:00～16:00 博物館講座室
・対象：各曜日班のお世話係、分野別勉強会の代表
上記の日程で開催いたします。
※新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、中止や一部変更をする場合があります。

お知らせ② ボランティア募集

| 日程 | 時間 | 募集内容 | 対象 |
|---------|-----------------|---|-----------|
| 5/23(月) | 13:20～ 15:00 | ふれあい体験室IPM清掃 5名程度募集 展示室のほこり落としなどの作業 | 博物館ボランティア |
| 5/23(月) | 13:20～ 15:00 | 実習準備室・実習室IPM清掃 5名程度募集 拭き掃除などの作業 | 博物館ボランティア |





6月1日発行 第175号 (R4年6月)



ボランティア通信

お知らせ① ボランティア連絡会の開催について

・6月21日(火)15:00～16:00 博物館講座室
・対象：各曜日班のお世話係、分野別勉強会の代表
※新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、中止や一部変更する場合があります。



お知らせ② 6月の教育普及関連催事

| 日程 | 時間 | 内容 | 場所 |
|---------|-----------------|--|---------------------------|
| 6/9(木) | 14:00～ 15:00 | 常設展示解説会(民俗) ※当日受付 定員15名 講師：大湾 ゆかり(民俗担当学芸員) | 集合場所：ふれあい体験室前 (30分前受付) |
| 6/11(土) | 13:00～ 16:00 | 学芸員講座(人観) ※事前申込5/24(火)～5/29(日) 「ファイナルドツアー 港川人をたずねて」 講師：山崎 真治(人類担当学芸員) 定員：20名 金城 達(八重瀬町教育委員会) | 場所：八重瀬町 |
| 6/18(土) | 14:00～ 16:00 | 文化講座(民俗) ※事前申込5/18(水)～6/18(土) 「ナイチャーの島長民俗50年」 定員：140名 講師：古家 厩平(日本民俗学会) | 場所：講堂(3F) |
| 6/25(土) | 14:00～ 15:00 | バックヤードツアー(民俗) ※事前申込6/18(土)～ 定員：10名 講師：大湾 ゆかり(民俗担当学芸員) | 集合場所：ふれあい体験室前 (5分前集合) |

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、中止や一部変更をする場合があります。
※催事についての問合せ・申込：TEL 098-941-8200 (県立博物館・美術館 代表)



よろしくお願ひします♪



お知らせ③ ボランティア募集

| 日程 | 時間 | 募集内容 | 募集人数 |
|---------|-----------------|---|-------|
| 6/22(木) | 14:00~ 15:50 | 養成講座ボランティア実習 常設展示室解説 (5名)、民具体験解説 (10名) | 15名 |
| 6/27(月) | 13:20~ 15:00 | 養成講座ボランティア実習 IPM清掃体験 (ふれあい体験室・実習室) 展示室のほこり落としなどの作業 | 5名程度 |
| 6/29(水) | 9:00 ~ 12:00 | 燻蒸消毒 養生作業 ふれあい体験室・実習室・実習準備室など | 10名程度 |
| 7/6(水) | 9:00 ~ 12:00 | 燻蒸消毒 回復作業 ふれあい体験室・実習室・実習準備室など | 10名程度 |



ご報告① ボランティア (第9期) 養成講座開始

5月6日(金)より『博物館ボランティア (第9期) 養成講座』がスタートしました。ボランティア第9期の申込者は6名です。

当日は開講式が行われ、外間班長と宇佐美学芸員による講座がありました。養成講座は、5月から7月までの計8回を予定しています。今後も養成講座の様子をお伝えしていきます。

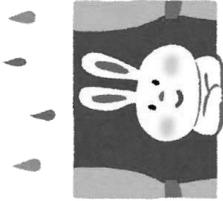



写真1 博物館について説明をしている様子 (外間班長)

一般財団法人
沖縄美ら島財団
Okinawa Churashima Foundation
2022年6月1日 第175号



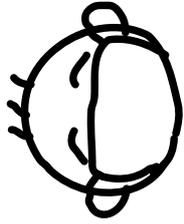


沖縄県立博物館

ボランティア通信

**教育普及担当の
あたらしいスタッフを紹介いたします！**

ふじい まきひろ
✧ **藤井 雅弘** ✧



5月1日より、美ら島財団・教育普及班の職員として働くことになりました藤井です。東京で35年弱、テレビ番組の制作の仕事をし、沖縄に移住して3年と9か月。新聞社の仕事を経て、思い出深い場所での仕事に就くことができました。実は、県立博物館には15年以上前からテレビの仕事で、お世話になっていました。旧館の展示に歴史を感じ、そして、大規模な移転作業、さらに新館のまぶしい外観と真新しい展示に心を動かされた撮影現場でした。そんな自分が、今ここで働いていることがとても不思議に感じられます。沖縄が好きで移住し、人と触れ合い、文化に親しみ、多彩な食文化に舌鼓を打って、ますます沖縄が好きになっていきます。その沖縄の文化発信の中心施設での仕事は、自分の新たなステージに彩りを添えてくれるだろうと期待しています。

年季の入った新人ではございますが、どうぞよろしくお願ひいたします。

お問い合わせ先：沖縄県立博物館・美術館 指定管理者 (一財) 沖縄美ら島財団 TEL：098-941-8200 (代表)

博物館

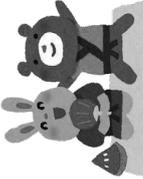
ボランティア

通信

7月1日発行 第176号 (R4年 7月)

お知らせ① 全体燻蒸・消毒について

・燻蒸消毒にともなうメンテナンス休館
6月29日(水)～7月7日(木)まで



お知らせ② ボランティア連絡会の開催について

・7月20日(水) 15:00～16:00 博物館講座室
・対象：各曜日班のお世話係、分野別勉強会の代表
※新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、中止や一部変更する場合があります。

沖縄県立博物館・美術館
博物館班(直通)
TEL 098-851-5401
FAX 098-941-3650

| 日程 | 時間 | 内容 | 場所 |
|---------|-----------------|--|------------------------------|
| 7/9(土) | 14:00～ 16:00 | 学芸員講座(木工) ※事前申込 6/9(水)～(ただし6/29～7/7はWEB受付) 「琉球王国の三線—知られざるべっ甲巻き三線について—」 講師：篠原 あかね(美術工芸担当) 定員 60名 | 博物館講座室(1F) |
| 7/14(木) | 14:00～ 15:00 | 常設展観覧券納付会(歴史) ※当日受付 講師：宮城 修 (歴史担当) | 常設展示室 ※ふれあい体験室前にて30分前から受付 |
| 7/16(土) | 14:00～ 15:00 | バックヤードツアー(歴史) ※事前申込 7/9(土)～ 講師：崎原 恭子(歴史担当) | バックヤード ※ふれあい体験室前に5分前集合 |
| 7/23(土) | 9:00～ 16:00 | 夏休み！子どもフェスタ ※事前申込 7/8(金)～7/14(木)抽選 「親子バスツアー」(小4～中3+保護者) 講師：博物館学芸員 定員 20名 | 嘉手納町・恩納村 |
| 7/24(日) | 14:00～ 15:00 | デジタルミュージアム推進事業 ※事前申込 6/24(金)～(ただし6/29～7/7はWEB受付) 「令和4年度 第1回ウチナー民話上映会」 講師：大滝 ゆかり(民俗担当) 定員 60名 | 博物館講座室(1F) |

裏面につづきます

| 日程 | 時間 | 内容 | 場所 |
|---------|-----------------|--|--------|
| 7/30(土) | 14:00～ 16:00 | 常設展歴史部門展示室特別展推進事業 ※事前申込 6/21(火)～7/8(金) (ただし6/29～7/7はWEB受付) 「基地を笑え!! お笑い米軍基地 in おさみゆー」 出演者：FEC お笑い芸人 定員 140名【受付終了】 | 講堂(3F) |
| 7/31(日) | 13:00～ 17:00 | 文化講座(考古) ※事前申込 6/23(木)～(ただし6/29～7/7はWEB受付) 「遺跡から尚巴志の生きた時代を考える」 講師：宮城 弘樹(沖縄国際大学)ほか 定員 140名 | 講堂(3F) |

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、中止や一部変更をする場合があります。
※催事についての問合せ・申込：TEL 098-941-8200 (県立博物館・美術館 代表)

お知らせ③ ボランティア募集



募集内容
募集人数
5名程度

お知らせ④ 第9期ボランティア養成講座の様子





写真1 教育普及(大城学芸員)



写真2 人類(薄淵学芸員)



写真3 地学(宇佐美学芸員)



写真4 歴史(崎原学芸員・宮城学芸員)



写真5 考古 (山本学芸員)



写真6 民俗 (大津学芸員)



写真7 生物 (菊川学芸員)



写真8 美術工芸 (徳原学芸員)

5月18日～6月17日には養成講座②～⑤が行われ、各担当学芸員からの講義と展示解説がありました。

手佐美学芸員からは、「来館者に展示を解説するには、まずは自分が面白さや楽しさについて知ることが大切です」と受講者へアドバイスしていました。また山本学芸員は、来館者にぜひ見てほしいポイントについてわかりやすく解説していました。

受講者の皆さんは、最初は緊張している様子でしたが、学芸員さんからの解説を聞いてからは、徐々に緊張もほぐれ、興味関心のあふれる事について質問する様子も見受けられました。(照屋)



一般財団法人
沖縄美ら島財団
Okinawa Churashima Foundation
2022年7月1日 第176号

みやがしあ通信

むぎかしいけどのしい！
博物館常設展示室のワークショップ
夏には、さらに3種類増える予定です！

現在、博物館常設展示室では、3種類のワークショップを実施中！

発見

池川人が思ったより小さいこと
いろいろなふしぎ、たのしいふしぎ
今まで知らなかったことや
知らなかったトクガが現れてよかったです。

感想

授業では習わなかった深いところまで
展示されていて新しい発見があった！
一通りに見て回っていたら気づかない
ような細かい所まで見つけられた。
とつてもおもしろくて見てつけられたら
楽しかったから楽しかったです！
シンプルですがとても面白かったです★

イベントのお知らせ

「ふれたい博士のカラフル葉脈標本～スケスケ葉っぱに色をつけよう！」

「スケスケ展」に関連して、色とりどりの葉脈標本を作ります。植物のカタタのしくみに
ついて学びながら、カラフルな標本瓶を作ってみよう！

| | |
|--------------------|------------------|
| 【日付】7/16～9/3の毎週土曜日 | 【定員】各回8名 |
| 【時間】①10:00～11:00 | 【参加費】無料 |
| ②11:00～12:00 | 【受付】事前申込 (電話・来館) |
| 【場所】エントランスホール | |

13才からのアート講座#1「見えないものを描くアートの世界」

絵画には、天国や地獄、空想上の生物など、現実には存在しないものが数多く描かれています。人はなぜ、目に見えないものを「絵」で表したのでしょうか？今回の講座では、日本絵画と西洋絵画の中から、「見えないものを描いた絵画」を取り上げてわかりやすく解説します。

| | |
|-----------------------------|----------------------|
| 【日付】7/18 (月・祝) 14:00～15:30 | 【定員】100名 |
| 【場所】博物館講座室 | 【参加費】500円 |
| 【講師】金城美奈子、國吉貴奈 (沖縄美ら島財団) | 【受付】事前申込 (電話・来館・WEB) |

お問い合わせ先：沖縄県立博物館・美術館 指定管理者 (一財) 沖縄美ら島財団 TEL: 098-941-8200 (代表)

博物館

ボランティア

通信

8月1日発行 第177号 (R4年 8月)

お知らせ① ボランティア連絡会の開催について

・8月16日(火) 15:00～16:00 博物館講座室
 ・対象：各曜日班のお世話係、分野別勉強会の代表
 ※新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、中止や一部変更する場合があります。
 ※中止する場合は、曜日班代表者へ連絡しますので、周知をお願いします。

お知らせ② 8月教育普及関連催事

| 日程 | 時間 | 内容 | 場所 |
|---------|-------------|---|------------------------------|
| 8/10(水) | 14:00～15:00 | 常設展示解説会(生物) ※当日受付 定員15名 講師：菊川 章(生物担当) | 常設展示室 ※ふれあい体験室前にて30分前から受付 |
| 8/13(土) | 14:00～16:00 | 学芸員講座(歴史) ※事前申込7/13(水)～ 『沖繩、復帰後。歴-いちまでいん かなさ オキナワ-』 見どころ紹介 定員60名 講師：宮城 修(歴史担当) | 博物館講座室(1F) |
| 8/21(日) | 14:00～16:00 | 文化講座(歴史) ※事前申込7/21(土)～ 『沖繩・ウクライナ・琉球王国 —35年におよぶ沖繩とのふれあいの中で』 定員140名 講師：金平 茂紀(ジャーナリスト) | 講堂(3F) |
| 8/27(土) | 14:00～15:00 | バックヤードツアー(地学) ※事前申込8/20(土)～ 講師：宇佐美 賢(地学担当) 定員10名 | バックヤード ※ふれあい体験室前に5分前集合 |

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、中止や一部変更する場合があります
 ※催事についての問合せ・申込：TEL 098-941-8200 (県立博物館・美術館 代表)

沖縄県立博物館・美術館
 博物館班(直通)
 TEL 098-851-5401
 FAX 098-941-3650

お知らせ④ ボランティア募集

| 日程 | 時間 | 募集内容 | 募集人数 |
|---------|--------|-----------------------------------|------|
| 8/22(月) | 13:20～ | ふれあい体験室 IPW 清掃 展示室のほこり落としなどの作業 | 5名程度 |
| | | 学習室 IPW 清掃 拭き掃除などの作業 | 5名程度 |

お知らせ⑤ 民具体験実施予定校スケジュール

今年度の民具体験は、ボランティア活動の一部休止にともない、現在、職員による実演で準備を進めております。今年度は、以下6校の県内小学校が来館予定です。

| No. | 日時 | 学校 | 生徒数 |
|-----|-------------|------------|------------|
| 1 | 11/16(水) 午前 | 豊見城市立座安小学校 | 84名(3クラス) |
| 2 | 12/2(金) 午前 | 那覇市立天久小学校 | 127名(4クラス) |
| 3 | 12/13(火) 午前 | 那覇市立若狭小学校 | 53名(2クラス) |
| 4 | 1/20(金) 午前 | 那覇市立松島小学校 | 99名(3クラス) |
| 5 | 1/25(水) 午前 | 浦添市立港川小学校 | 159名(4クラス) |
| 6 | 2/1(水) 午前 | 那覇市立小嶺南小学校 | 112名(3クラス) |

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、中止や一部変更する場合があります

お知らせ⑥ ボランティア第9期生 修了証交付式



7月8日、ボランティア養成講座第9期生の修了証交付式を実施しました。今年度は、新たに5名の皆さんがボランティアの登録となりました。
 9期生の皆さんからは、「わからないことに興味を持つことができました」、「さらに勉強してボランティアに活かしていきたい」、「地域の入選に沖繩のことをもっと伝えていきたい」などの感想がありました。
 今後ともボランティア活動への協力をよろしく願っています。

ご報告① 親子バスツアー（夏休み！こどもフェスタ）




写真1 仲泊道跡が発見された当時について説明する山本学芸員



写真2 仲泊道跡第4貝塚の説明後、参加者からの質問に答える山崎学芸員



写真3 沖縄固有種のアオミカカタニシを観察しながら特徴を解説する菊川学芸員



写真4 嘉手納飛行場の空中写真を使って沖縄戦や降伏調印式について説明する宮城学芸員



写真5 現地までの道中は、外間班長や宮城学芸員による復讐クイズで盛り上がりまりました

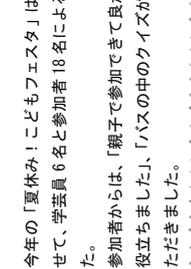


写真6 バスツアー司会進行や学芸員の補助、参加者の安全確認などを担当した大塚学芸員



今年の「夏休み！こどもフェスタ」は、復讐50年特別展開催に合わせて、学芸員6名と参加者18名による親子バスツアーを実施しました。

参加者からは、「親子で参加できて良かった」、「夏休みの宿題に大変役立ちました」、「バスの中のクイズが楽しかった」、などの感想をいただきました。



復讐50年のバ車を親子で学ばせよう！

8月号④

一般財団法人
沖縄美ら島財団
Okinawa Churashima Foundation
2022年8月1日 第177号



ポラントニア通信

ふれあい体験室からのお知らせ

ふれあい体験室ワークショップのポラントニアサポートの募集について、今月からポラントニア室にて募集票を掲示しています。どなたでもご参加いただけますので、サポートを希望される方は募集票にお名前をご記入ください。サポートお待ちしております。

「ふれあい博士のカラフル葉脈標本 ～スケスケ葉っぱに色をつけよう！」

「スケスケ展」に関連して、色とりどりの葉脈標本を作ります。植物のカラダのしくみについて学びながら、カラフルな標本瓶を作ってみよう！

| | |
|-------|--------------------------------|
| 【日付】 | 7/16～9/3の毎週土曜日 |
| 【定員】 | 各回8名 |
| 【時間】 | ①10:00～11:00 ②11:00～12:00 |
| 【参加費】 | 無料 |
| 【受付】 | 事前申込（電話・来館） |
| 【場所】 | ポラントニアサポート：各回3名程度 ポラントニアホール |

※新型コロナウイルスの感染拡大によっては中止になる可能性があります。

8月講座（指定管理者主催）のお知らせ

「沖縄美ら海水族館はなぜ役に立たない研究をするのか？」
出版記念講演会



今回出版された『沖縄美ら海水族館はなぜ役に立たない研究をするのか？』では、私たち水族館の職員である3人のオガ博士が、一体向のために、どんなものを、どのような方法で研究し、その結果をどう活かしているのか、一般には知られていない美ら海水族館の姿をありのままに書き綴った本です。今回の講演では、書籍で紹介できなかった秘蔵映像や、今だから語れる秘密の話など、とっておきの裏話をご紹介します。

| | | | |
|------|----------------------------|-------|---------------|
| 【日付】 | 8/6(土) | 【定員】 | 140名 |
| 【時間】 | 14:00～16:00 | 【参加費】 | 500円 ※高校生以下無料 |
| 【場所】 | 講堂 | 【受付】 | 事前申込（電話・来館） |
| 【講師】 | 佐藤 圭一・富田武照・松本昭雄（一財）沖縄美ら島財団 | | |

本講座では、一般的によく知られている島野菜を教目とりあげ、その多様性を紹介します。また、島野菜の経済栽培に関する研究および中継村で行われている島野菜の取り組みも併せて紹介し、島野菜の知られざる一面を紹介します。

| | | | |
|------|-----------------|-------|-------------|
| 【日付】 | 8/14(日) | 【定員】 | 140名 |
| 【時間】 | 14:00～16:00 | 【参加費】 | 500円 |
| 【場所】 | 講堂 | 【受付】 | 事前申込（電話・来館） |
| 【講師】 | 砂川春樹（一財）沖縄美ら島財団 | | |



知ってのつもり!? 代表的な島野菜の多様性



お問合わせ先：沖縄県立博物館・美術館 指定管理者（一財）沖縄美ら島財団 TEL: 098-941-8200 (代表)

- 59 -

お知らせ① ボランティア連絡会の開催について

・9月21日(水) 15:00～16:00 博物館講座室
 ・対象：各曜日のお世話係、分野別勉強会の代表
 ※新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、中止や一部変更する場合があります。
 ※中止する場合は、曜日班代表者へ連絡しますので、周知をお願いします。

沖縄県立博物館・美術館
 博物館班 (直通)
 TEL 098 - 851 - 5401
 FAX 098 - 941 - 3650

お知らせ② 9月教育普及関連行事

| 日程 | 時間 | 内容 | 場所 |
|----------|-----------------|--|----------------------------------|
| 9/8 (木) | 14:00～ 15:00 | 常設展示解説会 (地学) ※当日申込 講師：宇佐美 賢 (地学担当) | 常設展示室 ※ふれあい体験室前 にて30分前から受付 |
| 9/10 (土) | 14:00～ 16:00 | 学芸員講座 (考古) ※事前申込8/10(水)～ 「遺跡からかいま見る尚巴志の時代 一尚巴志即位600年を記念してー」 講師：山本 正昭 (考古担当) | 講堂 (3F) ※会場を変更しました |
| 9/17 (土) | 14:00～ 16:00 | 文化講座 (歴史) ※事前申込8/17(水)～ 「ぼくの沖縄く復帰後>50年史」 講師：新城 和博 (有)ポーターインク) | 講堂 (3F) |
| 9/24 (土) | 14:00～ 15:00 | バックヤードツアー (考古) ※事前申込9/17(土)～ 講師：山本 正昭 (考古担当) | バックヤード ※ふれあい体験室前 にて5分前集合 |

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、中止や一部変更をする場合があります。
 ※催事についての問合せ・申込：TEL 098-941-8200 (県立博物館・美術館 代表)

お知らせ③ 開催延期の教育普及催事

| 日程 | 時間 | 内容 | 場所 |
|-------------------------------|-----------------|---|----------------------------------|
| 8/10 (水) ↓延期 R5.3/9 (木) | 14:00～ 15:00 | 常設展示解説会 (生物) ※当日申込 講師：菊川 章 (生物担当) | 常設展示室 ※ふれあい体験室前 にて30分前から受付 |

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、中止や一部変更をする場合があります。

お知らせ④ ボランティア募集

募集用紙をボランティア室に掲示しています。ご希望の募集内容がありましたら、お名前のご記入をお願いします。

| 日程 | 時間 | 募集内容 | 募集人数 |
|----------|-----------------|--|------|
| 9/26 (月) | 13:20～ | ふれあい体験室 IPII 清掃 展示室のほこり落としなどの作業 | 5名程度 |
| 11/2 (水) | 15:00～ 16:00 | 少人数体験ガイド ※募集×切9/16(金) 石垣市立宮良小学校6年生19名 | 6名 |
| 12/7 (水) | 10:00～ 12:00 | 少人数体験ガイド ※募集×切9/16(金) 南城市立百名小学校5年生23名 | 6名 |
| 12/9 (金) | 9:00～ 11:00 | 少人数体験ガイド ※募集×切9/16(金) 渡嘉敷村立阿波連小学校3・4年生5名 | 4名 |

※ガイドについては、当日開始前に打合せを行いますので、ご確認をお願いいたします。
 ※募集の詳細についてはボランティア室に掲示している募集用紙をご確認ください。

お知らせ⑤ メール登録のお知らせ

メール登録をされていないボランティアの皆さまへお知らせいたします。博物館では、ボランティアへの連絡用として使用しているメールアドレスがあります。登録をご希望の方は、下記のメールアドレスにメールをお送りください。

博物館ボランティア
hakubora5401@gmail.com

メールを送信していただいた後は、送受信が可能かどうかの確認し、こちらから再度メールを送ります。メールの送信方法などご不明な点がございましたら遠慮なく教育普及補助・照屋までご連絡ください。

ご報告① 松島中学校教員研修ボランティア







7月27日(水)には松島中学校教員研修がありました。ガイドボランティアのご協力大変ありがとうございました。松島中学校の先生からは、「もっとボランティアさんの解説が聞きたかった」という声もあり、大変充実した研修を行うことができました。

ご報告② 夏休み教員講座ボランティア









8月2日(火)には夏休み教員向け講座があり、多くのボランティアさんからのご協力をいただきました。昨年は博物館職員で民具の実演解説を行ったこともあり、初めてボランティアさんが民具の解説をしている姿を見ることができ、とても嬉しかったです。お忙しい中ご協力いただき大変ありがとうございました。(照屋)

一般財団法人
沖縄美ら島財団
Okinawa Churashima Foundation
2022年9月1日 第178号



お問い合わせ先：沖縄県立博物館・美術館 指定管理者（一財）沖縄美ら島財団 TEL：098-941-8200（代表）

沖縄県立博物館

ボランティア通信

復帰50年 特別展 沖縄、復帰後。展
一いちまていんかなさオキナワナー展
グッズを紹介します！



ミュージアムショップゆいむいでは、現在、かつての証明書（バスポート）に似せた、測量野帳を販売中です！
ざっと、本物の証明書（バスポート）をお持ちのボランティアアさんもらっしやると思いますが、ぜひ、ショップでお手にとってご覧くださいませ。

ご購入後、測量野帳をショップスタッフに渡すと
これまた嬉しいスタンプを押してくれます！！





復帰前の沖縄で使用されていた証明書（バスポート）
学芸員の中でも使用者の多いあの「測量野帳」
日本海軍印刷所 身分証明書
▼日本海軍印刷所

ぜひショップゆいむいに
お越しくださいませ～

というわけで、
合体させていただきました。

ボランティア

博物館

10月1日発行 第179号 (R4年10月)

通信

お知らせ① 秋のボランティア全体会の開催について

- ・10月18日(火) 14:00～15:00 講堂
- ・対象：博物館ボランティア

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、中止や一部変更する場合があります。

※中止する場合は、曜日班代表者へ連絡しますので、周知をお願いします。

沖縄県立博物館・美術館
博物館班(直通)
TEL 098-851-5401
FAX 098-941-3650

お知らせ② 10月教養普及関連催事

| 日時 | 内容 | 場所 |
|-------------------------|---|----------------------------------|
| 10/8(土) 9:00～12:00 | 学芸員講座(生物) ※事前申込 9/8(木)～9/21(水) 「フィールドツアー 身近なカタツムリをさがしに行こう！」 講師：菊川 章(生物担当) | 大里城北公園 (南城市大里) |
| 10/13(木) 14:00～15:00 | 常設展示解説会(歴史) ※当日申込 講師：外間 一先(博物館班班長) | 常設展示室 ※ふれあい体験室前 にて30分前から受付 |
| 10/15(土) 10:00～11:00 | 「琉球一美とその背景一展」展示解説会 講師：伊禮 拓郎(美術工芸担当) | 博物館企画・ 特別展示室(3F) |
| 10/15(土) 14:00～16:00 | 文化講座(美術工芸) ※事前申込 9/15(木)～10/15(土) 「琉球美術史への招待 — グラスの城壁から工芸品のデザインまで —」 講師：上江洲 安亨((一財)沖縄美ら島財団) | 講堂(3F) |

寒につづきます

| 日時 | 内容 | 場所 |
|--|---|--------------------------------|
| 10/16(日) 10:00～11:00 14:00～15:00 | 琉球歴史文化の日ワークショップ 親子でまなぶ 「琉球一美とその背景一展」展示解説会 ※事前申込 9/9(金)～10/9(日) 各回16名程度 対象：小3～中3と保護者 講師：伊禮 拓郎(美術工芸担当) | 博物館企画・ 特別展示室(3F) |
| 10/22(土) 9:30～12:00 | 体験学習教室 ※事前申込 9/22(木)～10/13(木) 「勾玉づくり体験」 定員：20名(親子10組) 講師：山本 正昭(考古担当) | 博物館実習室(1F) |
| 10/22(土) 14:00～17:00 | 「琉球一美とその背景一展」シンポジウム 「守り継がれてきた琉球の文化 ～琉球コレクションの成り立ちと意義について～」 パネリスト：田名 真之(沖縄県立博物館・美術館館長)他3名 | 講堂(3F) |
| 10/22(土) 14:00～15:00 | バックヤードツアー(生物) ※事前申込 10/15～ 講師：菊川 章(生物担当) | バックヤード ※ふれあい体験室前 にて5分前集合 |
| 10/29(土) 10:00～11:00 | 「琉球一美とその背景一展」展示解説会 講師：山本 正昭(考古担当)、崎原 恭子(歴史担当) | 博物館企画・ 特別展示室(3F) |

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、中止や一部変更をする場合があります。

※催事についての問合せ・申込：TEL 098-941-8200 (県立博物館・美術館 代表)

お知らせ③ ボランティア募集

募集用紙をボランティア室に掲示しています。ご希望の募集内容がありましたら、お名前のご記入をお願いします。

| 日程 | 募集内容 | 募集人数 |
|------------------------|---|------|
| 10/7(金) 9:00～10:00 | 少人数校ガイド ※募集〆切 9/29(木) 与那国町立与那国小学校 6年生 13名 | 6名 |
| 10/22(土) 9:30～12:00 | 体験学習教室 ※募集〆切 10/15(水) 勾玉づくり体験の補助 | 4名 |
| 10/24(月) 13:20～ | ふれあい体験室IPW清掃 展示室のほこり落としなどの作業 | 5名程度 |

※募集の詳細についてはボランティア室に掲示している募集用紙をご確認ください。

※ガイドについては、当日開始前に打合せを行いますので、内容のご確認をお願いいたします。

復帰 50 年の節目に何故、琉球なのか

伊禮 拓郎 (美術工芸担当)

近現代史的な出来事である「復帰」の節目の年ではありますが、何故このタイミングで「琉球」を主題とした展示を行うのか。それは、今の沖縄はこの半世紀で出来上がったものではなく、脈々と受け継がれる文化の上に成り立ち、決してこの 50 年の歩みだけで成り立っているわけではないからです。

年中行事や産業という面で見ても、琉球王国時代のエッセンスを残す文化が今なお色濃く残っています。これらは私たちのアイデンティティと言い換えることもできるでしょう。しかし、今日に続く文化は当たり前のように伝わってきているわけではありません。明治以降の近代化や沖縄戦を経てなお伝わる「琉球」の息吹は、先人たちの思い、そしてその思いを継いだ次の世代があったからこそ感じることが出来るのです。

復帰から 50 年ほどという年々のか。私は復帰を知らない世代ですが、これから先の 50 年、100 年、もっと先の沖縄を考える年々ではないかと思っています。まだまだ様々な問題はありますが、沖縄もかつてない成長を遂げたのだと思います。しかし、沖縄の歩みはここで終わるわけではありません。

これから先を歩むとき、何を後世に伝えるのか。その一つが私たちのアイデンティティたる琉球の文化なのだと思います。博物館としては先人たちが築いてきたバトンをしっかりと後世に伝えていかなければならないと思っています。

今回の展示では、東京国立博物館・九州国立博物館から約 49 件の資料の他、徳川美術館からは琉球の美術工芸品として唯一国指定の文化財になっている「朱漆花鳥密陀繪沈金御体飯」や、松坂屋コレクション J. フロントリテイリング資料館が所蔵するノロの衣裳、宮内庁書陵部が所蔵する「熊野勅書写及び外筒」など、県内初公開や久しぶりの公開になる資料も含め 200 件近い資料を展示します。

県外にある資料は、県外にあつたからこそ沖縄戦の戦禍を免れた資料と言えるでしょう。それらも、各所蔵者の沖縄の文化に対する理解が無ければ処分されていたかもしれません。今回県外から多くの資料を借用できるのは、沖縄を思う県外の方々への理解があつたからとも言えます。

今回の展示では多くの資料が里帰りしますが、今の沖縄を振り返る機会になると同時に、県外で沖縄を思う方々との強いつながりを再認識し、県内に住まう人だけでなく沖縄を好きだと思つて下さる多くの皆さんと未来を考える契機になればと思っています。



復帰 50 年展「琉球 - 美とその背景 -」
 会期：2022 年 10 月 14 日(金) ~ 2022 年 12 月 04 日(日)
 場所：特別展示室 1, 特別展示室 2, 企画展示室
 観覧料：一般：1,400 円(1,200 円)、高大生：700 円(560 円)、
 小中生：500 円(400 円) ※ ()内は前売料金
 ※ボランティアは観覧無料(但し要ボランティア証提示)

一般財団法人
沖縄美ら島財団
 Okinawa Churashima Foundation
 2022 年 10 月 1 日 第 179 号

沖縄県立博物館

ボランティア通信

Okimu 秋のイベント

10・11・12 月「ふれたい博士の星座万華鏡づくり」

沖縄の夜空ではどんな星座が見えるでしょうか? オリジナルの万華鏡を作りながら、星の不思議について一緒に考えてみましょう!

【日 程】10 月 ~ 12 月の毎週土曜日
 【時 間】①10:00 ~ ②10:45 ~ ③11:30 ~ (約 45 分)
 【場 所】エントランスホール
 【定 員】各回 6 名 【参加費】400 円
 【ボランティア募集】1 日 3 名程度



解体発掘 vol.7 「万国津梁」の時代にアプローチした研究者たち

万国津梁の鐘に記された琉球王国のアジアとの交流を、明確に伝える記録が王国の記録「歴代玉案」。その膨大な記録に向き合いつつ、アジアの中の琉球の時代像に迫った研究者たちについて高良倉吉先生が解説します。

【日 程】10 月 10 日(月)
 【時 間】10:30 ~ 12:00
 【場 所】3F 講堂 (140 席) 【参加費】無料
 【申 込】事前申込制 申し込み受付中



開催中! & これから開催

「日本絵画と西洋絵画、見くらべ展 - 世界の名画に親しもう vol.2」

世界の名画が集合! 「世界の名画に親しもう」の第 2 段を開催!

【日 程】9 月 15 日(木) ~ 10 月 9 日(日)
 【場 所】美術館 企画ギャラリー 1
 【料 金】無料



「おさみゆー誕生祭 2022」

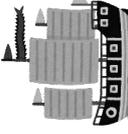
今年もおさみゆー誕生祭を開催! さあ、みんなであそびましょう!

11 月 3 日は無料開放日! 博物館常設展・美術館コレクション展が無料!

【日 程】11 月 3 日(木) * プレイベントあり
 【場 所】おさみゆー館内



お問い合わせ先: 沖縄県立博物館・美術館 指定管理者 (一財) 沖縄美ら島財団 TEL: 098-941-8200 (代表)



ボランティア

通信

11月1日発行 第180号 (R4年 11月)

お知らせ① ボランティア連絡会の開催について

・11月15日(火) 15:00～16:00 博物館講座室
 ・対象：各曜日班のお世話係、分野別勉強会の代表

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、中止や一部変更する場合があります。
 ※中止する場合は、曜日班代表者へ連絡しますので、周知をお願いします。

お知らせ② 11月教書及関連催事

| 日時 | 内容 | 場所 |
|-------------------------|--|----------------------------------|
| 11/10(木) 14:00～15:00 | 常設展示解説会 (美術工芸) ※当日申込 講師：篠原 あかね(美術工芸担当) 定員15名 | 常設展示室 ※ふれあい体験室前 にて30分前から受付 |
| 11/12(土) 14:00～16:00 | 学芸員講座 (美術工芸) ※事前申込 10/12(水)～ 「琉球 一美とその背景一」 講師：伊禮 拓郎(美術工芸担当) 定員140名 | 講堂(3F) |
| 11/13(日) 14:00～15:00 | 「琉球 一美とその背景一展」展示解説会 講師：篠原 あかね(美術工芸担当) 定員15名(当日先着) | 博物館企画・ 特別展示室(3F) |
| 11/19(土) 14:00～16:00 | 文化講座 (歴史) ※事前申込 10/19(水)～ 『おもろさうし』の世界』 講師：波照間 永吉(名桜大学大学院博士課程特任教授) 定員140名 | 講堂(3F) |
| 11/26(土) 14:00～17:00 | 「琉球 一美とその背景一展」琉球古刺繍ワークショップ ※事前申込 10/14(金)～10/30(日) 定員15名(抽選制) 講師：琉球古刺繍保存会 | 博物館実習室(1F) |
| 11/26(土) 14:00～15:00 | バックヤードツアー (歴史) ※事前申込 11/19(土)～ 定員10名 講師：外間 一先(博物館班班長) | バックヤード ※ふれあい体験室前 にて5分前集合 |
| 11/27(日) 14:00～15:00 | 「琉球 一美とその背景一展」展示解説会 定員15名(当日先着) 講師：大濱 ゆかり(庶務担当) | 博物館企画・ 特別展示室(3F) |

沖縄県立博物館・美術館
博物館班(直通)
TEL 098-951-5401
FAX 098-941-3650

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、中止や一部変更をする場合があります。
 ※催事についての問合せ・申込：TEL 098-941-8200 (県立博物館・美術館 代表)

お知らせ③ ボランティア募集

募集用紙をボランティア室に掲示しています。
 ご希望の募集内容がありますら、お名前のご記入をお願いします。

| 日程 | 募集内容 | 募集人数 | 備考 |
|-------------------------|---|------|---------------|
| 11/17(木) 12:00～14:00 | 少人数校ガイド ※切11/10(木) 南城市立久高小学校 6年生 4名 | 2名 | ・当日打合せ 11:30～ |
| 11/18(金) 13:00～14:00 | 少人数校ガイド ※切11/10(木) 座間味村立阿嘉小学校 | 2名 | ・当日打合せ 12:30～ |
| 11/25(金) 9:00～10:30 | 少人数校ガイド ※切10/28(金) 沖縄市立中の町小学校 5年生 58名 | 8名 | ・当日打合せ 8:45～ |
| 11/28(月) 13:20～ | ふれあい体験室IPM清掃 展示室のほこり落としなどの作業 | 5名程度 | |

※募集の詳細についてはボランティア室に掲示している募集用紙をご確認ください。
 ※ガイドについては、**当日打合せ**を行いますので、内容のご確認をお願いします。

お知らせ④ 与那国小学校見学サポートの様子




10月7日(金) 与那国小学校
修学旅行の団体見学がありました。






ボランティアさん
ご協力ありがとうございました！

「沖繩、復帰後。展」と851人の未来へのメッセージに想う

宇佐美 賢 (地学担当学芸員)

ボランティアの皆様、いつもありがとうございます。博物館班自然史地学担当の宇佐美です。長かったコロナの行動規制も緩和されつつありますね。ボランティアの皆様はいかがお過ごしでしょうか。

私の方は、復帰後展の資料返却をほぼ終え、復帰後展の仕事が減るとは逆に、地学関係の仕事が増え、また違った忙しさを感じつつ、嬉しさと寂しさの両方を感じています。

平和・命への想い(396人)、復帰後展と沖繩への想い(172人)、自然・海・生物への想い(75人)
 戦争・基地のない世界への祈り(59人)、健康・笑顔・明るい未来への想い(35人)
 コロナ終息への想い(17人)、安室奈美恵ファンへの想い(14人)、首里城・沖繩の文化への想い(12人)
 子どもたちへの想い(9人)、SDGs・ゴミ問題等への想い(6人)、その他(56人)



上記は、先日閉会した復帰50年特別展「沖繩、復帰後。展」の展示の終わりに観覧者に記していただいた未来へのメッセージのキーワードを抽出したものです。メッセージを書いた魚型付箋紙は沖繩クジラが未来に向けて泳ぐプロジェクションマッピングの海に貼っていただきました。ここでは、キーワードでまとめましたが、実際のメッセージは観覧者それぞれの沖繩への思いがこもったものでした。

今回、復帰50年という大きな節目にその展覧会に開かれたことで、多くの学びがありました。当然のことではありますが、歴史は繰り返していること、今、この瞬間も歴史は列まれ、未来に向け時間は流れていることを強く意識するようになりました。そしてこれまでの沖繩県のあゆみの中で、人々の中に強いアイデンティティが培われ、現代に至ることもあらためて感じました。

これからの沖繩はどうなっていくのでしょうか。我々、人類はどこに進もうとしているのでしょうか。また地球やそれを巻き取る宇宙はどうなっていくのでしょうか。ニュースを眺めていると、自衛隊配備や軍事演習、ミサイル発射、ウクライナへの侵襲、豪雨や地震等の自然災害、温暖化等の環境問題等、暗い問題ばかりが聞こえてきます。今、未来に向けて、私達に出来ることは何かを考えながら、未来の世界が平和な社会、心落ち着く穏やかな地球となることを願うばかりです。

ボランティアの皆様、そろそろコロナ禍前のように館内外で勉強会もしたいですね。今回は取り留めのない話になってしまいました。引き続き、ご協力の程、どうぞよろしくお願ひいたします。

12月1日発行 第181号 (R4年12月)

ボランティアー

通信

お知らせ① ボランティア連絡会について

<12月ボランティア連絡会>
 ・12月21日(水)15:00～16:00 博物館講座室
 対象：各曜日の世話係、分野別勉強会の代表

沖繩県立博物館・美術館
 博物館班(直通)
 TEL 098-851-5401
 FAX 098-941-3650

お知らせ② 12月教育普及関連催事

| 日程 | 常設展示室 | 場所 |
|-------------------------|------------------------------|---------------------------|
| 12/8(木) 14:00～15:00 | 常設展示室 ※ふれあい体験室前にて30分前から受付 | 常設展示室 |
| 12/10(土) 14:00～16:00 | 定員15名 講師：崎原 恭子(歴史担当) | 博物館講座室(1F) |
| 12/17(土) 14:00～16:00 | 定員60名 講師：崎原 恭子(歴史担当) | 講堂(3F) |
| 12/24(土) 14:00～15:00 | 定員10名 講師：宮城 修(歴史担当) | バックヤード ※ふれあい体験室前に5分前集合 |

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、中止や一部変更する場合があります。中止する場合は、曜日班代表者へ連絡しますので、周知をお願いします。

※催事問合せ・申込：TEL 098-941-8200 (県立博物館・美術館 代表)

お知らせ③ 12月ボランティア連絡会

・1月の連絡会の日程を変更しています。以下の通りです。
 【変更前】2023年1月17日(火) → 【変更後】2023年1月24日(火)
 ※新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、中止や一部変更する場合があります。中止する場合は、曜日班代表者へ連絡しますので、周知をお願いします。

お知らせ③ 年末年始休館について



年

ボランティアの皆さま、今年も大変お世話になりました。当館は12月29日(木)～2023年1月3日(火)まで休館します。来年もよろしくお願いたしました。

お知らせ④ ボランティア募員について

募集用紙をボランティア室に掲示しています。ご希望の募集内容がありましたら、お名前のご記入をお願いします。

| 日程 | 募集内容 | 募集人数 | 備考 |
|--------------------|-----------------------------------|------|----|
| 12/28(月) 13:20～ | ふれあい体験室 IPM 清掃 展示室のほこり落としなどの作業 | 5名程度 | |

※新型コロナウイルス感染症拡大状況により一部変更する場合があります。

ご報告① ボランティアサポーターの様子

10/22 勾玉づくり



11/2 石垣市立宮良小学校



11/17 南大東村立南大東小学校



11/17 南城市立久高小学校



11/18 座間味村立阿嘉小学校



美術工芸・歴史部門展示室
特別展示「よみがえる王国の記録『歴代宝案』ーゆきかろヒト・モノー」
博物館班 崎原 恭子 (歴史分野担当)

2022年11月15日(火)から博物館常設展示室内の美術工芸と歴史の部門展示室で、1424年～1867年の444年間にわたって中国や朝鮮、東南アジア諸国とやりとりした琉球王国の外交文書集である『歴代宝案』をテーマにした特別展示が始まりました。本展は沖縄県教育委員会が主催(担当:文化財課史料編集班の歴代宝案チーム)で、当館は共催(担当:美術工芸及び歴史分野)という形式で開催しています。

県教育委員会は1989年から『歴代宝案』の編集・刊行事業を行い、33年を経て今年3月に校訂本・訳注本全30冊が刊行されるという、大きな節目を迎えました。県教育委員会ではこれを記念して、特別展示だけでなく、連続講座やシンポジウム等も企画しています。

今回の特別展示は、大きく2つの特徴があります。1つ目は、15～19世紀にわたる『歴代宝案』の内容とともに、東アジアとその周辺で交易の要衝として栄えた琉球を、『歴代宝案』の記録とモノ資料とをあわせて紹介していることです。2つ目は、原本が失われた『歴代宝案』の写真・写本資料を展示し、それらに基づいて33年の歳月をかけて復元した県教育委員会の事業を紹介していることです。諸本の突き合わせや監修者の厳しいチェック等、赤字がまぶしりと原稿に書き込まれている様子を見たり、難解な漢文で書かれた原文を復元し、さらに読み下し文にして注釈を付す作業はとても大変であることが実感できます。

博物館常設展示室で紹介している琉球王国時代の対外関係をさらに詳しく知る機会にもなると 생각합니다。見どころは、県教育委員会が公開している琉球王国交流史デジタルアーカイブでも紹介しています(上記QRコード)。展示期間中、ぜひご来館下さい!

<展覧会情報>
 展覧会名称: 特別展示「よみがえる王国の記録『歴代宝案』ーゆきかろヒト・モノー」
 開催期間: 2022年11月15日(火)～2023年2月12日(日)
 開催場所: 沖縄県立博物館・美術館 博物館常設展示室 美術工芸・歴史部門展示室
 主催: 沖縄県教育委員会 共催: 沖縄県立博物館・美術館
 関連催事:
 ・エントランス展示 2022年11月22日(火)～12月11日(日)
 ・シンポジウム 2022年12月3日(土) ※事前申込制(県教育庁文化財課史料編集班 TEL 098-888-3939)
 ・展示解説会 外間みゆ、山田浩世(県教育庁文化財課史料編集班)
 ①2022年12月25日(日) 14:00～15:00 ②2023年1月22日(日) 14:00～15:00
 ※当日受付(13:30より総合受付前にて受付開始)、各回定員15名



展示風景 (第1会場、美術工芸部門展示室)



展示風景 (第2会場、歴史部門展示室)

今回の特別展示の見どころをチェックすることができます! /



お知らせ③ 「ボランティア登録申請書」の提出

「令和5年度ボランティア登録申請書」は返信用封筒を同封し、2023年1月中心にお送りする予定です。次年度も継続して博物館の活動にご協力をいただける方は、申請書に必要事項をご記入の上、下記の方法にて提出をお願いいたします。

提出期限：2023年2月28日(火)まで
提出方法：申請書提出Box（ボランティア室）・郵送



来年度もよろしく
お願いいたします！

お知らせ④ ボランティア募集

| 日程 | 時間 | 募集内容 | 募集人数 | 備考 |
|---------|-------------|-----------------------------------|------|----|
| 1/23(月) | 13:20～15:00 | ふれあい体験室 IPM 清掃 展示室のほこり落としなどの作業 | 5名程度 | |

※新型コロナウイルス感染拡大状況により一部変更する場合があります

ご報告① 少人数離島校ガイドボランティア



11/25(金) 沖繩市立中の町小学校



12/7(水) 南城市立百名小学校



12/9(金) 波羅敷村立阿波瀬小学校

少人数離島校ガイドは、予定していた全ての日程が終了しました。ご協力いただき大変ありがとうございました。

学校からは見学のお礼も届いています。ボランティア室に2～3週間ほど掲示しますので、ご覧になってください。

ご報告② 職員による民具体験の実施



9/15(木) 豊見城市立ゆたか小学校



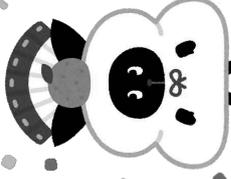
11/16(水) 豊見城市立産安小学校



12/2(金) 那覇市立たかむら小学校



12/13(火) 那覇市立若狭小学校



9月～12月に実施した民具体験では、照屋(県教育普及)、新垣(財団)、大濱(財団)が民具の実演を担当しました。児童の誘導には大城(県教育普及)と新たに藤井(財団)も加わりました。

12月2日天久小学校の見学では、誘導にボランティアさん4名が担当して下さいました。ご協力大変ありがとうございました。

- 68 -

「第13回 移動展 in 渡嘉敷島」
博物館班 山本 正昭 (考古担当)

おきみゆーでは毎年 1 回、遠隔地へ博物館・美術館資料を持って行って展示を行う移動展というのを開催しております。しかし、昨年と一昨年はコロナによる沖縄県の緊急事態宣言などによって開催が延期されることとなりました。よって今年は実に 3 年ぶりに移動展が開催されることとなります。

今回の開催は渡嘉敷島で開催期間は 1 月 13 日(金)～15 日(日)までとなります。開催にあたっては渡嘉敷島の多大な協力を得て、渡嘉敷村中央公民館を会場にして、当館が所蔵している歴史、考古、民俗、自然史資料を一堂に公開、展示する予定となっています。また展示期間中でありまして 1 月 13 日の夜に田名真之館長による講座、14 日には渡嘉敷島の遺跡の味と「身近な植物で筆を使って文字や絵を描いてみよう」「かんたん化石のレプリカづくり」の 3 つのワークショップを開催、15 日には「石ころと地形、遺跡から細かく島の成り立ちと人間生活」と題して渡嘉敷島内の地質や遺跡を実際に訪ね歩くフィールドツアーを開催します。13 日の館長による講座以外は事前申し込みでの受付となっておりますので、参加希望の方は早急または当館のホームページをご覧になっていただければと思います。

渡嘉敷島に限らず遠隔地で移動展が開催することで、その地域の人々との新たな交流が生まれたり、当館をより深く知っていただける、数少ない機会となっております。とくに気軽に来館することができない離島地域でおきみゆーがどのようなことをしているのかを知ってもらうことで、少しでも博物館という施設を身近に感じることができればと思います。

今回は久しぶりに開催される移動展ですので、多くの方々に来場していただければと切に願っております。

「第13回 移動展 in 渡嘉敷島」
開催日：2023年1月13日(金)、2023年1月14日(土)、2023年1月15日(日)
開催時間：9:00～17:00 (最終入場 16:30)
入場料：無料 (催事は一部有料)
申込：要申込 ▶ 申込受付期間：2022年12月20日(火)～2023年1月13日(金)
※館長講座以外のイベントは、事前申し込みが必要です。
申込・お問い合わせ先：TEL 098-941-8200 (担当：大澤・保久村)
休館日：月曜日、年末年始 12月29日(木)～2023年1月3日(火)、1月10日(火)



第13回移動展 in 渡嘉敷島のチラシ



写真 移動展の展示会場となる渡嘉敷村中央公民館

一般財団法人
沖縄美ら島財団
Okinawa Churashima Foundation
2023年1月1日 第182号

沖縄県立博物館
ボランティニア通信

あけまして
おめでとーございます

昨年もおたくさんお世話になりました。
いつもご協力いただきありがとうございます。
本年も引き続きよろしくお願ひ申し上げます。



..... イベント情報

ふれあい体験室ワークショップ
「ふれあい博士の手織りコースターづくり」

織り物はどうやってできるのかな？お家ででもできる手作りの織り機を使って「平織り(ひらおり)」に挑戦します。

日程：1月～3月の毎週土曜日 ※1/14 お休み
①10:00～11:00 ②11:00～12:00

場所：エントランスホール
定員：18名(各回9名)
参加費：400円
申込：12/24(土)～

ボランティアサポート
募集しています！



万国津梁の鐘プロジェクト
「解体救鐘 vol.8 万国津梁の鐘、名工に做う」

古来の鐘づくりと同じように砂の型に模様を彫り、金属を流し込んだ木格的な構造を体験します。当時の職人の苦勞やこだわりどころを体験できる特別なプログラムです。

日程：1/9(月・祝) 13:30～16:00 (開場 13:00)
場所：博物館実習室
講師：上原 俊則 (金細工まつ)
定員：20名
参加費：5,000円(材料費、博物館常設展示堂観覧料込)
申込：12/17(水)～1/9(月・祝) *定員に達し次第終了



お問い合わせ先：沖縄県立博物館・美術館 指定管理者 (一財) 沖縄美ら島財団 TEL: 098-941-8200 (代表)

博物館 ボランティアア通信

2月1日発行 第183号 (R5年 2月)

お知らせ① ボランティア連絡会の開催について

・2月21日(火)15:00~16:00 博物館講座室
 ・対象：各曜日班のお世話係、分野別勉強会の代表
 ※以下「お知らせ①②④」は新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、中止や一部変更をする場合があります。

お知らせ② 2月教育普及関連行事

| 日程 | 内容 | 場所 |
|-------------------------|--|---------------------------------|
| 2月9日(木) 14:00~15:00 | 常設展示解説会(考古) ※当日受付 定員 15名 講師：山本 正昭(考古担当) | 常設展示 ※ふれあい体験室前に て30分前から受付 |
| 2月11日(土) 14:00~16:00 | 学芸員講座(民俗) ※当日受付 「宮内庁三の丸尚蔵館収蔵品にみる皇室と沖縄」 定員 60名 講師：大瀧 ゆかり(民俗担当) | 博物館講座室(F) |
| 2月18日(土) 14:00~16:00 | 文化講座(地学) ※当日受付 「サンゴ礁とハブ 意外な歴史関係」 定員 140名 講師：井龍 康文(東北大学院) | 講堂(3F) |
| 2月25日(土) 14:00~15:00 | バックヤードツアー(美術工芸) ※事前申込2/18(土)~ 定員 10名 講師：伊禮 拓郎(美術工芸担当) | バックヤード ※ふれあい体験室前に 10分前集合 |

※催事についての問合せ・申込：TEL 098-941-8200 (県立博物館・美術館 代表)

お知らせ③ 「ボランティア登録申請書」の提出

「令和5年度ボランティア登録申請書」を自宅まで発送しました。次年度も継続して博物館の活動にご協力いただける方は、申請書に必要事項をご記入の上、下記の方法にて提出をお願いいたします。

提出期限：2023年2月28日(火)まで
 提出方法：申請書提出Box(ボランティア室)・郵送

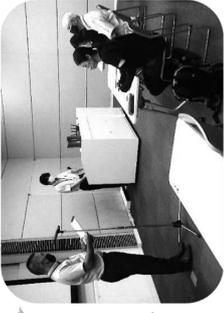
お知らせ④ ボランティア募集

| 日程 | 募集内容 | 募集人数 | 備考 |
|----------------------------|----------------------------------|------|----|
| 2/27(月) 13:20~ 15:00 | ふれあい体験鑑賞IPM清掃 展示室のほこり落としなどの作業 | 5名程度 | |

ご報告① 教育普及活動のふりかえり

【7月8日】養成講座修了証交付式

今年度は養成講座が開講されました。新しく5名のボランティアが修了証を受け取りました。



【7月23日】親子バスツアー(高城学芸員ほか)

復帰50周年関連行事として、親子で復帰について学ぶバスツアーを実施しました。4月は那覇小禄地域奥武山、7月は恩納村博物館周遊をめぐりました。



【9月2日】沖縄アミークスインターナショナル出前授業(宇佐美学芸員)

沖縄の地質や地形について学ぶ授業を実施しました。7年生(中学校1年生)の生徒達は、質疑応答も活発に行い、沖縄の石と地形の関係について理解を深めていました。



【12月15日】沖縄ろう学校来館学習

11月9日より、ふれあい体験室が開室しました。ふれあい体験室を利用する学校も多く、写真の沖縄ろう学校は、民具・紙芝居・御三味などのキットを体験し、楽しく学んでいました。



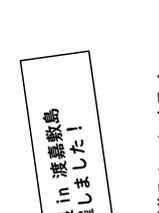


一般財団法人
沖縄美ら島財団
Okinawa Churashima Foundation
2023年2月1日 第183号

ボランティア通信



移動展 in 波嘉敷島
開催しました！



看古と地産のフィードバック
気になる方は、レジメもありますのでお声がけください！

今年、財団普及メンバー全員で、移動展の催事を中心に関わることができました。



おきゅー旧正月イベント
開催しました！



紅型スタンプと御三味つめ体験の様子
子どもたちもたくさん参加してくれて盛り上がりました！

旧正月イベントとして、紅型スタンプではがきやマスクをデザインするや民家で御三味つめ体験など、旧正月を楽しむイベントを実施しました。

イベント情報

美ら島サイエンスカフェ
世界自然遺産「西表島」の植物誌をつくる

昨年、世界自然遺産に登録された沖縄県西表島に何種の植物が生えているのか、実はきちんと調べられていません。この「何種の植物がどこに生え、どう生きているのか」をまとめたものを植物誌といいです。沖縄美ら島財団では、琉球大学など各地の研究機関と共同で、この植物誌をつくるための調査を行っています。その調査がどのようなものか、さらにそうしてできあがる植物誌にどのような意蕴があるかを紹介したいと思います。

日 程：2/18 (土) 18:00～19:30 (受付17:45)
場 所：カメカメキッチン
講 師：米倉浩司
(一財)沖縄美ら島財団 総合研究センター 植物研究室 上席研究員
定 員：15名
参加費：1,000円 (ワンドリンク付き)
申 込：2/1 (水)～定員に達し次第終了



ご参加
お待ちしております！

お問い合わせ先：沖縄県立博物館・美術館 指定管理者 (一財)沖縄美ら島財団 TEL：098-941-8200 (代表)

3月1日発行 第184号 (R5年3月)

ボランティア通信

お知らせ① ボランティア連絡会の開催について

・3月22日(水)15:00～16:00 博物館講座室
・対象：各曜日班のお世話係、分野別勉強会の代表
※以下「お知らせ①②③」は新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、中止や一部変更をする場合があります。

お知らせ② 3月教育普及関連講座

| 日 程 | 内 容 | 場 所 |
|------------------------|---|-------------------------------|
| 3/9(木) 14:00～15:00 | 常設展示解説会(生物) ※当日受付 定員15名 講師：菊川 章(生物担当) | 常設展示室 ※ふれあい体験室前にて30分前から受付 |
| 3/11(土) 14:00～16:00 | 文化講座(美術工芸) ※当日受付 「琉球の仏教彫刻—木彫刻を中心に—」 定員200名 講師：長谷 洋一(関西大学) | 講 堂 (3F) |
| 3/18(土) 14:00～16:00 | 学芸員講座(人類) ※当日受付 「狩猟採集から農耕へ—古人骨から人類史の画期を探る—」 定員80名 講師：澤浦 亮平(人類担当) | 博物館講座室(1F) |
| 3/25(土) 14:00～15:00 | パッチャーツア—(教育普及) ※事前申込3/18(土)～ 定員10名 講師：大城 久美(教育普及担当) | パッチャーボード ※ふれあい体験室前にて10分前集合 |

※催事についての問合せ・申込：TEL 098-941-8200 (県立博物館・美術館 代表)

お問い合わせ先：沖縄県立博物館・美術館 指定管理者 (一財)沖縄美ら島財団 TEL：098-941-8200 (代表)

お知らせ③ ボランティア募集

4月よりジンプンボックス再開に先立ち、「ガイド基礎」を受講したボランティアを対象にミーティングを行います。参加希望者は、下記日程のいずれかにご参加をお願いいたします。また、ボランティア室に募集用紙を掲載していますので、お名前の記入をお願いいたします。

※当日持参するもの 総合展示室『ガイドマニュアル』

| 日程 | 募集内容 | 集合場所 | 備考 |
|------------------------|--|---------|-------------|
| 3/10(金) 14:00~15:00 | ジンプンボックス ガイドミーティング① 再開に向けての確認事項、ガイド練習 | 博物館講座室 | ガイドボランティア対象 |
| 3/17(金) 14:00~15:00 | ジンプンボックス ガイドミーティング② 再開に向けての確認事項、ガイド練習 | 博物館実習室 | ガイドボランティア対象 |
| 3/27(月) 13:20~15:00 | ふれあい体験室 IPM 清掃 5名程度募集 展示室のほこり落としなどの作業 | ふれあい体験室 | |

ご報告① 職員による民具体験の実施



1/20(金) 瀬戸市立松島小学校 99名 3クラス



1/24(水) 瀬戸市立港川小学校 153名 4クラス



2/1(水) 瀬戸市立小瀬南小学校 112名 3クラス

今年度予定していた民具体験は、無事7校の日程を終了することができました。来年度は、ボランティアの皆さんと一緒に活動できることを楽しみにしております。(照屋)

帰ってくる！「みんなの進化展～命はつながっている～」

主任学芸員 菊川 章 (生物担当)



オキナワヤママタカマイマイ (進化展にも登場しますよ！)

博物館ボランティアの皆さま、こんにちは。主任学芸員(生物担当)の菊川です。コロナ禍も収束しつつあり、ボランティア活動も少しずつ再開しているようで、とても心強く感じている今日この頃です。

満を持して復活！

さて、令和3年夏に、たった1日だけで閉幕してしまった『みんなの進化展～命はつながっている～』ですが、美ら島財団さんのはじめ、多くの方々の計らいで、来る6月21日～9月3日に再度開催できる運びとなりました。担当者として、こんなにありがたいことはありません。せっかくですので、この機会に、私が『みんなの進化展』に込めた思いについて軽く触れておきたいと思います。

誤解されやすい『進化』の概念

『進化』という言葉を知らない人は、おそらくほとんどいないでしょう。その反面、これほど誤解または曲解されている言葉もなかなか無いと思います。しかも、その曲解された理屈が差別を正当化する根拠に使われ、数々の悲しい歴史を生んできました(ナチスの『優生思想』など)。世界中の人々みんなが『進化』を正確に理解していれば、こんなことにはならないはずなのに…。『進化』の概念は、おそらく人間の直感に反するものでしょう。本能的に、いつの間にか理解が歪んでしまうのかもしれない。「知っているつもり」が「一番怖い」ということですね。

どうすれば伝わる？

どうすれば、誰もが容易に、しかも正確に『進化』の概念を理解できるのでしょうか。「みんなの進化展」は、そんな大きな課題に向き合い、果敢に挑んでいます。見た目は子供向けの柔らかい雰囲気を出していますが、大人の皆さんにも「進化って、そういうことだったのか！」と、納得していただけたらいいように、内容の精度は極限まで高めたつもりです。子供から大人まで、また、様々な立場の人たちが、「みんな」で楽しみながら『進化』について学べる展示にしたい、という思いを込めて『みんなの進化展』と名づけました。

『進化』とは何か、考える機会に

実際の展示の中では、進化の仕組みのほか、進化の歴史の壮大さ、沖縄の生きものの大切さなど、沢山のメッセージを発信しています。博物館が大好きなボランティアの皆さまなら、しっかりキャッチしていただけると信じています。ご家族やご友人と「みんな」でご覧いただき、「進化」とは何か、をじっくり考える機会にいただければ幸いです。

沖縄県立博物館

ボランティア通信

一般財団法人
沖縄美ら島財団
Okinawa Churashima Foundation
2023年3月1日 第184号

「退職に際して」

昨年、5月より1年弱の財団勤務でしたが、ボランティアの皆さんには大変お世話になりました。当初、何もわからず、右往左往する毎日でしたが、皆さんには館での様々な仕事（流籠？）について、優しく教えていただきました。事務所では若い方々に交じって奮闘してきましたが、ボランティアの多くが人生の先輩であり、私にとっては安らぎと癒しを与えて下さる存在でもありました。ボランティアの皆さんは、館にとっても最強の味方だと思い、おこがましくも皆さんへの懸け橋となるべく活動したいと思いつながら、志半ばにも至らず、今回、身勝手ながら辞することを決意しました。

新型コロナウイルス感染症の災禍がこれほど長く続くとは思いませんでした。皆さんとはマスク姿で出会い、マスク姿で去ることとなりました。お互い素顔も知らないままという方もいらっしゃいます。何か寂しい感じも残りますが、マスクをはずせるときが早く来るとことを祈りつつ、これからは沖縄県立博物館・美術館のファンとして、何かしら関わることができたら、嬉しいと思っています。

本当にありがとうございました。

3月1日 藤井 雅弘



お問い合わせ先：沖縄県立博物館・美術館 指定管理者（一財）沖縄美ら島財団 TEL：098-941-8200（代表）

「第13回 移動展 in 渡嘉敷島」を3年ぶりに開催しました

大城 久表（教育普及担当）

1月13日（金）～1月15日（日）まで「第13回 移動展 in 渡嘉敷島」を3年ぶりに開催することができました。移動展の会場は渡嘉敷中央公民館で、移動展の準備を初めて経験しました。展示作業を関係職員及び関係業者で丁寧に行い、見やすい展示会場としてオープン前に完成させることができました。13日のテープカットには、大勢の方々にお越しいただき、3日間の来場者は331名でした。また、関連催事として、展示解説会、現地を当てるワークショップ等を開催しました。今回、展示をお住まいの方々に博物館に親しむを感じていただくきっかけとなる移動展のすばらしさを実感しました。教育普及担当として、とても貴重な体験ができ、充実した時間を過ごすことができました。

1月13日（金）の様子～



開会式



解説会



講座「琉球王国時代の鹿長門・渡嘉敷」

1月14日（土）の様子～



出席授業（阿波連小にて）



学芸員講座① 渡嘉敷島の遺跡の味



ワークショップ

1月15日（日）の様子～



ワークショップ



学芸員講座② フィールドツアー



学芸員講座② フィールドツアー

XI その他

1 移動展

- ① 名称：第13回 沖縄県立博物館・美術館 移動展 in 渡嘉敷島
- ② 開期：令和5年1月13日（金）～1月15日（日）
- ③ 時間：午前9時～午後5時
- ④ 開催地：渡嘉敷村（渡嘉敷村中央公民館）
- ⑤ 対象：一般
- ⑥ 観覧料：無料
- ⑦ 主催：沖縄県立博物館・美術館、渡嘉敷村教育委員会、
（一財）沖縄美ら島財団
- ⑧ 後援：渡嘉敷村、渡嘉敷村教育委員会



(1) 趣旨

沖縄県立博物館・美術館では、県民が本島の自然・歴史・文化や芸術を正しく認識できるよう、これまで収集された資料を常設展示やコレクション展示で公開してきた。しかしながら島嶼県である本県では、当館の利用に不便を感じている離島や遠隔地に住む方々が多く、県民が等しく当館を利用することが難しい現状にある。移動展は、離島や遠隔地の方々に収集資料の展示をみていただくことによって、沖縄の自然・歴史・文化や、芸術への理解を深めていただくことを目的として実施する。

(2) 展示内容

① 博物館展示

「世界の化石と輝く石」・・・恐竜の骨格標本、岩石の展示

「沖縄の自然、歴史、文化」・地学・生物・歴史・民俗・考古・教育普及に関する総合展示
デジタルミュージアム動画コンテンツ上映・・・ウチナーの民話上映
復帰50年に関する資料

② 美術館展示

「展覧会展示パネル」・・・これまでの展覧会概要パネルの展示

(3) 総入館者数 331名

内訳

○13日（金）/ 166名（70歳以上5名、一般52名、高大0名、小中76名、未就学児33名）

○14日（土）/ 73名（70歳以上1名、一般39名、高大0名、小中21名、未就学児12名）

○15日（日）/ 92名（70歳以上0名、一般47名、高大0名、小中36名、未就学児9名）

【移動展の様子】



①沖縄県立博物館・美術館 館長講座 「琉球王国時代の慶良間・渡嘉敷」 リモート講演

実施日：1月13日（金）19:00～20:30(18:30 開場)

講師：田名 真之（館長）

場所：渡嘉敷村中央公民館 2F 研修室

対象：一般

参加者：19名(定員20名)



②博物館学芸員講座①「渡嘉敷村の遺跡の味」

日程：1月14日（土）15:00～17:30 貝を採る、1月15日（日）11:30～13:30 だしを取る

講師：澤浦 亮平（人類担当）

場所：渡嘉敷村中央公民館 2F 研修室、城島とのあいだの岩礁

対象：小3以上

参加者：19名(定員10組(最大20名程度))



③博物館学芸員講座②「フィールドツアー 石ころと地形遺跡から紐解く島の成り立ちと人間生活」

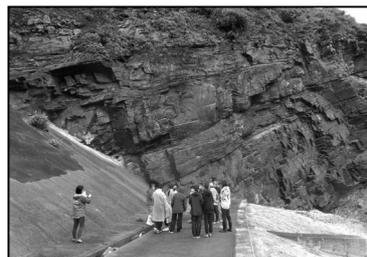
日程：1月15日（日）9:00～13:00（8:45 中央公民館集合）（参照：V博物館学芸員講座）

講師：宇佐美 賢（地学担当）、山本 正昭（考古担当）

場所：渡嘉敷島全域

対象：小3以上 ※ 小中学生は保護者同伴

参加者：13名(定員15名)





④移動展解説会

日 程：1月13日（金）10:00～11:30

講 師：宇佐美 賢（地学担当）、山本 正昭（考古担当）
澤浦 亮平（人類担当）、宮城 修（歴史担当）

場 所：渡嘉敷村中央公民館

対 象：渡嘉敷村立渡嘉敷小中学校生（小学生の部）

参加者：38名（定員なし）



⑤移動展解説会

日 程：1月13日（金）13:00～14:00

講 師：宇佐美 賢（地学担当）、山本 正昭（考古担当）
澤浦 亮平（人類担当）、宮城 修（歴史担当）

場 所：渡嘉敷村中央公民館

対 象：渡嘉敷村立渡嘉敷小中学校生（中学生の部）

参加者：34名（定員なし）



⑥小中学校への出前授業①

日 程：1月11日（水）10:00～11:00

講 師：玉城 早苗（美術館教育普及担当）

場 所：渡嘉敷村立渡嘉敷小中学校

対 象：小中学生

参加者：64名

⑦小中学校への出前授業②

日 程：1月13日（金）10:25～11:15

9:25～10:15

講 師：玉城 早苗（美術館教育普及担当）、山崎 真治（人類担当）

場 所：渡嘉敷村立阿波連小学校

対 象：渡嘉敷村立阿波連小学校

参加者：14名

⑧「身近な植物で筆を作って文字や絵を描いてみよう！！」

日 程：1月14日（土）10:00～12:00

講 師：玉城 早苗（美術館教育普及担当）

場 所：渡嘉敷中央公民館 研修室

対 象：小1～中3（小3以下は保護者同伴）

参加者：6名（定員10名）



⑨「かんたん化石のレプリカづくり」

日 程：1月14日（土）15:00～16:00／16:00～17:00

1月15日（日）10:00～11:00／11:00～12:00

講 師：新垣 麻乃（（一財）沖縄美ら島財団 教育普及担当）

場 所：渡嘉敷村中央公民館 1F 展示会場

対 象：5歳～一般（小3以下は保護者同伴）

参加者：35名（定員40名（各回10名））



2 職場体験

令和4年度は、高等学校2校8名を受け入れた。学生たちは、もぎりやミュージアムショップでの接客業務や情報センターでの資料整理他などを体験した。また、博物館・美術館職員による学芸業務の紹介やバックヤード見学なども実施。博物館・美術館に関わる様々な職種を体験することができた。

体験内容：もぎり(入場券の確認)、ふれあい体験室(ワークショップの準備)、ミュージアムショップ(接客、商品の管理)、情報センター(新聞の切り抜き作業・その他資料整理)、博物館・美術館班(バックヤードおよび学芸業務の見学)

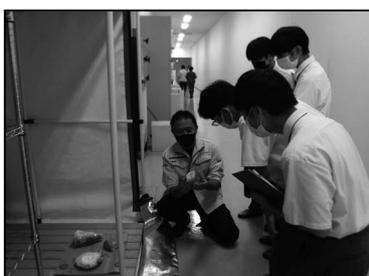
受入校：2校8名(高等学校2校)

①沖縄県立沖縄水産高等学校2学年(4名)

7月12日(火)～14日(木)(3日間)

②沖縄県立沖縄工業高等学校2学年(4名)

9月13日(火)～15日(木)(3日間)



3 教育普及資料の活用

(1) 学校団体貸出一覧

| | 利用者 | 資料名 | 利用目的 | 貸出期間 |
|---|--------------|---------------------------------|--------|-------------|
| 1 | 沖縄県立美咲特別支援学校 | けんぱくキット「むかしむん」 けんぱくキット「骨スーツ」 | 平和月間 | 6/8～6/14 |
| 2 | 沖縄県立森川特別支援学校 | けんぱくキット「むかしむん」 | 平和月間 | 6/16～6/22 |
| 3 | 那覇市立真地小学校 | けんぱくキット「むかしむん」 | 社会科授業 | 10/15～10/21 |
| 4 | 那覇市立真嘉比小学校 | 民具 | 社会科授業 | 1/6～1/13 |
| 5 | 那覇市立高良小学校 | 民具 | 社会科授業 | 1/20～1/27 |
| 6 | 那覇市立城西小学校 | 民具 | 社会科授業 | 2/6～2/13 |
| 7 | 那覇市立大道小学校 | 民具 | 社会科授業 | 2/6～2/13 |
| 8 | ガジマル保育園 | けんぱくキット「豆腐作りキット」 | ゆし豆腐作り | 2/13～2/17 |

博物館の教育普及関係資料等を貸出ている。令和4年度の貸出団体は8件であった。

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、一部使用方法の制限を設け貸出を実施

図1-① 資料利用申請書 第5様式

図1-②

第5様式（第4条関係）

資料利用申請書
(教育普及資料の借用)

令和元年 月 日

沖縄県立博物館・美術館長 殿

代表者名: _____ 印
申請者 団体名: _____
(担当者氏名 _____)

住 所: 〒 _____
TEL: _____
FAX: _____
E-mail: _____

下記により教育普及資料の利用を許可くださるようお願いします。

| 記 | | | |
|---------------|---------------------------|-----------|-------|
| 利 用 区 分 | 1 学校 (学年・学級) 行事 | 2 地域・団体行事 | 3 その他 |
| 希 望 日 時 ・ 期 間 | 年 月 日 (時) ～ 年 月 日 (時) | | |
| 行 事 名 | | 参加人員 | |
| 目 的 | | | |
| 資 料 名 | 数量 | 備 考 | |
| 1. | 1 | | |
| 2. | 1 | | |
| 3. | | | |
| 4. | | | |

※留意事項

- ①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。
- ②資料の利用に当たっては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。
- ③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。
- ④資料のうち、当館以外に所有者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。
- ⑤申請の際には、返信用封筒（切手貼付）を添えること。
- ⑥貸出期間は1週間以内とする。
- ⑦資料の運搬その他費用を要する場合は、申請者が負担すること。
- ⑧資料の利用にあたっては、事故が生じないよう取り扱いに十分留意すること。
- ⑨万一の事故等については、申請者が一切の責任を負うこと。

前項に違反した行為があったときは、この許可を取り消すことがある。

民具借用にあたってご注意いただくこと

- 1. 児童による着用・使用体験は行わないでください**
通常であれば、児童の使用・体験を目的として貸し出しを行いますが、本年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、大勢の児童が次々に同一のアイテムに触れることを避ける措置をとっています。
使用・実演は教員が行うよう、お願いいたします。
- 2. 丁寧な扱いを心がけてください**
民具は自然由来の素材で作成されているものが多く、破損しやすいです。
特に着衣の道具は、ニットなどの素材が引っかかることがあるためご注意ください。
- 3. 博物館の防虫対策・防カビ対策にご協力ください。**
博物館の所蔵品は、虫・カビなどの害に弱いため、それらの影響を受けないように館内の環境（温度・湿度）を一定に保ち、また、外部から虫などの持ち込み・虫などを誘引するもの（食べ物・植物など）の排除を行っています。害虫が発生してから駆除する考え方もありますが、被害が拡大してしまうことと、薬剤が収蔵品に影響を与える可能性があるため、近年では予防対策の徹底を行う方法が主流になっています。
具体的には、以下のような対策を行います。
①飲食を博物館の中で行わない・飲食物を持ち込まない。
②動物・植物・土を持ち込まない。
③カビなどが発生しやすい状況を作らない（ほこりを溜めない、湿度調整する、乾燥させる）
④汚染されたものは隔離する

学校は給食や弁当、そして児童の水筒、プランターなど、博物館では極力避けているものとの接触が想定されます。民具の保管場所には十分にご注意下さい。
特に、水を使うターレー（洗濯の道具・たらい）は乾燥させたうえで返却をお願いいたします。
- 4. アルコール消毒をした場合の対応**
民具をアルコールで拭いて消毒することは可能です。ただし、消毒液の水分が多いため、消毒後にそのまま袋ケースやビニール袋に入れるとカビの原因となります。
消毒後は民具の乾燥をご確認のうえ、収納をお願いします。
- 5. 何かトラブルが発生した場合は、博物館へご連絡ください**

4 ボランティアによる展示ガイド

博物館ボランティアの活動の一つに、展示解説ガイドがある。これは、来館者サービス向上の一環として、博物館常設展示室の「民俗部門」と「総合展示部門」で、ボランティアがわかりやすく解説することを目指している。まず、民俗部門解説展示ガイドは、沖縄県内の離島をはじめとする小規模校（20名以下）において教育普及担当とボランティアが調整しガイドを実施した。今年度は、合計9校164名を受け入れた。また、「総合展示部門」のガイドは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため活動休止となり、今年度は、新たにCコースを創設し、指定管理者のスタッフによる「沖縄の歴史を知る10分ガイド」を13団体682名に実施した。総合展示部門のガイドの活動が再開した暁には、ボランティアが実施できるよう整える予定である。ちなみに、ジンプンボックスによる活動は、昨年度から引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため休止した。

（1）民俗部門解説ガイド実施内容

- ①実施日：開館日の9:00～16:00
- ②所用時間：15分～30分
- ③対象：県内の離島をはじめとする20名以下の小学校・中学校・高等学校
- ④受付方法：事前申込
- ⑤参加費：無料
- ⑥内容：3種類のメニューから選ぶ。
 - ・Aコース【15分】「海とのかかわりを学びたい子どもたちへ」
博物館常設展示室<ウミのワザ、沖縄の住まいと衣食、年中行事と魔よけ>を案内。
 - ・Bコース【15分】「昔の道具を学びたい子どもたちへ（田畑仕事を中心に）」
博物館常設展示室<アギのワザ、くらしに生きる自然素材、沖縄の住まいと衣食>を案内。
 - ・Cコース【30分】「民俗分野全体を学びたい子どもたちへ」
博物館常設展示室（村落をとりまく世界→御嶽と神人→訪ね来る神々→人の一生→ウミのワザ→アギのワザ→くらしに生きる自然素材→沖縄の住まいと衣食→年中行事と魔よけ→祭り→行事の現在→変わりゆく風景）を案内。

※メニューを基準に、内容の組み換えは可能。

※現時点で、民俗分野以外の解説はできないが、他の分野の展示物の見どころをお話することは可能。（ただし、解説ではなく、展示物名を紹介する程度）

（2）総合展示部門解説ガイド実施内容

- ①実施日：開館日の9:00～16:00
- ②所用時間：30分～60分
- ③対象：県内外の一般・修学旅行団体
- ④受付方法：事前予約
- ⑤参加費：無料
- ⑥内容：3種類のメニューから選ぶ。
 - ・Aコース【30分】「総合展示部門：10～100名以内」
総合展示部門の展示資料の前で沖縄の歴史を簡潔に学ぶことができる。
 - ・Bコース【30分】「ジンプンボックス：100名以上」
おすすめの展示資料の前でボランティアが来場者へ解説を行う。
 - ・Cコース【10分】「沖縄の歴史を知る10分ガイド」
展示室に入る前に別室で沖縄の歴史の流れを簡潔に解説する。

「民俗部門解説ガイド」実施団体

| 回数 | 利用区分 | 地域 | 日付 | 団体名 | 対象 | 人数 | ボランティア数 |
|----|------|-----|-----------|-------------------|----|-----|---------|
| 1 | 修学旅行 | 沖縄県 | 6月14日(火) | オキナワインターナショナルスクール | 学生 | 20 | 5 |
| 2 | 修学旅行 | 沖縄県 | 10月7日(金) | 与那国町立与那国小学校 | 学生 | 13 | 6 |
| 3 | 修学旅行 | 沖縄県 | 11月2日(水) | 石垣市立宮良小学校 | 学生 | 19 | 6 |
| 4 | 修学旅行 | 沖縄県 | 11月17日(木) | 南城市立久高小学校 | 学生 | 4 | 4 |
| 5 | 修学旅行 | 沖縄県 | 11月18日(金) | 南大東村立南大東小学校 | 学生 | 18 | 6 |
| 6 | 修学旅行 | 沖縄県 | 11月18日(金) | 座間味村立阿嘉小学校 | 学生 | 4 | 2 |
| 7 | 修学旅行 | 沖縄県 | 11月25日(水) | 沖縄市立中の町小学校 | 学生 | 58 | 9 |
| 8 | 修学旅行 | 沖縄県 | 12月7日(水) | 南城市立百名小学校 | 学生 | 23 | 6 |
| 9 | 修学旅行 | 沖縄県 | 12月9日(金) | 渡嘉敷村立阿波連小学校 | 学生 | 5 | 4 |
| 合計 | | | | | | 164 | 48 |

「沖縄の歴史を知る10分ガイド」実施団体

| 回数 | 利用区分 | 地域 | 日付 | 団体名 | 対象 | 人数 | スタッフ数 |
|----|------|-----|-----------|------------------|-----|-----|-------|
| 1 | 研修 | 沖縄県 | 7月12日(火) | 真和志第二民生委員児童委員協議会 | 一般 | 15 | 1 |
| 2 | 研修 | 沖縄県 | 7月14日(木) | 沖縄高等特別支援学校 | 学生 | 50 | 1 |
| 3 | 研修 | 沖縄県 | 7月22日(金) | 嘉手納町立外語塾 | 学生 | 21 | 1 |
| 4 | 修学旅行 | 京都府 | 8月31日(水) | 立命館宇治高等学校 | 学生 | 58 | 1 |
| 5 | 研修 | 東京都 | 10月16日(日) | ジューテック一番会 | 一般 | 29 | 1 |
| 6 | 研修 | 福岡県 | 12月1日(木) | 日本テクノ株式会社 | 一般 | 21 | 2 |
| 7 | 修学旅行 | 埼玉県 | 12月4日(日) | 埼玉県立越ヶ谷高等学校 | 学生 | 324 | 3 |
| 8 | 修学旅行 | 大分県 | 12月13日(火) | 大分県立上野丘高等学校 | 学生 | 60 | 2 |
| 9 | 研修 | 沖縄県 | 12月23日(金) | サイ・テク・カレッジ那覇 | 学生 | 18 | 1 |
| 10 | 研修 | タイ | 2月7日(火) | レキオウイングス：タイの研修生 | 研修生 | 12 | 1 |
| 11 | 研修 | 沖縄県 | 2月21日(火) | 長田区なかよし会 | 一般 | 35 | 1 |
| 12 | 研修 | 沖縄県 | 3月9日(木) | 日本テクノ株式会社 | 一般 | 19 | 2 |
| 13 | 研修 | 沖縄県 | 3月31日(金) | 沖縄市越来自治会 | 一般 | 20 | 1 |
| 合計 | | | | | | 682 | 18 |

オキナワインターナショナルスクール

日時：6月14日（火）9:30～11:00

対象：オキナワインターナショナルスクール 1年生20名 引率2名 計22名

内容：博物館ボランティア5名、職員1名

- 1 自然史部門 解説
- 2 総合展示部門 解説
- 3 民俗部門 解説



与那国町立与那国小学校

日時：10月7日（金）9:00～10:05

対象：与那国町立与那国小学校 6年生13名 引率3名 計16名

内容：博物館ボランティア6名、職員2名

- 1 自然史部門 解説
- 2 総合展示部門 解説
- 3 民俗部門 解説



石垣市立宮良小学校

日時：11月2日（水）15:00～16:00

対象：石垣市立宮良小学校 6年生19名 引率3名 計22名

内容：博物館ボランティア6名、職員2名

- 1 自然史部門 解説
- 2 総合展示部門 解説
- 3 民俗部門 解説



南城市立久高小学校

日時：11月17日（木）12:00～14:00

対象：南城市立久高小学校 6年生4名 引率2名 計6名

内容：博物館ボランティア2名、職員2名

- 1 自然史部門 解説
- 2 総合展示部門 解説
- 3 民俗部門 解説



南大東村立南大東小学校

日時：11月18日（金）9:00～10:00

対象：南大東村立南大東小学校6年生18名 引率3名 計21名

内容：博物館ボランティア6名、職員2名

- 1 自然史部門 解説
- 2 総合展示部門 解説
- 3 民俗部門 解説



座間味村立阿嘉小学校

日時：11月18日（金）13:00～14:00

対象：座間味村立阿嘉小学校 5年生3名 6年生1名 引率3名 計7名

内容：博物館ボランティア2名、職員2名

- 1 自然史部門 解説
- 2 総合展示部門 解説
- 3 民俗部門 解説



沖縄市立中の町小学校

日時：11月25日（金）9:15～10:30

対象：沖縄市立中の町小学校 5年生 58名 引率2名 計60名

内容：博物館ボランティア9名、職員2名

- 1 自然史部門 解説
- 2 総合展示部門 解説
- 3 民俗部門 解説



南城市立百名小学校

日時：12月7日（水）9:45～12:00

対象：南城市立百名小学校 5年生 24名 引率2名 計26名

内容：博物館ボランティア6名、職員2名

- 1 自然史部門 解説
- 2 総合展示部門 解説
- 3 民俗部門 解説



渡嘉敷村立阿波連小学校

日時：12月9日（金）9:45～12:00

対象：渡嘉敷村立阿波連小学校 3年生2名 4年3名 引率2名 計7名

内容：博物館ボランティア4名、職員2名

- 1 自然史部門 解説
- 2 総合展示部門 解説
- 3 民俗部門 解説



少人数離島校ガイド ○○町立○○小学校 6学年

日時 2021/○/○(○)○:○:○~○:○:○ 児童○名
 (到着時間○:○)(出発時間○:○) ボランティア○名
 ※ボランティア集合時間 ○:○(ボランティア室)

【ポイント】
 ①民道具の名前、道具の使われていた時期、道具の使われ方
 ②地域の移り変わり
 ③年中行事
 ④その他

※引率3名の先生方は、各班の担当でお願いします。

| | 9時 | | | | | | | | | | | 10時 | | | | | 25 | 30 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------|---|----|----|----|----|----|---|---|----|----|----|-----------|----|----|----|----|----------|----|---|---|----|------|----|----|----|--|----------|--|--|--|--|----------|--|--|--|--|------|--|--|--|--|--------------------|--|--|--|--|
| | 5 | 10 | 15 | 20 | 40 | 45 | 0 | 5 | 10 | 15 | 20 | 25 | 30 | 35 | 40 | 45 | | | 0 | 5 | 10 | 15 | 20 | 25 | 30 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1班 ○名 (○○) | オリエンテーション・移動 トイレ休憩・チケット受取 博物館・美術館到着 | | | | | | | | | | | 自然史 (15分) | | | | | 歴史 (20分) | | | | | 移動 5 | | | | | 民俗 (20分) | | | | | 歴史 (20分) | | | | | 移動 5 | | | | | 集合・解散 (正面玄関外) (5分) | | | | |
| 2班 ○名 (○○) | オリエンテーション・移動 トイレ休憩・チケット受取 博物館・美術館到着 | | | | | | | | | | | 自然史 (15分) | | | | | 歴史 (20分) | | | | | 移動 5 | | | | | 民俗 (20分) | | | | | 歴史 (20分) | | | | | 移動 5 | | | | | 集合・解散 (正面玄関外) (5分) | | | | |
| 3班 ○名 (○○) | オリエンテーション・移動 トイレ休憩・チケット受取 博物館・美術館到着 | | | | | | | | | | | 自然史 (15分) | | | | | 歴史 (20分) | | | | | 移動 5 | | | | | 民俗 (20分) | | | | | 歴史 (20分) | | | | | 移動 5 | | | | | 集合・解散 (正面玄関外) (5分) | | | | |

【解説・活動内容について】
 民俗部門展示での解説を多めの時間を配慮し、総合展示室ガイドほかのガイドも盛り込みます。
 基本1グループ(4~8名)を1名のガイドが約50分対応し解説を行います。
 (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3グループに分かれて見学を行います)

■ 3班の組み合わせ例

少人数離島校ガイド ○○村立○○小学校3.4学年

(3年○名4年○名計○名引率○名)
 日時 2021/○/○(○)○:○:○~○:○:○ 児童○名
 (到着時間○:○)(出発時間○:○) ボランティア○名
 ※ボランティア集合時間 ○:○(ボランティア室)

【ポイント】
 ①民道具の名前、道具の使われていた時期、道具の使われ方
 ②地域の移り変わり
 ③年中行事
 ④その他

| | 9時 | | | | | 10時 | | | | | 11時 | | | | | 12時 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|----|----|----|---|-----------|----|----|----|---|----------|----|----|----|---|-----------|----|----|----|---|------------|--|--|--|--|----------|--|--|--|--|-------------|--|--|--|--|-------------|--|--|--|--|
| | 10 | 15 | 35 | 55 | 0 | 10 | 15 | 35 | 55 | 0 | 10 | 15 | 35 | 55 | 0 | 10 | 15 | 35 | 55 | 0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1班 ○名 引率○名 (○○) | オリエンテーション・移動 トイレ休憩・チケット受取 博物館・美術館到着 | | | | | 民俗 (20分) | | | | | 歴史 (20分) | | | | | 自然史 (15分) | | | | | 自由見学 (45分) | | | | | エントランス集合 | | | | | 美術館見学 (55分) | | | | | エントランス集合・解散 | | | | |
| 2班 ○名 3年○名 4年○名 引率○名 (○○) | オリエンテーション・移動 トイレ休憩・チケット受取 博物館・美術館到着 | | | | | 自然史 (20分) | | | | | 民俗 (20分) | | | | | 歴史 (15分) | | | | | 自由見学 (45分) | | | | | エントランス集合 | | | | | 美術館見学 (55分) | | | | | エントランス集合・解散 | | | | |

※美術館見学は、美術館担当が案内予定です。
 なので、博物館ボランティアは10:15解散予定です。

【解説・活動内容について】
 民俗部門展示での解説を多めの時間を配慮し、総合展示室ガイドほかのガイドも盛り込みます。
 基本1グループ(4~5名)を1名のガイドが約50分対応し解説を行います。
 (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2グループに分かれて見学を行います)

【班編制について】
 1班...3年○名、引率○名 計○名
 2班...3年○名、4年○名、引率○名 計○名

■ 2班の組み合わせ例

5 特別展・企画展関連事業

(1) 復帰50年 沖縄復帰前特集展「復帰 前夜ー。希う、未来。」

- ・実施日：令和4年3月18日（金）～8月21日（日）
- ・場 所：博物館常設展歴史部門展示室



① 展示解説会 1 回（参照：VI博物館常設展示解説会）

② 復帰50年沖縄談話 2 回（博物館常設展歴史部門展示室特集展関連催事）

○ 復帰50年沖縄笑話（舞台）

○ 「オリジンお笑いライブ in おきみゅー」

- ・実施日：令和4年5月8日（日）14:00～16:00
- ・場 所：3階講堂
- ・出演者：こきざみインディアン、ベンビー、ノーブレイキ しんとすけ、すつとこどっこい、めーばーカリー
- ・参加者：140名（定員140名）



○ 「基地を笑え！！お笑い米軍基地 in おきみゅー」

- ・実施日：令和4年7月30日（土）14:00～16:00
- ・場 所：3階講堂
- ・出演者：FECのお笑い芸人
- ・参加者：110名（定員140名）



(2) 「復帰50年 沖縄、特別展 復帰後。展—いちまんでいかなさオキナワ—」

○実施日：令和4年7月20日（水）～9月19日（月）

①文化講座2回（参照：IV 博物館文化講座）

②学芸員講座2回（参照：V 博物館学芸員講座）



③展示解説会・バスツアー3回

○琉球歴史文化の日ワークショップ 親子でまなぶ「沖縄、復帰後。展～いちまんでいかなさオキナワ～」展示解説会（復帰後の歴史を学芸員と学ぶ展示会ツアー）

日程：令和4年9月18日（日）1回目10:00～11:00 2回目14:00～15:00

場所：企画特別展示室

対象：小3～中3のお子さんと保護者

定員：各回16名程度

○親子バスツアー①「親子知ろう！むかしのおきなわとこれからのおきなわバスツアー」（参照：VIII夏休み！こどもフェスタ2022親子バスツアー）

- ・実施日：令和4年4月30日（土）9:00～13:20
- ・場 所：那覇市小禄周辺コース
- ・参加者：17名（定員20名）
- ・講 師：外間 一先（博物館班 班長） 宮城 修（歴史担当）
 崎原 恭子（歴史担当） 菊川 章（生物担当）
 宇佐美 賢（地学担当） 澤浦 亮平（人類担当）
 大湾 ゆかり（民俗担当）

○親子バスツアー②「米軍基地と復帰に伴う開発と沖縄の自然・歴史・文化」（夏休み！こどもフェスタ2022）

- ・実施日：令和4年7月23日（土）9:00～16:00
- ・場 所：恩納村博物館周辺コース
- ・参加者：18名（定員20名）
- ・講 師：外間 一先（博物館班 班長）
 宮城 修（歴史担当学芸員）
 菊川 章（生物担当学芸員）
 山崎 真治（人類担当学芸員）
 山本 正昭（考古担当学芸員）

④特別講演会

『沖縄県史 各論編7 現代』刊行記念シンポジウム

「戦後77年の検証—県史・現代編にみるアメリカ世・大和世の沖縄」

- ・実施日：令和4年10月16日（日）14:00～17:00
- ・場 所：3階講堂 ・参加者：80名（定員100名）
- ・主 催：沖縄県教育委員会 ・共 催：沖縄県立博物館・美術館



(3) 企画展「復帰50年展 琉球—美とその背景—」

- ①文化講座2回 (参照：Ⅳ 博物館文化講座)
- ②学芸員講座1回 (参照：Ⅴ 博物館学芸員講座)
- ③体験学習教室2回

○体験学習教室1：「勾玉づくりにチャレンジ」
(参照：Ⅲ 博物館体験学習教室)

- ・実施日：令和4年10月22日(土) 9:30～12:00
- ・場 所：博物館実習室
- ・講 師：山本 正昭(考古担当)
- ・参加者：20名(定員20名)

○体験学習教室2：「琉球古刺繍をやってみよう」
(参照：Ⅲ 博物館体験学習教室)

- ・実施日：令和4年11月26日(土) 14:00～17:00
- ・場 所：博物館実習室
- ・講 師：琉球古刺繍保存会
- ・参加者：10名(定員15名)

④展示解説会

- 実施日：①令和4年10月15日(土) 10:00～11:00 参加者 15名
 ②令和4年10月29日(土) 10:00～11:00 参加者 15名
 ③令和4年11月13日(日) 14:00～15:00 参加者 15名
 ④令和4年11月27日(日) 14:00～15:00 参加者 15名
 場 所：企画展示室・特別展示室



⑤琉球歴史文化の日関連催事1回

○琉球の文化を学芸員と学ぶ展示会ツアー

- 実施日：①令和4年10月16日(日) 10:00～11:00 参加者 19名
 ②令和4年10月16日(日) 14:00～15:00 参加者 17名
 場 所：博物館企画展示室・特別展示室
 講 師：伊禮 拓郎(美術工芸担当)

⑥シンポジウム1回

○「守り継がれてきた琉球の文化 ～コレクションの成り立ちと意義について～」

- 実施日：令和4年10月22日(土) 14:00～17:00 参加者 89名
 場 所：3階講堂
 講 師：田名 真之(沖縄県立博物館・美術館 館長)
 品川 欣也(東京国立博物館 研究員)
 原田 あゆみ(東京国立博物館 研究員)
 園原 謙(沖縄県立博物館・美術館 主任学芸員)



(4) 企画展 宮内庁三の丸尚蔵館収蔵品展 「皇室の美と沖縄ゆかりの品々」

- ①文化講座2回 (参照: IV 博物館文化講座)
- ②学芸員講座1回 (参照: V 博物館学芸員講座)
- ③ほか関連催事4回 (展示解説会)

- ・実施日: ①令和5年1月27日(金) 18:00~19:00 参加者 15名
- ・場 所: 企画展示室・特別展示室
- ・講 師: 大湾 ゆかり (主任学芸員)
- ②令和5年2月3日(金) 18:00~19:00 参加者 15名
- ・講 師: 與那嶺 一子 (主任学芸員)
- ③令和5年2月19日(日) 14:00~15:00 参加者 18名
- ・講 師: 大湾 ゆかり (主任学芸員)



④ほか関連催事1回 (特別講演会)

「三の丸尚蔵館の収蔵品と開館30年のあゆみ」

- ・実施日: 令和4年1月20日(金) 14:00~16:00
- ・場 所: 3階講堂
- ・講 師: 五味 聖 (宮内庁三の丸尚蔵館 主任研究官)
- ・参加者: 45名

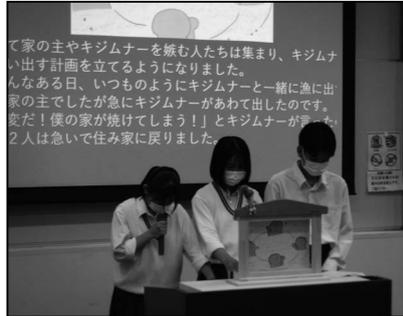


民話上映会②

10月29日(土)

②「第2回ウチナーの民話上映会」

講師：大湾 ゆかり(民俗担当)



デジタルミュージアム推進事業
令和4年度

第2回 ウチナーの民話上映会

「なかちとキジムナー」を上映します!

てづくり紙芝居

高校生による民話の活動報告と手作り紙芝居の披露及び令和元年度～令和2年度に制作した民話のデジタルコンテンツを4本上映します。

2022
10.29 (土)

入場無料
14:00～15:00
開場 13:30

会場 博物館講座室 (60座)
受付 事前申込 10/1(土)～
電話・WEB・総合案内にて受付
お問合せ 098-941-8200
〒900-0006
沖縄県那覇市おもろまち3-1-1

主催 沖縄県立博物館・美術館
協賛 沖縄県立那覇高等学校デザイン科

新型コロナウイルス感染症拡大防止にご協力をお願いします!
毎日検温・手洗いやマスクの着用、換気や消毒の徹底に協力ください。
マスクの着用、手の消毒、換気や消毒の徹底に協力ください。
ご来場の際はマスクの着用をお願いします。
ご来場の際はマスクの着用をお願いします。

プログラム

第1部 沖縄県立那覇農林高校生活デザイン科の活動報告とオリジナル紙芝居の披露!

てづくり紙芝居の制作コンテスト
発表会での発表など活動も報告します!

「なかちとキジムナー」を上映します!

第2部 デジタルミュージアムの民話上映会

聴きくらべにチャレンジ!
①お話を聞き、共通語バージョン
②漢字の読みかきをし、まじくとうばバージョン
どんな違いがあるか比べてみましょう!

令和2年制作
①「無題(糸巻)」(第4部)
(大友博樹 / 品川美津子 / 1983年収録)

令和3年制作
①「赤いふんこ」(第5部)
(大友博樹 / 品川美津子 / 収録年不明)

令和2年制作
②「名づかい」(第4部)
(大友博樹 / 品川美津子 / 1983年収録)

令和3年制作
②「おまじない」(第5部)
(大友博樹 / 品川美津子 / 収録年不明)

令和1年制作
③「富貴草」(第13部)
(大友博樹 / 品川美津子 / 1974年収録)

WEBサイト
ウチナー民話のへや

おきあーwebサイトの「ウチナー民話のへや」では、海産が収録している約3,000話の民話のうち、80話のデジタルコンテンツが公開されています。
動画の再生ボタンは4種類「同じ民話をまじくとうば」や「漢字の読みかき」などがあります。
また、地域やお話の種類別など民話の情報を自由に検索できるデータベースシステムもご利用いただけます。

プログラム

第1部 沖縄県立那覇農林高校生活デザイン科の活動報告とオリジナル紙芝居の披露!

沖縄県立那覇農林高校生活デザイン科生活福祉専攻では、課題研究授業の一環で様々なテーマを設定し、グループ研究を行っています。その中の一つが「沖縄の民話を学び伝えよう!」というテーマで、自ら調査・研究をした成果を手作りした紙芝居にまとめ、近隣の保育園などで読み聞かせをするなどの普及活動を行っています。
今回も第1回に続いて、活動の報告と「なかちとキジムナー」を上映します。

第2部 デジタルミュージアムの民話上映会

聴きくらべにチャレンジ!
①お話を聞き、共通語バージョン
②漢字の読みかきをし、まじくとうばバージョン
どんな違いがあるか比べてみましょう!

令和2年制作
①「無題(糸巻)」(第4部)
(大友博樹 / 品川美津子 / 1983年収録)

令和3年制作
①「赤いふんこ」(第5部)
(大友博樹 / 品川美津子 / 収録年不明)

令和2年制作
②「名づかい」(第4部)
(大友博樹 / 品川美津子 / 1983年収録)

令和3年制作
②「おまじない」(第5部)
(大友博樹 / 品川美津子 / 収録年不明)

令和1年制作
③「富貴草」(第13部)
(大友博樹 / 品川美津子 / 1974年収録)

WEBサイト
ウチナー民話のへや

おきあーwebサイトの「ウチナー民話のへや」では、海産が収録している約3,000話の民話のうち、80話のデジタルコンテンツが公開されています。
動画の再生ボタンは4種類「同じ民話をまじくとうば」や「漢字の読みかき」などがあります。
また、地域やお話の種類別など民話の情報を自由に検索できるデータベースシステムもご利用いただけます。

7 常設展に関する取組み

(1) 博物館常設展見どころマップ「ここだけは見逃すな！」の活用

博物館常設展の見学の手助けとして、平成23年度に作成した見どころマップ「ここだけは見逃すな！」を引き続き常設展入口のラックに設置し、今年度は、約5000枚を配布した。

(2) 「沖縄2億年の歴史を1時間で旅するシート」

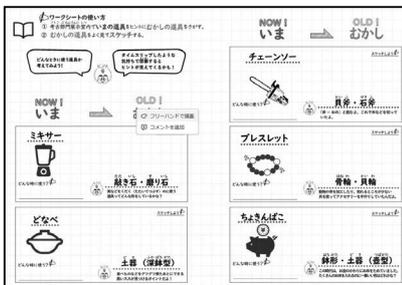
沖縄の歴史を短時間で伝えることを目的とした本シートは、約2000枚配布した。観光客や県内のお客様、さらには、修学旅行生にも好評だった。

(3) 博物館常設展示室ワークシート

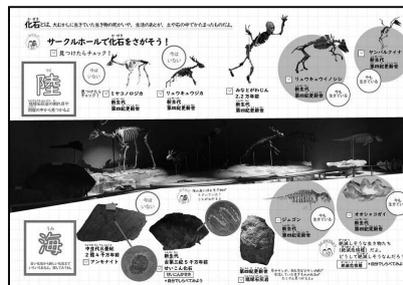
常設展示室内で学芸員が特に見てほしい資料を紹介するため作成したワークシートは、今年度新たに5種類増え、全8種類約5000枚を配布することができた。今年度は、体裁を整えることを意識し、フォントもユニバーサルデザインフォントを使用した。次年度は、これまで作成したワークシートを今一度見直し、さらに見やすくわかりやすいシートに整える。

- 内 容：①「12匹のアタク（オキナワキノボリトカゲ）をさがせ！」（生物①）
 ②「飛べない鳥ヤンバルクイナのひみつ」（生物②）
 ③「港川人を解析せよ」(人類①)
 ④「道具をさがせ」(考古①)
 ⑤「よく見てサークルホールの化石」(地学①)
 ⑥「石と友達になろう 石灰岩編」(地学②)
 ⑦「沖縄の魔除けをさがせ！」(民俗①)
 ⑧「三線のひみつ」(美術工芸①)

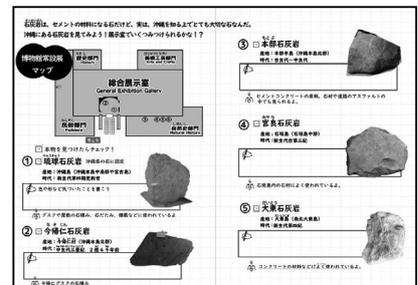
新しくできたワークシート



「道具をさがせ」
(考古①)



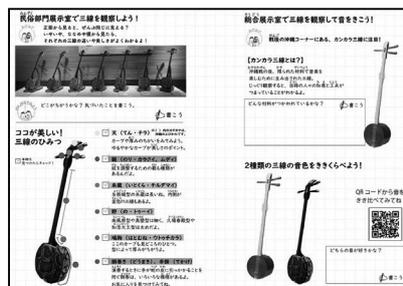
「よく見てサークルホールの化石」
(地学①)



「石と友達になろう 石灰岩編」
(地学②)



「沖縄の魔除けをさがせ!!」
(民俗①)



「三線のひみつ」
(美術工芸①)

8 新聞・雑誌等掲載一覧

博物館で開催した催事に関する新聞や雑誌における掲載は下記の通りである。

○出前講座

| | 掲載日 | 掲載紙 | 掲載欄 | 内容 |
|---|----------|------|------|---------------------------------|
| 1 | 7月27日(水) | 琉球新報 | 市町村面 | 命の重み「考える機会に」 県博出前講座 国頭中で平和学習 |

○ふれあい体験室

| | 発行日 | 掲載紙 | 掲載欄 | 内容 |
|---|----------|------------------------|------------------|-------------------------------------|
| 1 | 11月1日(火) | おきなわサイエンス テック月間2022 | 県内科学技術イベン ト一覧 | ふれあい体験室ワークショップ 「ふれたい博士の星座万華鏡づくり」 |

9 印刷物一覧

| 回数 | タイトル | 規格 | デザイン | 印刷 | 部数 |
|----|--|---------------------|------------------------|---------------------|--------|
| 1 | 文化講座チラシ (12回) | A 4 (片面カラー) | 沖縄美ら島財団 | (株) グラフィック 館内手刷り | 4,950 |
| 2 | 学芸員講座チラシ (12回) | A 4 (片面カラー) | 沖縄美ら島財団 | (株) グラフィック 館内手刷り | 4,250 |
| 3 | 体験学習教室 (4回) *民話上映会含む | A 4 (片面カラー) | 沖縄美ら島財団 | (株) グラフィック 館内手刷り | 1,100 |
| 4 | 「夏休み! こどもフェスタ2022」 チラシ | A 4 (両面カラー) | 安慶名 正浩 | (株) グラフィック | 5,500 |
| 5 | [第13回 移動展in渡嘉敷島] | A 4 (両面カラー) | 沖縄美ら島財団 | (株) グラフィック | 500 |
| 6 | これだけは見逃すな! (日本語) | A 4 (両面カラー) | 沖縄美ら島財団 | (株) グラフィック 館内手刷り | 15,000 |
| 7 | 博物館常設展ワークシート (生物1) 「12匹のアタク (オキナワキノボリトカゲ) をさがせ!」 | A 4 (両面カラー・二つ折り) | 沖縄美ら島財団 | (株) グラフィック 館内手刷り | 3,500 |
| 8 | 博物館常設展ワークシート (生物2) 「飛べない鳥ヤンバルクイナのひみつ」 | A 4 (両面カラー・二つ折り) | 沖縄美ら島財団 | (株) グラフィック 館内手刷り | 4,500 |
| 9 | 博物館常設展ワークシート (人類1) 「港川人を解析せよ」 | A 4 (両面カラー・二つ折り) | 沖縄美ら島財団 | (株) グラフィック 館内手刷り | 3,500 |
| 10 | 博物館常設展ワークシート (地学1) 「よく見てサークルホールの化石」 | A 4 (両面カラー・二つ折り) | 沖縄美ら島財団 | (株) グラフィック 館内手刷り | 6,300 |
| 11 | 博物館常設展ワークシート (地学2) 「石と友達になろう 石灰岩編」 | A 4 (両面カラー・二つ折り) | 沖縄美ら島財団 | (株) グラフィック 館内手刷り | 1,500 |
| 12 | 博物館常設展ワークシート (民俗1) 「沖縄の魔除けをさがせ!」 | A 4 (両面カラー・二つ折り) | 沖縄美ら島財団 | (株) グラフィック 館内手刷り | 600 |
| 13 | 博物館常設展ワークシート (考古1) 「道具をさがせ」 | A 4 (両面カラー・二つ折り) | 沖縄美ら島財団 | (株) グラフィック 館内手刷り | 600 |
| 14 | 博物館常設展ワークシート (美術工芸1) 「三線のひみつ」 | A 4 (両面カラー・二つ折り) | 沖縄美ら島財団 | (株) グラフィック 館内手刷り | 500 |
| 15 | 2023年度 博物館イベント情報 | A 4 (両面カラー・二つ折り) | 教育普及班 (沖縄県・沖縄美ら島財団) | (株) グラフィック | 3,000 |
| 16 | 令和4年度 (2022) 博物館教育普及活動 | A 4 (両面モノクロ・無線綴) | 教育普及班 (沖縄県・沖縄美ら島財団) | 有限会社 ふたば印刷 | 600 |

令和4年度
沖縄県立博物館・美術館
博物館教育普及活動
2023（令和5）年3月

発行 沖縄県立博物館・美術館
〒900-0006
那覇市おもろまち3丁目1番1号
Tel (098) 941-8200（代表）
Fax (098) 941-2392（代表）

編集 沖縄県立博物館・美術館 博物館教育普及
沖縄県立博物館・美術館指定管理者 一般財団法人 沖縄美ら島財団

印刷 有限会社 ふたば印刷
那覇市山下町22-3
TEL: (098) 858-2211
FAX: (098) 858-4855